

公有物少女 3.5

特別嚴重懲罰番外編


～国から人権を剥奪され
物として扱われる女の子の話～

ゆきむら丸

転載禁止

DO NOT REPOST
禁止转载

— 成人向け —
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止




公有物少女3.5

懲罰見学(公有物少女3収録).....005

特別嚴重懲罰の日々.....064

花乃の回想.....201

※本作品はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。



小野美波
高校1年生、ダンス部。
世話焼きで少し子どもっぽい花乃の
世話をするお姉さんの存在。
花乃をダンス部に誘った。

南雲花乃
高校1年生、ダンス部所属。
中学までは新体操をしていたので身体がかなり柔らかい。
元気で食べることと身体を動かすことが好き。
中学生の時に美波と友達になった。
不運が重なり公有物となり、さらなる悲劇で懲罰を受けることになる。



כ

ו

כ
ו

כ
ו

ト°
ト°

ト°
ト°

ト°
ト°



か
ち
ん

シ
ャ
ウ

シ
ャ
ウ

つ
〇
ニ

職員が来たら
待機姿勢…。

ブザー音が聞こえて
扉が開いたので
急いで待機姿勢を取る。

待機姿勢は
ちゃんと
できてますね

えらいですよ

ほめられた…。

ふーっ

ふーっ

慣れて
きましたね

ブル

ブル
ブル

が
ちゃ

ギギギ

慣れた………？



慣れたという言葉聞いてハツとする。

私いま特に何も考えずに
待機姿勢をしてた…？

がう
がう

ではこれが

次の説明を…

ここ

おーい！

はやく早く早く早く

おは

すみん

毎日は外で
待機してくれ

はい

だって職員が来たら待機姿勢って…。
しなかったら酷いことされるって…。

でも裸で股をひるげて
人に見られるなんて
今までだったら
ありえないことで…。

ブルブル

うう…

1012200000005
120025

職員が来たときの私は、恥ずかしいと思いつつも流れ作業のように特に意識せずに待機姿勢をしていた。

これが慣れる

ここでいう調教ってことなの…？

少しづつ塗り替えられていく当たり前に、自分自身が順応していることに気づくたびに自分が自分でなくなっていくようで怖くなる。

…0…番…

そのうちこういう気づきすら無くなって疑問に思わず当たり前になっていきそうでそれが一番怖い。

まだ三日目なのに…。
気をしっかり持たないと。

0025番

や、ここまよか



目隠しをつけられ、首輪のリードを引かれ恐る恐る歩いていく。

いくつもの扉を開けるような音が聞こえ、空気が変わるのを目隠しされた裸が敏感に感じ取る。

途中何人もの人とすれ違い、色んな人に見られているかもしれないと足がすくむとすぐにお尻を叩かれ、無理やり歩かされる。

お尻を叩かれると、お尻に入れられた異物も感じてしまつて穴の中まで支配されてるようで嫌になる。

まるで私にそれを自覚させるように、時にはお尻を揉んできたり、お尻のプラグを押されたり、当たり前にセクハラのようなことをされるのを服という防御もないまま裸で受け続けないといけない。

エレベーターのようなものに乗リ、下に下に降りている感覚があり、外の音も届かない無音の空間に出る。

足音と私の鎖の音だけが響いて惨めで恥ずかしい気持ちになる。

しばらく歩くと首輪が引かれ止まらされる。

「ここだ。」

職員の声が聞こえると、プシューという空気音とゴゴゴという重そうな金庫が開くような音がする。

そこからさらに進み、また金属の扉を開くような音が聞こえようやく目隠しが外された。



ほら次が
来てんだろが
あーすいませんね
すぐどかしますんで

ほら行くぞ
早く立て

おい
お前
勝手に
吐きやがって

ちっ
掃除すんの
めんどくせーな

びしょ
びしょ

びしょ
びしょ

がう
がう

がう
がう

ぐいっ

がん

では次の
見学公有物は
こちらに

んん...

ほら
お前はこっちだ

予約の
D025番
です

D025
ですね

はい
問題ないですね

びん

101220202D025
12D025

ではこちらに
部屋に入ったら
すぐに待機姿勢で

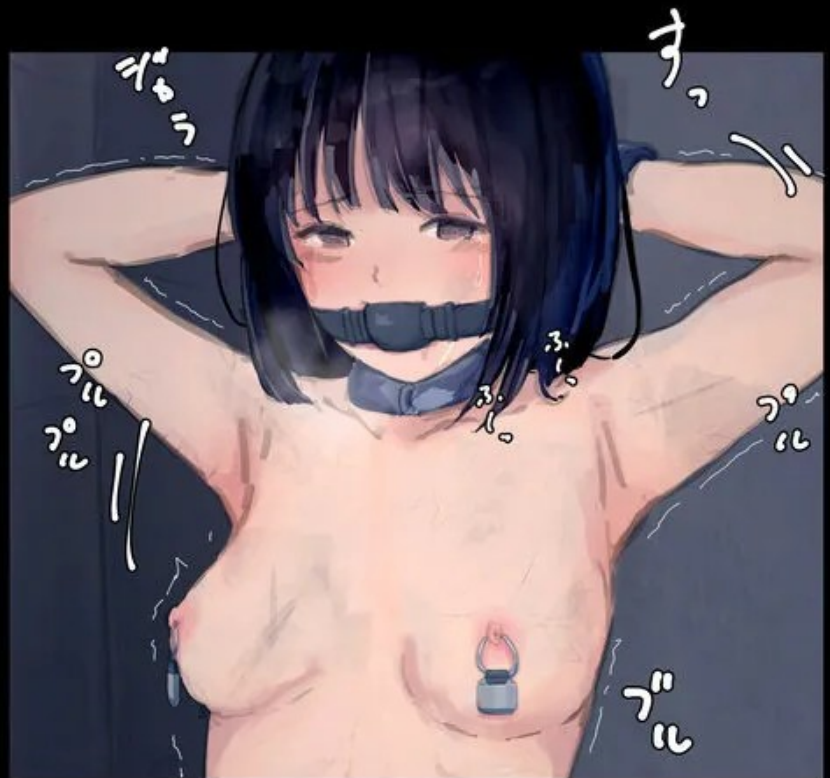
手枷を
外しますが
外した後
どうするかは
分かっていますね？



小さな部屋から
さらに小さな部屋に
通されそこで
待機姿勢をさせられる。

カチャ
カチャ

では開けます



扉が開くと、むわっとした湿気と
ツンとした色々なものが混ざった
恥ずかしくなるような
濃いにおいが鼻をつく。

鎖が鳴る金属の音と、
いろんな機械が動くような
音が響いている。

床には液体がぼたぼたと滴り落ち、
重しのようなものが吊り下げられ
かすかに揺れている。

あれは足…？

見たくない、
見たら後悔すると思いつつも
ゆっくりと視線を上げる。

むわ、

むわ、

むわ、

がう

ポツ

色々なもので拘束され
全身をかすかに震わせている
女の子が目に入る。



泣き叫んでも
いいような状況なのに
鎖の金属音と、
機械が動くような
音しか聞こえない。



手足が...
みんな当たり前に
ついているはずの
手足が途中から
消えている。

これが特別嚴重懲罰を受けている公有物です

ちなみに手足は一切の抵抗はできません

もっと泣き叫んで暴れているのを想像してましたか？意外と静かですよ

でも叫べないのは氣道までチューブが入られているため

暴れないのは少しでも動けばロツカーのものよりきつい電撃が流されるため
あとは乳首とクリトリスに通っているワイヤーは少し動くだけでも激痛なので動けないというのがあります

ここにくるまでロツカー拘束などを体験したと思いますがあれより動ける幅は大きいので動こうと思えば動くことは可能な状態ですが

この姿勢で動かずに大人しくすることが彼女が懲罰生活の中で編み出した最善なんですね

見た目の動きは少ないですが死ぬほど苦しい拷問をかすかに震える身体で今必死に耐えようと頑張っているんですよ

肉体的にも精神的にもギリギリの状態を保ちながら拷問を行っていてギリギリのところまで正気を保たせています

いろんな人を見てパニックにならないように今日は目隠しをつけています

乳首の先端と
クリトリスは
ワイヤーで貫通して

口枷と台に
固定されています

口枷と繋がって
いるので顔や身体を
少しでも動かせば
ワイヤーも動き
乳首とクリトリスは
内側から擦り上げられ
激痛でしょうね

上を向いたり
下を向いたり
当たり前の動きすら
痛みを伴い
絶頂時には身体を動かして
快楽を逃すこともできず
受け止め続けるしか
ないんですよ

乳首の根元は
管理ピアスを通され
常に苦しい状態で
引っ張ったまま固定

管理ピアスは
引っ張られています
ワイヤーは弓のように
戻る力が管理ピアスとは
逆方向に働くので
乳首内部で擦られて
息をするだけでも
苦痛があります

乳輪にも
ピアスを通し
鎖で繋げて
ありますが
ここは後で触れば
わかるでしょう



1011302081199

11L199

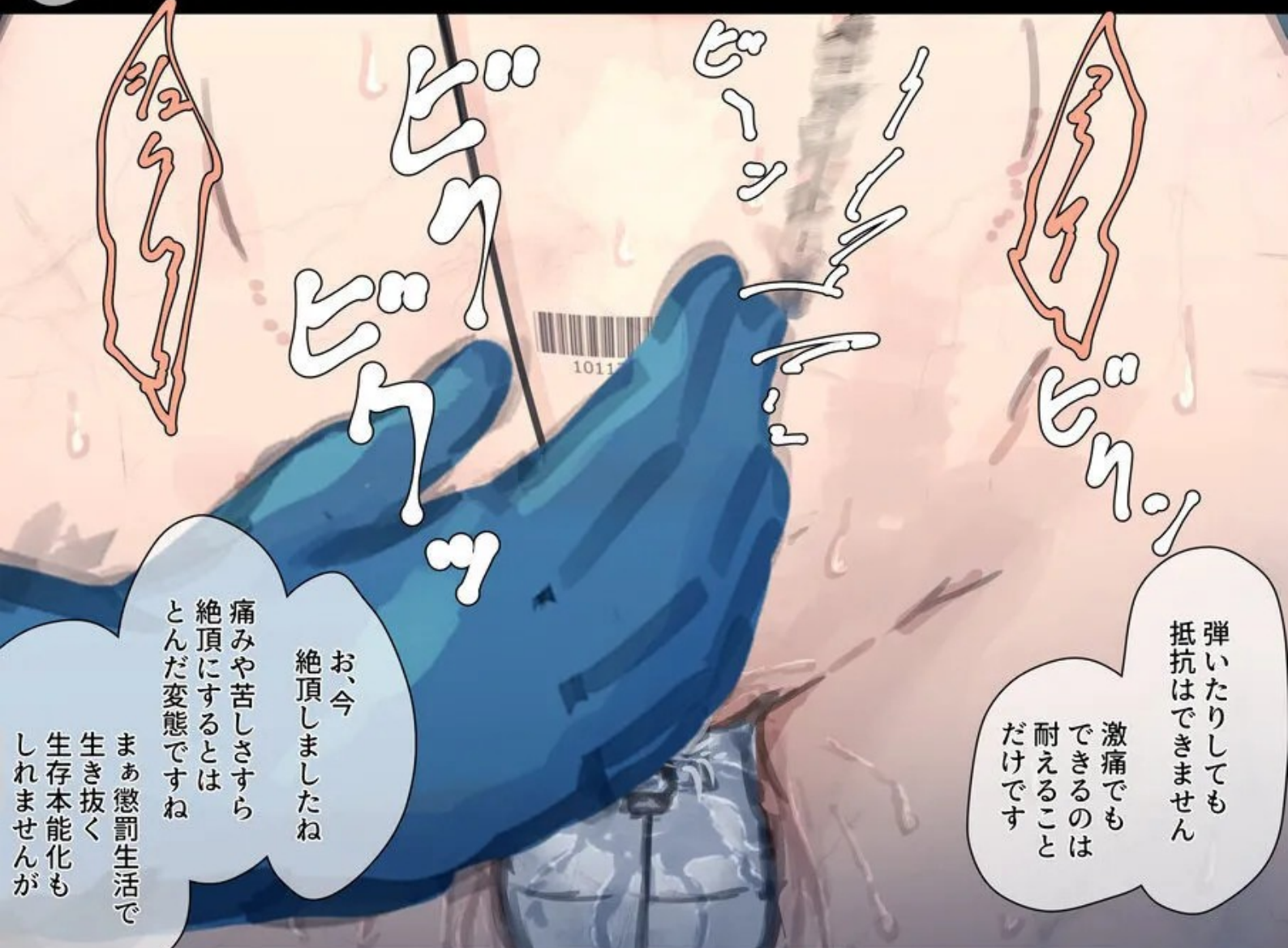


ワイヤーを
引っ張ったり



相変わらず
すごい振動だなく
この中にも当然
お腹の中いっぱいに
器具が埋め
込まれています

お腹を
押したり



お、今
絶頂しましたね
痛みや苦しさを
絶頂にするとは
とんだ変態ですね
まあ懲罰生活で
生き抜く
生存本能化も
しれませんが

弾いたりしても
抵抗はできません
激痛でも
できるのは
耐えること
だけです



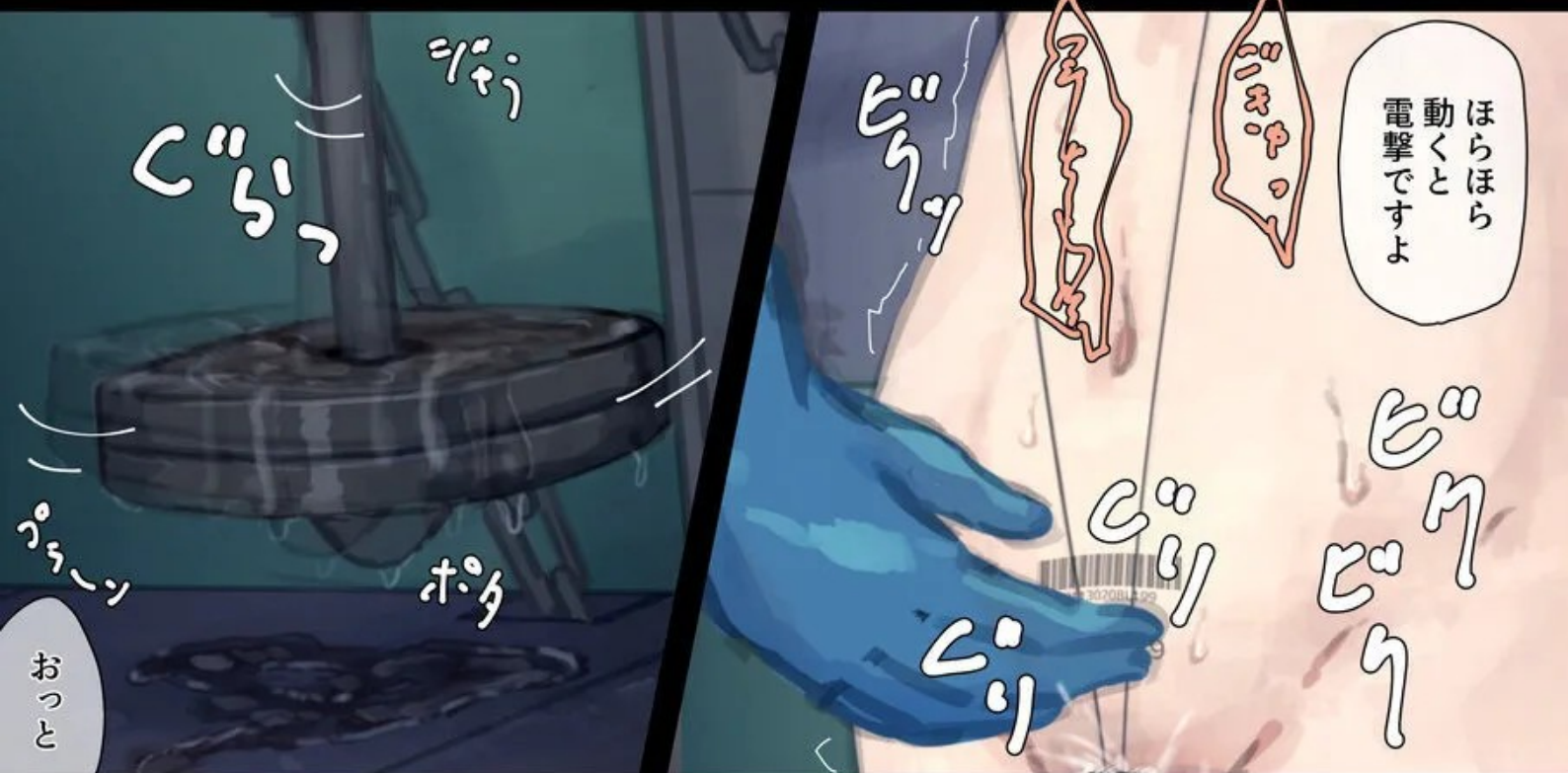
聞こえますかね
苦しい時は
こうやって
喉を鳴らすんですよ

声が出せないの
精一杯の意思表示
なんでしょね

辛いときや
苦しいとき
浣腸時やディルドを
太いのに変換したとき
なんかは健気に
鳴いてますよ

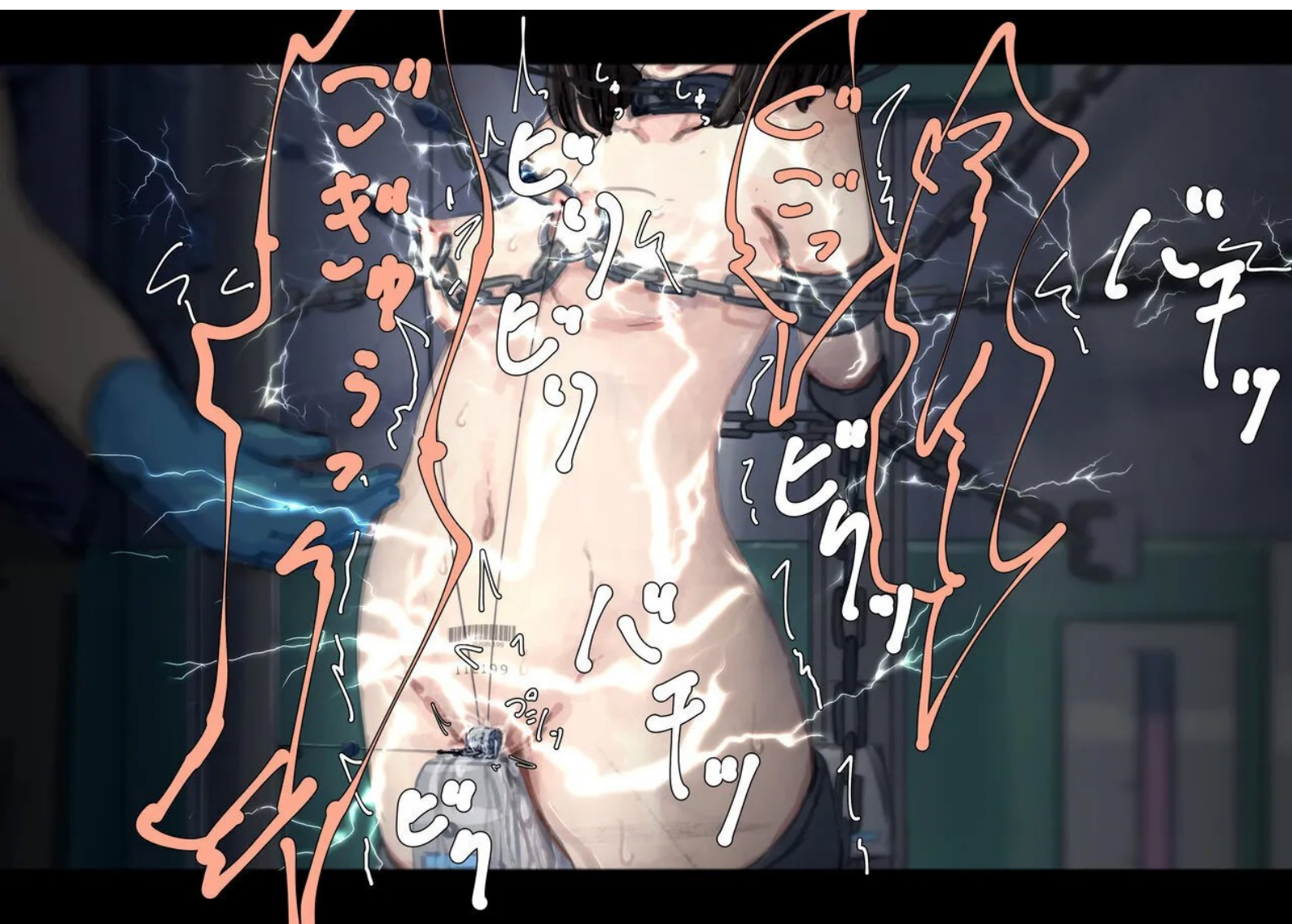
絶叫の代わりなのか
何かを伝えたいのか
まあ無視してるんで
どうでもいいことですがね

ちなみに
意思表示は
ディルドを
締め付けるパターン
を覚えさせて
それで行っています



ほらほら
動くと
電撃ですよ

おっと





あーあ
電気流れちゃい
ましたね

この電撃は
通常の公有物に
使われる電撃よりも
強い懲罰用の
電撃なのでかなり
痛いらしいですよ

うっかり身体に
触れてると
手袋してても
痛いんで困った
もんですよ

懲罰開始から
1か月半経っていますが
ある程度動かずに耐えられる
ようになってきたので
電撃の回数も
減ってきましたが

こうして苦痛を与えると
身体は反応して
電撃が流れてしまいます

今は目も見えず
耳も聞こえない状態なので
いつくるかわからない
刺激に耐えるのは
相当の精神力がないと
無理でしょうがね

ただこの程度
我慢できるように
ならないと
懲罰は延長になりますね

我慢できない
ということは
まだ反省が
足りてないようです

あんなの我慢できるわけない...。
ただでさえ無理な責めを受けていて
それに人形のように動かず耐えていて
それだけでもすごいのに。
ここまでになるのにどれだけの時間がかかり
つらい思いをしたんだろう。

では会話も
試してみましようか

耳栓をしてあって
通常外の音は
聞こえないので
専用マイクで話します

公有物はデイルドを
締め付けることで
意思表示が
可能になります

0000000000
0000000000

あーあー
聞こえてるな

いま電撃
くらったと思うが
なんか言うこと
あるんじゃないか？

伝えたいことがあれば
デイルドを用いての
意思表示を許可する

ポコン

ごめんなさい・申し訳ありません

ふむ



ごめんなさい・申し

はい

ポコン



どうした
返事しろ

いくら刺激を受けても
今のお前はすべて
我慢しないとイケない
懲罰は延長するが
問題ないな？

こんな感じで数種類だけですが、
単語のパターンを覚えさせて簡単な会話ができます。

タブレットやモニターで絶頂状況やストレス値を確認できますが
ストレスが上がってきてますねえ。

延長という言葉を聞くと急激に上がるようですね。

まあまだ16年しか生きてない子供が受けるには、いや大人であっても
厳しすぎる拷問なので仕方ない部分はあります。

今覚えさせているのは簡単な単語ですが、
今後は複雑な会話が行えるように懲罰の中でも調教予定です。

ただデイルドは絶えず動いている中で膣を動かさないといけないので
途中で絶頂してしまうとそのまま絶頂から戻れなくなってしまうので
締め付けも不規則になってしまうので会話はできなくなります。

始めの頃は締め付けるとすぐに絶頂してしまい会話はできませんでしたが
最近ようやく耐えられるようになったのか
短い会話程度ならできるようになりました。

それでも締め付けると快感をダイレクトに感じてしまうので
あ、ほら今もイってしまっていますね。

まあ締め付けている間は相当気合が必要になるのか
少しの会話だけで運動した後のように息は上がり全身汗だくになってますね。

ちなみにいま
懲罰を受けている
公有物とあなたは
同じ年みたいですね

懲罰というのは
実際に受けてみないと
本当の辛さは
わからないもんなので
実際に懲罰を受けたときに
今日の前にしている
拷問がどれだけ辛いのか
わかると思いますよ

では次は
実際に触って
みましょうか

ほら
早くこちらに

お腹の
このあたり
中に入れられた
挿入具の振動を
感じてください

ここの中の器具は
あとで紹介します

近づくと促され懲罰中の女の子の横に立つ。

触れるくらい近い距離まで来ると、
チューブを通して行われる苦しそうな呼吸音や
震えながら発する彼女の熱気と匂いに
たしかにそこに生きている
私と同じ人間なのだ実感する。

同時に下腹部からは生きている存在を
もみ消すような機械の音と卑猥な音が響き、
そういう機械かのように何の液体か
わからない汁をまき散らし私にも少しかかる。

公有物は物って再三言われたけど
こんな扱いに比べれば今のほうが
はるかにマシなのかもしれない。



声も出せず体を動かすことも許されない中で行われる懲罰。それらがどう辛いのかは見るだけでは伝わらないため、実感を持たせるために近づいて見せたり、触らせたり、器具を見せるなどしてなるべく公有物に恐怖を植え付け、実際に懲罰された際にもっとひどいことをされてる人がいると、その先の恐怖を思い出ししてもらえよう。

この光景を見るとその場から動けなくなったり気分が悪くなる公有物も多くおり懲罰室に入れる公有物は7割ほどとなる。実際に同じ空間に入ると、においや機械音などにあてられて触ることができるのは全体の4割ほどとなっている。さらに職員に無理やり手を引かれて強制的に触らせられるのが2割ほどいるのでこの光景にも臆することなく職員の指示に従って自ら行動できる公有物は全体の2割程度となっている。

早く
しなさい

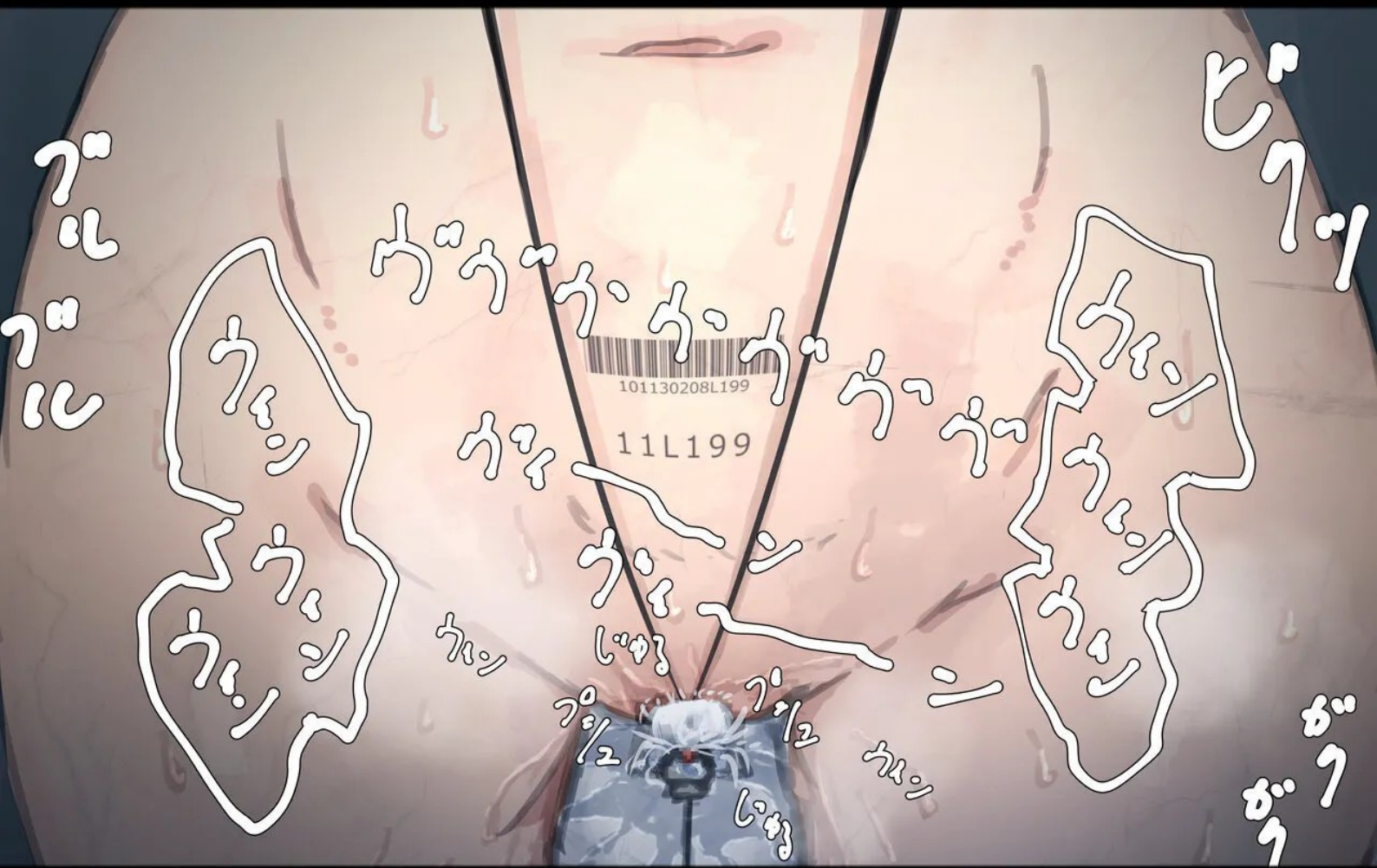
びう

びう

ブル
ブル







恐る恐るお腹に手を当てる。
びくっと身体が震え硬直するように
小刻みに震えている。
裸で肌寒く手も冷えていた私には
熱いくらいの人のぬくもり。
お腹は少し膨れているような張りがある感じ。
同時に肌に触れているだけで中の存在が
感じられるくらい強い振動。
工事をしているかのようなドドドという衝撃が
手に伝わりすぐ下のあそこは高速回転する
ブラシに磨かれ色んな汁を撒き散らしている。



顔を上げると相手の顔が目の前に来る。
私と同一年でこんな…。
何か違反したらこうなる。
何か違えば目の前の子と立場が逆
でもおかしくはない。そう思うと
お腹の奥から冷えていくような恐怖を
感じる。



振動
すごいでしょう

もちろん
慣れさせないために
緩急はつけて
責めますが機械が
止まることはありません

これがずっと
続きます

これをずっと受け続けて...



電撃が流れた
みたいですね

ビーン

ラララ...

今のが...!!
触っていた手が
吹き飛んだんじゃないかと
思う衝撃と痛み。
手がしびれて力が入らない。

じん

じん

ふし

ふし

いた...



液体を撒き散らしながら
回転するブラシからは
多分ピアスで引き伸ばされた
クリトリスの先端が
痛々しそうに顔をのぞかせている。
電撃後でも絶頂後でも関係なく
責めは続く。



手でこの衝撃なら
あそこに流される電流は
どれだけの衝撃があるんだろう。
ロツカーに入れられた時よりも
明らかに強い。
こんなのを何回も受けたら
死んでしまう...。

ちなみに電流で
死んだりしないのかと
よく質問されますが

まあそこも含めて
少しづつ身体を
慣らしながら
強化してあるんで

これでも
許容量を下回る
程度には調節して
やってるんですよ

素人には
その差はわからないと
思いますけどね

ビ
クッ

電流のいいところは
慣れることの無い
新鮮な苦痛を常に
与えることができる
ことなんです

鞭とかは
身体に傷がついて
毎日ではできないんでね

強いと苦痛なだけですが
弱めれば快樂にも
つなげられ身体にダメージも
残りにくいので
調教や懲罰に適していますね

次は
こちらです

いま懲罰で
使われている
器具を見て
もらいましょう

そちらの
長いのが
肛門用

机の奥にあるのが
膣用で現在
使われている
ものと同じものです

先端のコブは
子宮口に
挿入されます


バルーンに
なっていますが
サイズも合わせて
あるので
いま子宮口に挿入
されているものと
同じサイズです

手前にあるのは
懲罰開始時に
使われていた
パイプです
1か月半で
ずいぶん大きいのが
入るようにな
りましたね

赤いやつは
市販されて
いるものを
比較用に
持ってきました

左の器具は
尿道用で
バルーンを膨らませて
常に尿意を感じさせ
苦痛を与えます





挿入されるだけでも
辛いと思いますが
さらに振動や低周波
などで虐め抜きます

通常の公有物にも
このくらいのサイズを
使うことはありますが
使用時間は限られていて
終わりがありませんが

こちらは制限はないので
意識ある間は
常にお腹いっぱい
詰め込まれた苦痛を
味わってまいります

という感じで
懲罰の見学は
以上になります
質問はありますか？

なければ
これで終わります

◎物まわし
おじさんか

特別嚴重懲罰を
受ける場合はあなたも
こうなりますので
覚悟しておいてください

それでは
次の方



公有物の懲罰について

公有物は国の所有物として役割を与えられ、身体で奉仕する存在として従事するが、公有物規定において違反や事案を引き起こした場合には、懲罰が行われることがある。

懲罰は違反内容によっても変わるが、公有物にとっては二度と受けたくないと思わせるものであり、懲罰を避けるために調教や日々の奉仕に取り組むという側面もある。

その中でも最上位の懲罰の一貫として四肢切断が行われる場合がある。

特殊拘束刑務所で行われる四肢切断刑と同様のものとなるが、通常の間人であれば裁判を経て刑が確定するが、公有物は人として扱われないため、裁判は行われず管理局の規定に沿って罪の内容により懲罰という形で行われる。

基本的に違反があった場合は、通常懲罰又は、さらに上の嚴重懲罰(懲罰拷問)が実施されるが、四肢切断懲罰(特別嚴重懲罰)となった場合は、四肢切断処置を受けた上で、嚴重懲罰よりも厳しい懲罰を受けることになる。

懲罰の期間は違反内容によって時間数も変わり、懲罰中の態度やわずかな身動きすら違反对象となり、懲罰期間が延長される。

公有物の懲罰について(2)

懲罰中は許可のない睡眠や気絶すらも懲罰の対象となり、違反した場合は期間延長とさらに追加懲罰となる。

本人はどのくらい懲罰されていて、あとどのくらいで終わるのかは分からないようになっているため、いつ終わるのかわからない懲罰にまともに身動きも取れず、耐え続けられないといけない。

通常懲罰は長くても1週間程度で嚴重懲罰も長くても3ヶ月となっているが、特別嚴重懲罰の場合は最低3ヶ月となっており、一番重い場合は永久懲罰となる。

懲罰の内容はさまざまあるが、その中でも特別嚴重懲罰は最上級の懲罰とされており、重大な違反がない限り通常の活動に従事する公有物であれば四肢切断を受けることはないが、どんな公有物も初めからすべてを満足にできるわけではないため、違反点が積み重なり、嚴重懲罰までの懲罰はほとんど全員の公有物は受けることになる。

普通の少女であれば生きてきて体験したことがないような拷問にも等しい懲罰を、早い段階で受けることで公有物としての自覚を促し、逆らえばどうなるかを身体に刻み込む目的もあるとされる。

公有物の懲罰について(3)

基本的に四肢切断は懲罰とセットで行われるが、例外として、特殊ヒトイヌなどの特別な用途で使用される場合に、四肢切断を行った方が良いと判断される場合は期間を定めて許可されている。

特殊用途での四肢切断は、原則1年間と定められているが、1年間の終了時点で四肢切断状態の解除の申立てがなければ、そのまま延長可能となっており、最大で5年間運用可能となる。

四肢切断については最先端の医療技術を用いて、安心安全に手足の切断が可能となっており重度の骨折や火傷、寝たきり状態の場合にも用いられることがある。

瞬間的な切断と切断面の人工皮膚での処置を行うことで、元々身体強化と自己回復力が強化されている公有物であれば1週間程度の入院で実行可能となっている。

切断した手足は培養液で筋肉の状態などを保ったまま管理保管されており、再装着についても1週間程度の入院で行うことができ、手足も完全に元通りとして復元可能だが、切断期間が長くなるほど長期間のリハビリが必要となる他、身長も1センチほど短くなる。

懲罰の種類

通常懲罰

軽度な違反を繰り返す等。期間は8時間～1週間程度。

嚴重懲罰

通常懲罰を1回以上経験し、改善が見られない場合、又は重度の違反を行う等。
期間は24時間～3ヶ月程度。

特別嚴重懲罰(四肢切断懲罰)レベル1

重大な違反又は事案を引き起こし、嚴重懲罰以上の懲罰が必要と判断される場合。
四肢切断は膝上肘上で行われ、わずかに手足が残るため懲罰後はヒトイヌなどに再運用可能となる。
期間は最低3ヶ月で上限は無く反省したと認められるまで。

特別嚴重懲罰(四肢切断懲罰)レベル2

重大な違反又は事案を引き起こし、より悪質でより重い懲罰が必要と判断される場合。
四肢切断は手足の根元で行われ、完全な達磨状態となる。
ヒトイヌなどへの再運用はできず、レベル1と異なり、社会復帰を前提としないものとなる。
期間は最低半年間から上限は無く1年以上続く場合は特殊拘束刑務所に移送され管理される。

永久特別嚴重懲罰(四肢切断懲罰)レベル3

国家の存亡を揺るがす重大な事案を引き起こし、最も重い懲罰が必要と判断される場合。
四肢切断はレベル2と同様となるが、期限はなく一生を終えるまで嚴重懲罰という名の拷問を受け続ける。
実質的に死刑と呼ばれており、戸籍上も死亡したものとして扱われる。
身体回復の必要性がないため医療や開発の実験材料として使われ、限界を超えた拷問が日夜行われる。

懲罰についての補足

四肢切断が行われる事案としては、脱走や暴行、殺人、外部との内通、度重なる違反及び改善がみられない場合などがあり、その他管理局が重大と判断した場合にも実行される。

管理局の判断次第だが、懲罰で四肢切断が行われる場合は公有物としての期間が終了するまで手足は戻されない場合が多く、レベル1での四肢切断であれば、通常奉仕や特殊ヒトイヌ、プレイ用ヒトイヌなどで使われ、根元から切られるレベル2では研究用途や、オナホールのように使われる特殊プレイ用途など、公有物の中でも最下層の扱いとなる。

懲罰が終わっても肉便器以下の扱いを受け、使用されている時以外は休息や睡眠時間であっても嚴重懲罰相当の懲罰がしばらくは続き、奉仕中だけが唯一懲罰から解放される時間となるため、必死で奉仕を行うようになる。

通常の公有物として復帰できても少しでも利用者を満足できないと判断される場合は、通常の公有物以上に厳しく判断され、再び地獄のような懲罰の毎日へと戻ることになる。

・懲罰と躰について

開発とは異なり躰や懲罰は罰となるため、苦痛を与えることが基本となる。

日常的な違反については、違反点の記録と躰としてその場で鞭打ちや電気ショックなどで罰が与えられる。

一般懲罰は機械で行うことがメインとなるが、野外で放置して寒さや羞恥で苦痛を与えたり、職員が交代で休みなく責め続けることもあり、懲罰方法は調教師に委ねられている。

嚴重懲罰は通常懲罰とは異なり、地下にある専用の懲罰室で行われる。

体験した大人の女性でも泣きわめいてギブアップするレベルであり、体験で24時間耐えられた人はいないと言われている。

特別嚴重懲罰ではさらに苦痛を増し体験した人の多くは10分以内にギブアップ、我慢強い人や元公有物の人でも30分程度でギブアップしており、一番耐えた人でも3時間が最長記録となっている。

まさに自分自身の限界を超えた拷問をギブアップは許されず、まだ若い肉体で数か月以上も受け止め続けなければならない。

特別嚴重懲罰のレベルに該当する場合の懲罰は最低3ヶ月間行われる。

3ヶ月間の懲罰が行われた後、反省度や従順度合いの審査が行われ、認められた場合は懲罰中の違反延長分の懲罰を追加で行われた後、懲罰が終了となる。

審査で認められなかった場合は、反省不足として懲罰継続となる。

懲罰継続となった場合は1ヶ月毎に再審査が設けられ、懲罰を継続するか判断される。

現在懲罰を受けている少女は2月半ばから懲罰が開始され、現在までに1ヶ月半(6週間)懲罰が継続されている。

最低でも3ヶ月は行われるので、ようやく折り返し地点で少なくとも5月の中旬以降まで懲罰が続くことになる。

※ 現在というのは4月始め頃



首輪は後ろの鎖に吊られており常に苦しい。

上が餌用チューブ。下が呼吸用チューブ。餌用チューブは胃まで到達するディルド口枷に繋がれており、呼吸用チューブは途中でディルドと分岐し気道に入りバルーンで固定されている。呼吸用のチューブは細いため呼吸量は常に制限されている。

ローター。振動を与える。位置の目安にもなる。

乳首用管理ピアスは常に引っ張られ息をする胸の上下だけでも刺激される。

乳首の先端とクリトリスの根本はワイヤーで貫通されていて口枷と台に固定されている。上下左右に動くと乳首とクリトリスの中をワイヤーが擦り激痛を与える。(懲罰ワイヤー)

左が腫用媚薬ローション液。右がアナル用浣腸液。1つの目盛りで1リットル。



クリトリスの根本はワイヤーで貫通され、先端も管理用ピアスで貫かれており、管理用ピアスは別のワイヤーに繋がれクリトリスはギリギリまで痛み出るほど引っ張られ、引き延ばされたクリトリスは小指の先ほどの大きさとなり、そこにさらに極細の電動ブラシをクリトリスを上下から包み込み、しごくように媚薬ローションをかき混ぜながら高速回転する。管理用ピアスからは静電気より弱い程度の電流が流されている。すぐにでも腰を逃がしたくなるのを貫通されたワイヤーとピアスに阻まれ最も敏感なところを晒し虐め抜かれる。

高速回転する

5kgの重しの円盤が二つぶら下げられている。

重りの下の部分は位置センサーになっており、足を動かして重りが揺れるなどして基本位置から外れると電撃となる。揺れたりして位置がずれる場合はすぐには戻らないためしばらく電流が流れ続けることになる。

巻き取り機。1kg程度の力で巻き取られており身体を前に倒しても後ろに倒しても常に同じ張力で引っ張られる。



乳首は乳輪の拘束用ピアス、乳首根本の管理ピアス、乳首先端の懲罰ワイヤー、の3つが貫通している。拘束用ピアスは常に低周波が流され胸を強く揉まれているような刺激が送られている。管理用ピアスからは、静電気より少し弱いくらいの電流が常に流されている。

口枷ディルド。胃まで到達するディルドで常に苦しく喉を開くようにしないと吐き気に襲われる。先端は膨らむようになっており吐いても逆流はしないようになっている。餌はここから出されるが、餌を食べるためにはディルドをフェラをするように舐めたり喉を締め付けるようにして奉仕を続けなければならず本物の性器のようにビクビクと震えディルドも大きく膨らみ、疑似的な射精が行われ餌が胃に放出される。この射精が少女の餌となるが、餌の時間はこれを5回繰り返さなければならない。だがディルドには高度なセンサーが内蔵されており本物のように再現されているため、何度も射精させることは難しく3回目以降はかなり大変となり、少女は経験や知識を総動員して工夫を凝らした必死の奉仕を行わなければならない。

位置センサー。設定された位置が記録され指定の位置より上下に動くなどして外れると電撃が流れる。乳首の刺激を弱めようと身体を前に倒すと電撃となり、壁にもたれようと反っても電撃なので絶妙な姿勢を維持しなければならない。

注入操作スイッチ
引っ張ることで
アナル、子宮、膀胱バルーン
に液体を注入できる。

子宮口も拡張中。
5ミリの挿入から始めて
1か月半の懲罰で2cm弱まで
拡張。

排泄のスイッチとしても用いられ、位置センサーを下げたり上げたりすることで、注入された浣腸液などを排泄することができる。その間も電撃装置は作動している。(一部救済策あり)

上半身は比較的遊びが多くロッカー拘束よりも動くことが可能だが、乳首と足に繋がられた位置センサーがずれば電撃となるため少女自身が動かないように胸を張るような姿勢を維持しなければならない

下の穴もぎちぎちに詰め込まれている。ただ入れられているだけの状態でも普通の女の子なら10分と耐えられないくらい苦しい。

口には胃まで達するディルドが挿入され、調教済みとはいえずくような苦しさで常に物が詰まっている苦しさに加え、気道にはチューブを挿され叫び声を出すこともできない。

尿道、膣、肛門、の3穴にももちろん器具が挿入される。

尿道はプラグを埋め込まれ排泄を管理され、常におしっこが詰まっているような刺激を与え、先端のバルーンを膨らませれば耐えがたい尿意を受けることになる。

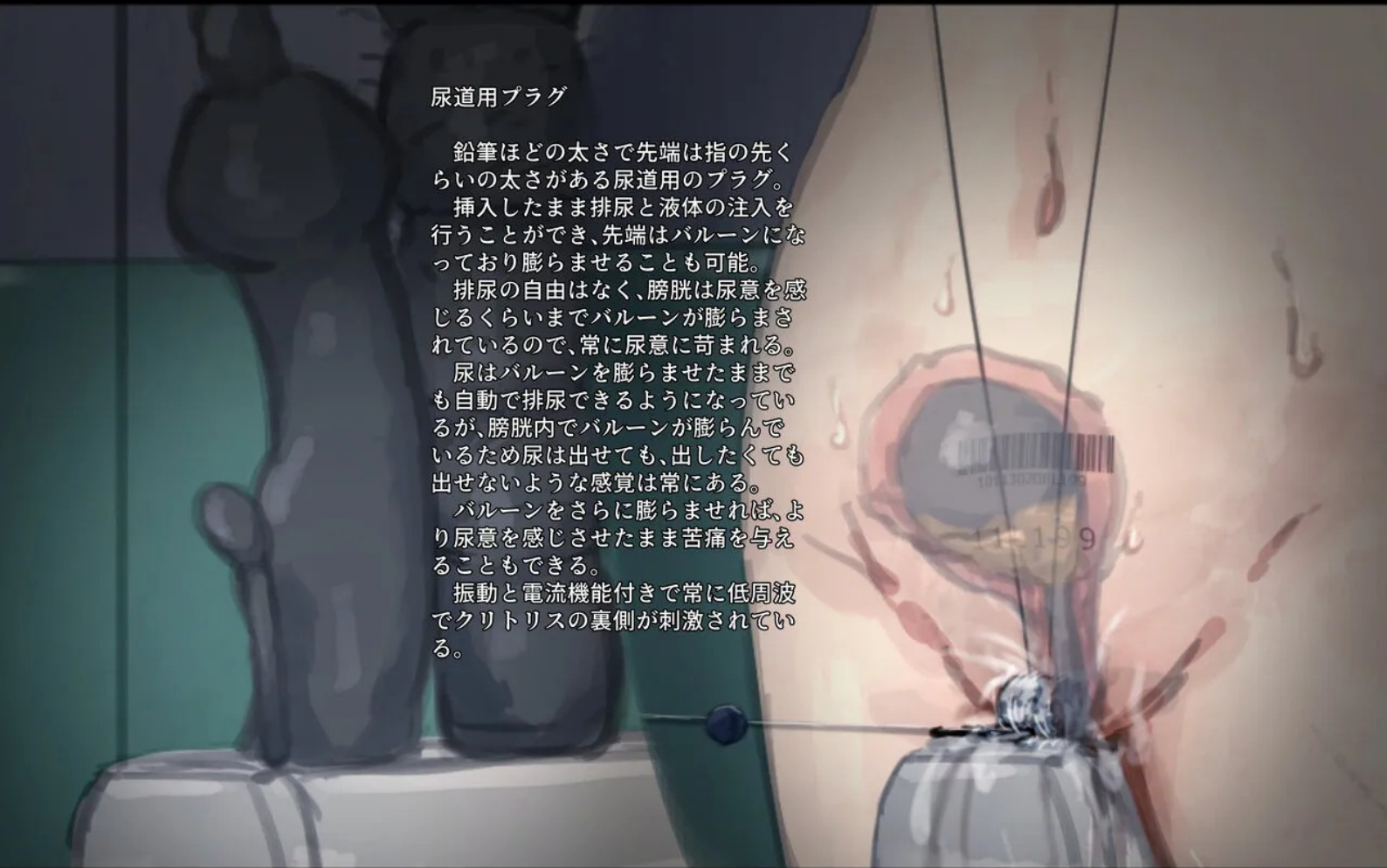
膣はへその上まで達するような、腕ほどの太さと長さがあるバイブが挿入され、先端は子宮までもこじ開け挿入されている。

肛門から入れられたディルドは大腸の半分ほどを埋め尽くし、常に重い排泄欲求を生み出し、1・5リットル〜2リットルを注入されているくらいの苦しさが常にある。

一番大事な穴を常に限界までギチギチに詰められ、これだけでも耐えがたい苦痛を受けているが、さらに振動や電流や注入機能を用いて、限界ギリギリまで追い詰める。

身体が許容したと判断されるとさらに太く長いものに付け替えられ、苦しみから逃れることはできない。





尿道用プラグ

鉛筆ほどの太さで先端は指の先くらいの太さがある尿道用のプラグ。挿入したまま排尿と液体の注入を行うことができ、先端はバルーンになっており膨らませることも可能。

排尿の自由はなく、膀胱は尿意を感じるくらいまでバルーンが膨らまされているので、常に尿意に苛まれる。

尿はバルーンを膨らませたままでも自動で排尿できるようになっているが、膀胱内でバルーンが膨らんでいるため尿は出せても、出したくても出せないような感覚は常にある。

バルーンをさらに膨らませれば、より尿意を感じさせたまま苦痛を与えることもできる。

振動と電流機能付きで常に低周波でクリトリスの裏側が刺激されている。

膣用電動バイブ

通常の公有物に使われるものよりも強力な振動及び電流を流すことが可能な、懲罰用で使われる高出力な専用バイブ。

公有物の限界ギリギリのサイズが使用され、定期的に太く長いものに付け替えられる。

現在は最大径7cm、長さ22cm。

先端の細い部分はバルーンとなっており、子宮口に挿入され懲罰中も少しずつ子宮口の拡張が行われている。

子宮の挿入部は分離できるようになっており、先に子宮に挿入してその後バイブを挿入し合体させる。

1か月に1センチのペースで限界に至るまで拡張される。

子宮口に挿入された先端部分から媚薬やローション、疑似精液などを注入することができ、子宮の拡張も行われる。

ポルチオやGスポットなどの女の弱点に密着し、えらの張った先端部分と竿の部分には超強力な電マ以上の振動装置と、膨張、伸縮機能があるため奥で突かれながら、Gスポットを高速で叩くなどの刺激も送ることができる。

振動はお腹の外を触っても感じ取れるくらい強力で、対象を慣れさせることなく膣肉をほぐしていく。

各所に電極が埋め込まれ、低周波を流すことで直接揉み解されているような刺激であったり、筆で弄られるような刺激であったり、逆に直接殴られるような刺激も自在に与えることができる。

A1の自動制御により、常に新鮮な刺激を絶え間なく与える。逆に絶頂手前のギリギリ状態を継続することもできる。

ただ高出力なため機械のメンテナンスが定期的に必要になる。



アナル専用ディルド

膣用のバイブと同様振動と電流を与えることができる。

コブ一つ一つが振動し、上の竿部分はグネグネと触手のように動き刺激を与える。

挿入後はここからさらに膨らみ、絶えず苦痛と快楽を与える。

現在は最大径7cm、長さ70cm程となっており、定期的に大きなサイズに付け替えられる。

大腸の半分ほどを埋め尽くす長大なディルドとなっており、通常の公有物もこのくらいの長さのディルドを挿入することはあるが、一時的な使用となり長時間使用されることはないが、懲罰の場合は意識がある間は抜かれることはなく、お腹いっぱい存在感と強烈な便意を常に感じ続けなければいけない。

ディルド全体から媚薬ローションが出てくる構造となっており乾燥を防いでいる。

先端からは浣腸液を注入可能。

懲罰は1セット84時間(3日半)行い、その繰り返しが延々と行われる。

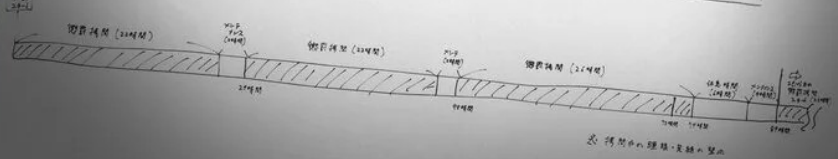
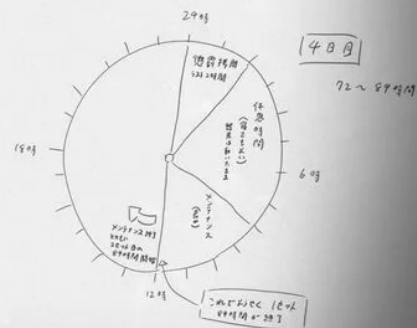
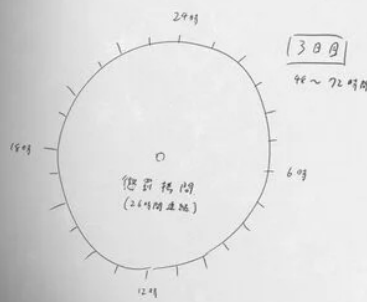
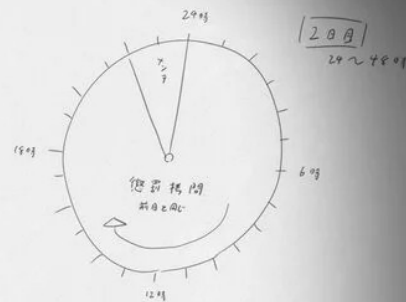
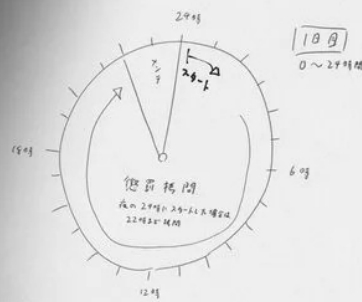
懲罰が始まると1日目は22時間の拷問を行い、2時間のメンテナンス時間が入り、2日目もまた22時間の拷問を行い、2時間のメンテナンス時間が入るという形で、1日目2日目と進行し、3日目は通して26時間の拷問が行われる。

丸3日耐えた公有物はここでようやく6時間の休息時間が与えられる。その後4時間のメンテナンス時間となり、それが終わると再び新たな84時間の懲罰が開始される。

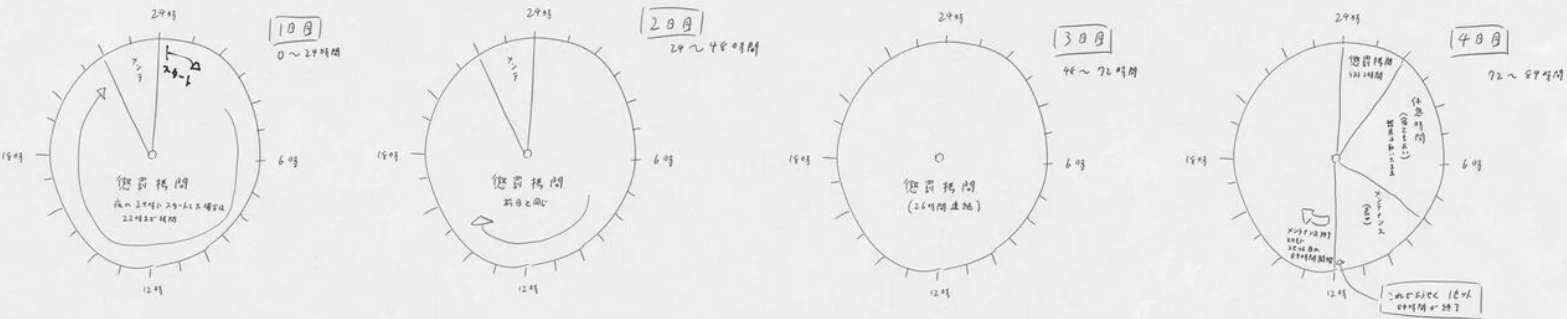
懲罰中はメンテナンス時間と休息時間以外での睡眠や気絶は許されておらず、意識を失ってしまった場合は電撃大が次の休息時間(その回の残り時間)まで流され、膀胱バルーンは最大まで膨らみ、子宮内とアナルには限界まで媚薬液と浣腸液が注がれる。最大懲罰と呼ばれ地獄のような苦しみが続くため、公有物はなんとか意識を失わないように必死になる。

1日にたった2時間しかないメンテナンス時間と3日に1回しかない休息時間まで、なんとか意識を繋いで耐えるしかない。

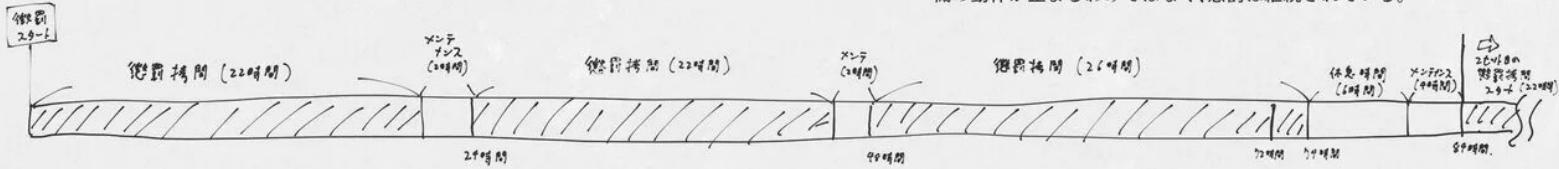
懲罰スケジュール-1c



懲罰時間スケジュール



休息時間は意識を失っても罰にはならないというだけの時間となっており、休息時間といえども懲罰中には変わりないので、機械の動作が止まるわけではなく、懲罰は継続されている。



※ 拷問中の睡眠・食糧の禁止

毎日のメンテナンス時間は麻酔薬によって強制的に意識を落として、機械のチェック又は取り替えと懲罰中公有物に身体の異常がないかチェックを行う。公有物は懲罰台から外され洗浄が行われた後、隣の部屋にある回復ボックスに1時間ほど入れられ、懲罰中唯一、身体を横にして休むことができる。医者による診察と気道や子宮口への器具の挿入を行い、その他の器具も再び身体に埋め込まれ懲罰台に戻される。

3日に1回のメンテナンスでは、意識がない状態ではあるが外に運んで空気を吸わせたり、太陽の光を浴びさせたり、ベッドで横になることができる。ただ、メンテナンスの時間公有物は麻酔により意識を落とされているので、目を閉じた次の瞬間にはまた地獄の懲罰に戻ることになり、寝ているという実感はない。

睡眠や気絶すると電撃大が次の休息時間まで流れ、膀胱バルーンは最大まで膨らみ、子宮内とアナルには限界まで媚薬液と洗腸液が注がれる。さらに意識を失った時間までの残り時間の倍の期間が懲罰期間に延長される。例えばスタートして、48時間目で寝てしまった場合は残り26時間は最大懲罰となり、お腹が限界まで膨らまされたまま、電撃大が常に流され、24×2の48時間の期間が延長されることになる。早々に寝てしまった場合は気絶もできないくらい苦しい最大懲罰が何十時間も続くことになるとともに、残り時間の倍の期間が延長されるので、懲罰期間がどんどん延びてしまい追加分だけで何か月にも及ぶ場合があるため、1秒でも早く終わらせるためには意識を保って懲罰を消化していくしかない。

1日2時間のメンテナンス時間以外は不眠不休で拷問が行われた公有物に、3日に1度だけ休息時間が6時間与えられる。だが休息時間といえども懲罰中には変わりないので、機械の動作が止まるわけではなく、懲罰は継続されており、意識を失っても罰にはならないというだけの休息時間となっている。

普段であればとても寝るような環境と状況ではないが、丸3日間以上ぶっ続けて拷問を受けなんとか意識を繋いできた少女にとっては、休息時間のブザーがなるだけで、動き耐えがたい苦痛が継続しているにもかかわらず、ホッとしたように気絶に近い睡眠に入る。常に寝てはいけないと刷り込まれているため、時折ハッと焦って目を覚ますが、電撃がないことを確認するとまたホッとしたように目を閉じることを幾度も繰り返す。

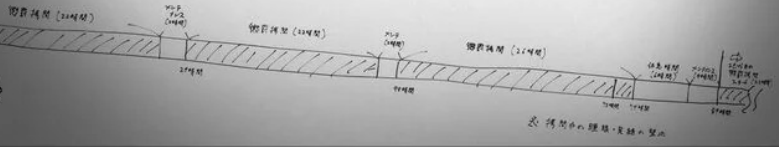
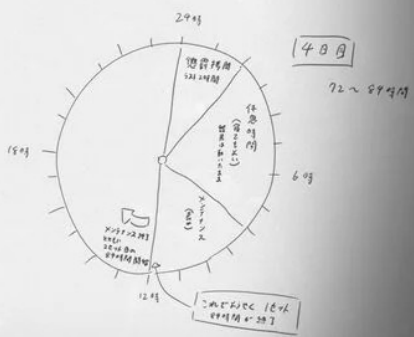
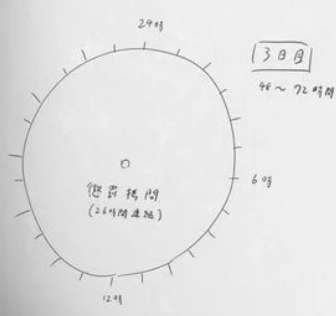
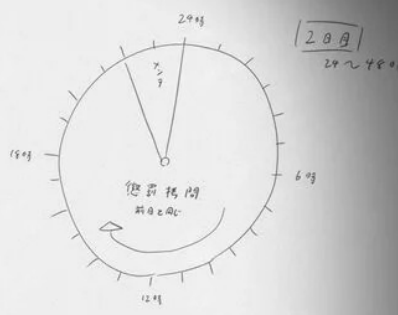
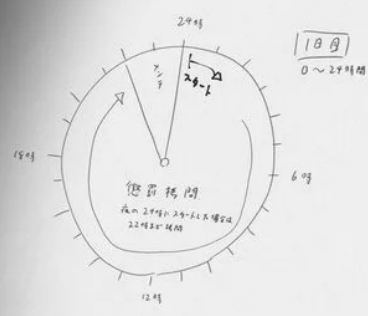
休息時間の6時間が終わると、メンテナンス時間が4時間あり、メンテナンス時間に入ると麻酔薬で意識を落とし、機械も止められチェックを行うとともに、公有物は懲罰台から外されて洗浄や細かいメディカルチェックが行われ、再び懲罰台に設置され、新たな84時間の懲罰が開始される。

公有物にとってはメンテナンス時間の意識はないため、意識がある間は常に懲罰が行われているという状況になる。メンテナンスが終わると年相応の安らぎの顔を浮かべながら眠る少女は目を覚まし、新たな懲罰が始まったことを悟り、これからの長い長い3日間に一番の絶望を味わう。

目覚めたてが最も新鮮な刺激で、油断すると気絶しやすいため、最初の数時間はかなり緊張する。1か月半の間には、序盤で油断して意識を飛ばしてしまい、丸3日間すべてが最大懲罰になってしまったこともあるため、もう油断はしないと固く心に誓っている。いつ終わるかかわからない懲罰が今日で終わりと1秒でも早く言ってくれることを祈りながら懲罰が始まる。

人間は1時間程度しか集中力を持続できないと言われていたが、少女はその70倍もの時間を電撃の恐怖と口、尿道、膣、アナル、子宮まで全ての穴に異物を詰め込まれた苦しみと快感を感じながら、最新の注意を払い身体を動かさないように、眠らないように、常に集中力が必要となる。

懲罰 拷問 2ヶ月前



特別嚴重懲罰室

嚴重懲罰が行われる場合に使われる部屋で調教センターの地下に存在している。
主に長期の嚴重懲罰か特別嚴重懲罰レベル1に使用されている。懲罰室は4つに区切られ、手前左の待機・見学室、隣の準備室、メンテナンス室、一番奥に拷問室(懲罰室)となっている。
拷問室に行くためには3つの扉を開けなければならない、調教センターの施設内でも最も嚴重に管理され、万が一にも逃げることはないよう管理されている。
特別嚴重懲罰を受ける公有物は、最低三か月間は一坪程度の狭い部屋で懲罰を受け続ける。
メンテナンス時は、隣の部屋のメンテナンス室や、定期的に地上に出ることもできるが、全て麻酔により意識を失っている状態に行われるため、本人の意識は常に拷問室の懲罰台から逃れられない苦しみを味わい続ける。

懲罰台。
高さや台自体を別なものに取り換えも可能。
ディルドは台に着脱が可能で、アナルディルドなど長い挿入物を用いる場合は取り外して予め挿入してから台に固定する。



待機・見学室。
見学を行う場合は目の前で鑑賞することができる。
万が一暴れても拷問室に直接侵入できないようになっている。

準備室。
備品や重りやメンテナンスキットなどが保管されている。

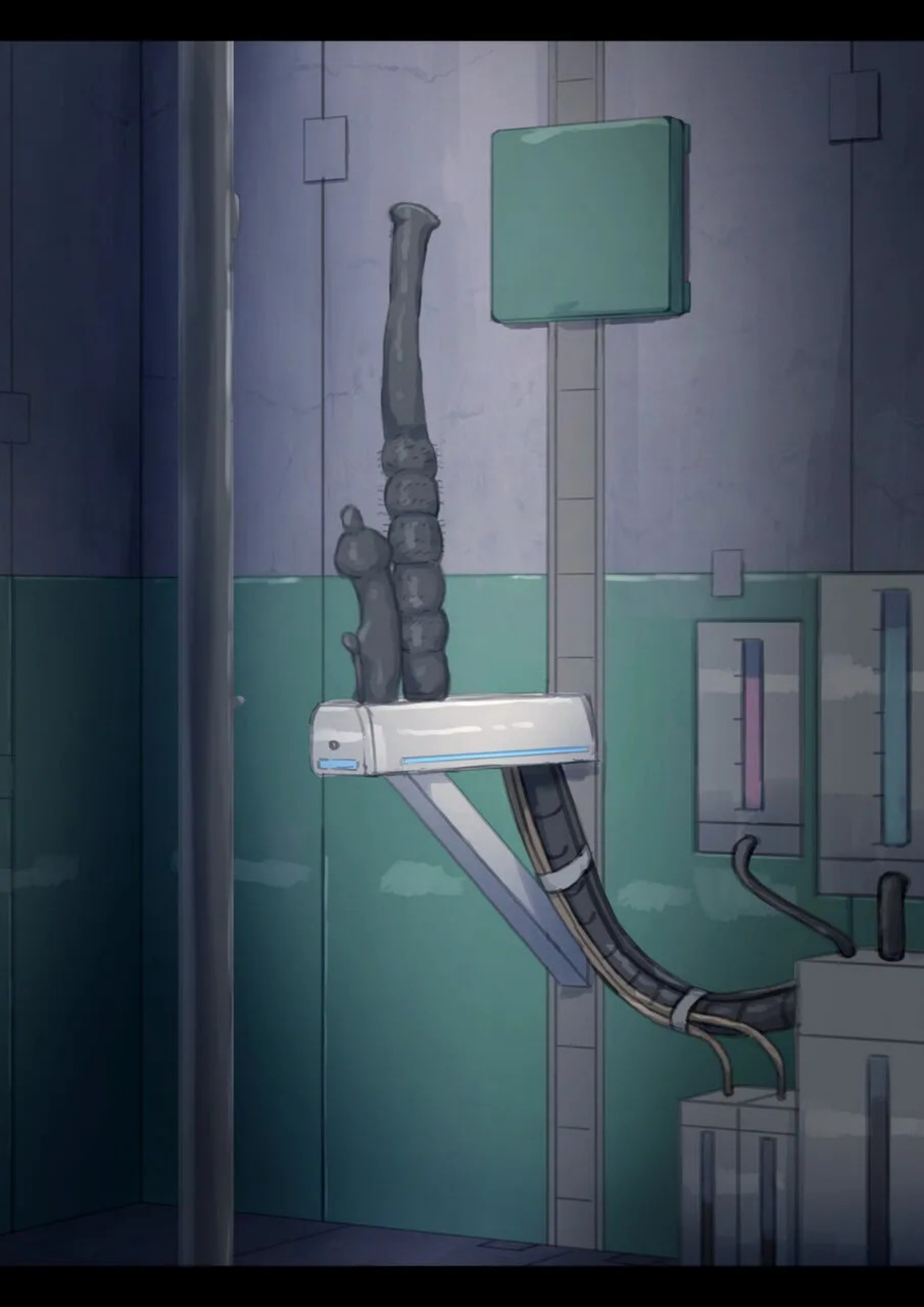
回復ボックス。
この中で睡眠をとることで通常睡眠時の最大10倍の効果が得られる。
過酷な状況下での短時間での身体回復のデータを集め研究でも活かされる。



調教センター
懲罰担当兼懲罰審議官
種山

糸目の職員、40代。
つかみどころがなく表情が変わらない。
物腰は丁寧だが他人への興味は一切持たない。
階級は上の方だが公有物を懲罰という名のもとに
虐め抜くのが生きがいで積極的に現場の仕事をして
いる。
懲罰担当は管理局の中でも人気がない担当のため
希望者が少ないが、彼の場合は希望して懲罰担当
をしている。





特別嚴重懲罰の日々



「これでメンテナンス完了だ。器具の動作開始してくれ。」

「は？」

機械の動作が始まり、麻酔で眠らされている少女はそれでもビクッと身体を反応させる。

3穴に挿入られた器具は振動と電気刺激を行い、クリトリスはブラシで磨かれ、乳首は引き伸ばされ静電気程度の電流が常に流される。

全身はしっかり洗浄しきれいに拭かれていたがもうすでに汗がにじんでいる。

手足はなく全裸で責め具をつけられている少女は眠っている間は少し年相応の安らかな表情を見せていたが段々悪夢を見ているような苦悶の表情に変わっていく。

「それにしてもこんな中でしかもお腹にはギチギチに詰め込まれてホントに気絶しないで耐えられますか？」

まだ配属されて間もない新人管理員は、メンテナンスで目の前の少女につけられた器具や挿入されている器具の交換など自分が行ったことを思い出し信じられなさそう顔で何度も同じような質問を先輩へ投げかけている。

「まあ一日は耐えられたようだから、これから始まる二日目が必要になるだろうな」

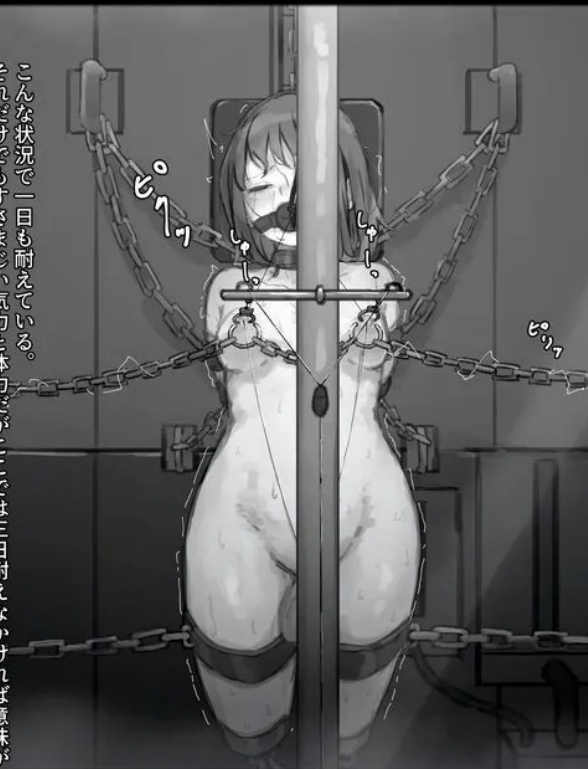
こんな状況で一日も耐えている。それだけでもすさまじい気力と体力だがここでは三日耐えなければ意味がない。

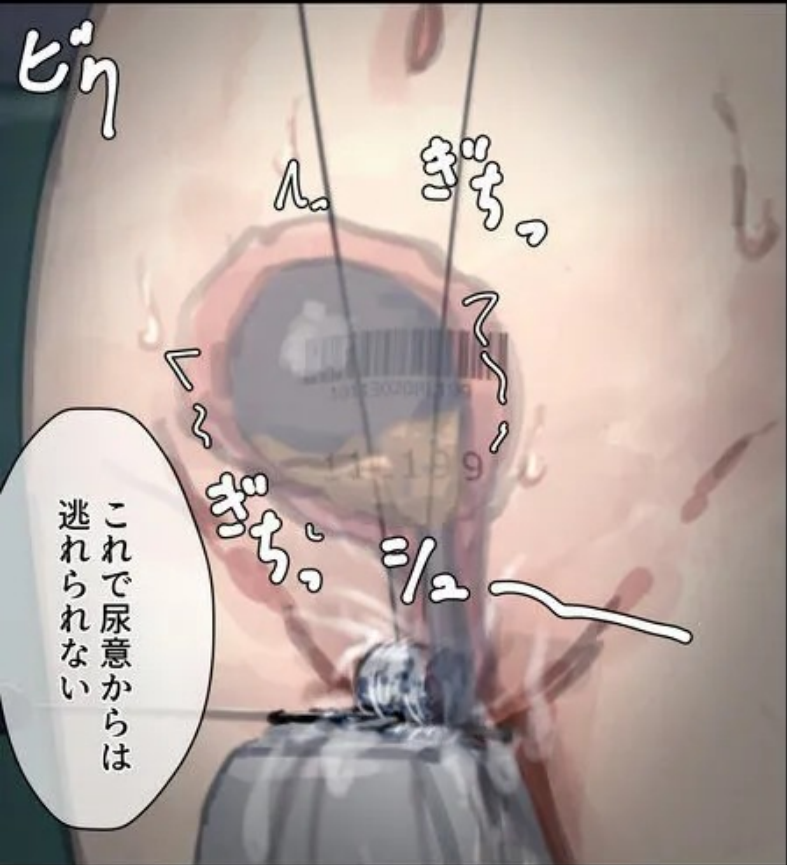
職員が、公有物ですら眠る時間もぶっ続けて拷問され続けている。

「機械の動作を確認したら次の作業に入るぞ」

「はい」

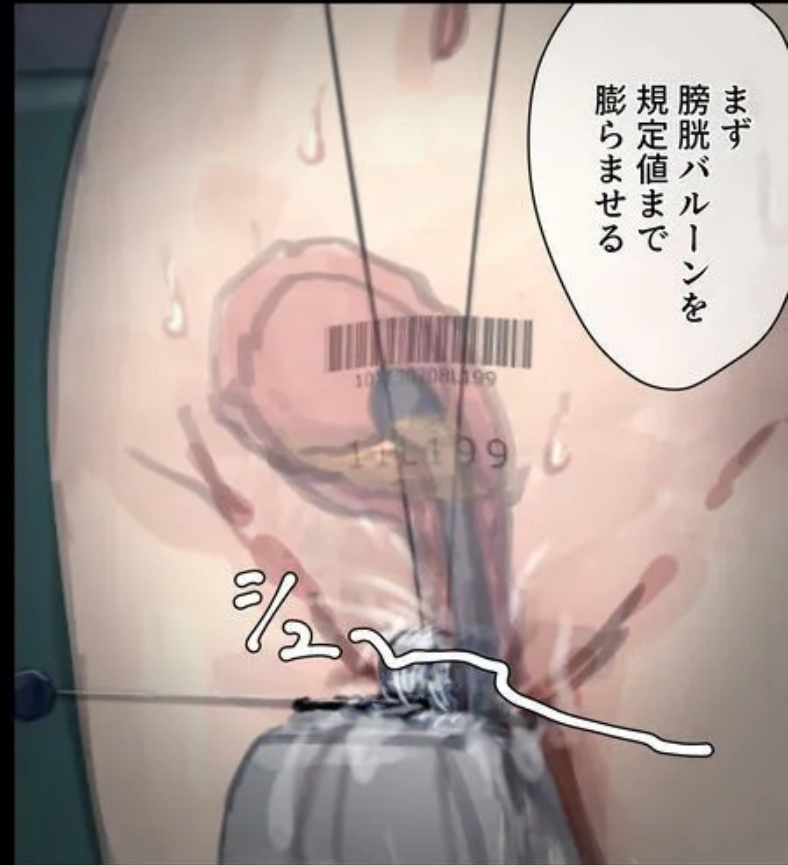
対象の少女は2月半ばから懲罰が開始され、現在1ヶ月半(6週間)懲罰が継続されている。最低でも3ヶ月は行われるので、少なくとも5月の中旬以降までこの懲罰が続くことになる。



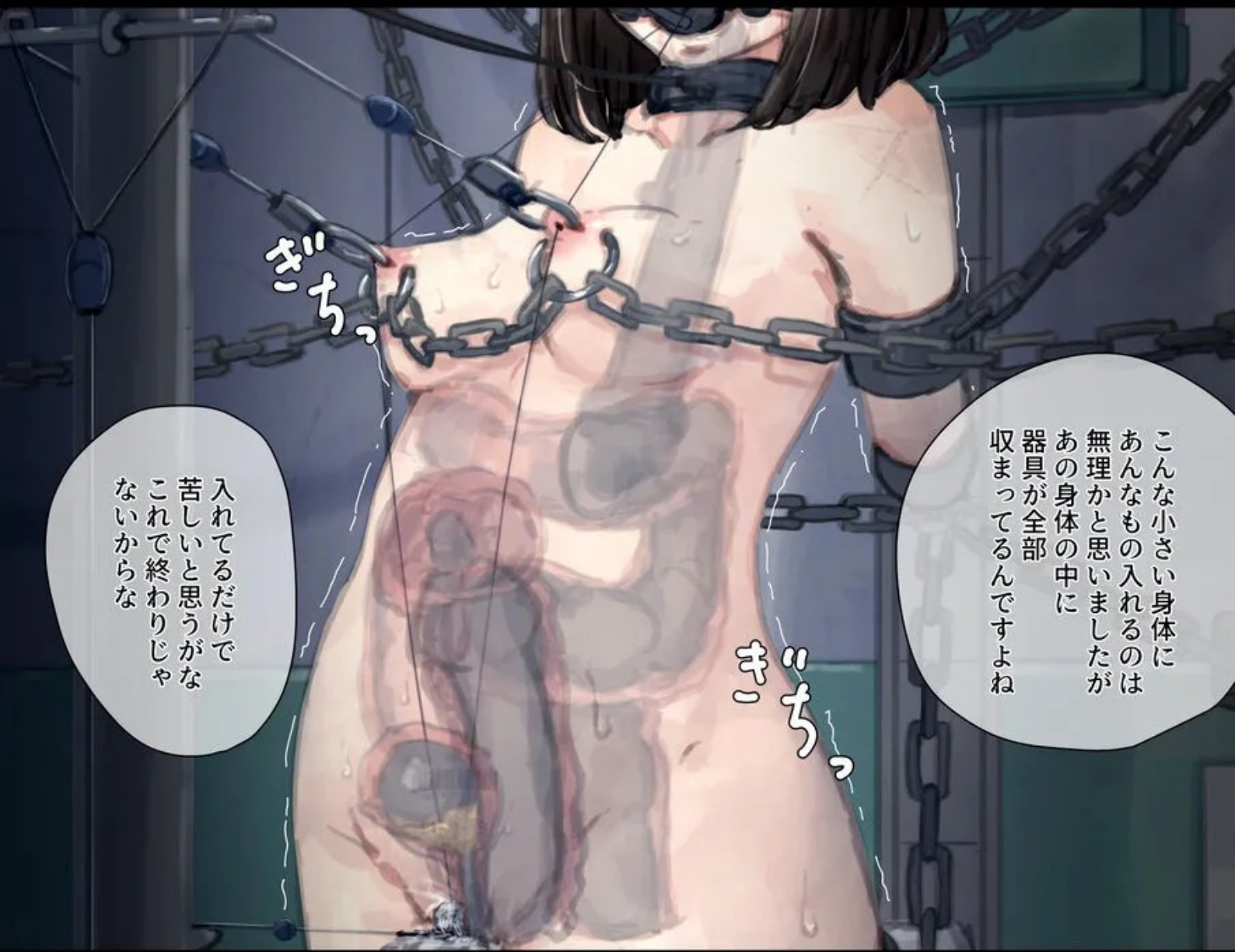


びゅ

これで尿意からは
逃れられない



まず
膀胱バルーンを
規定値まで
膨らませる



ぎゅっ

きゅっ

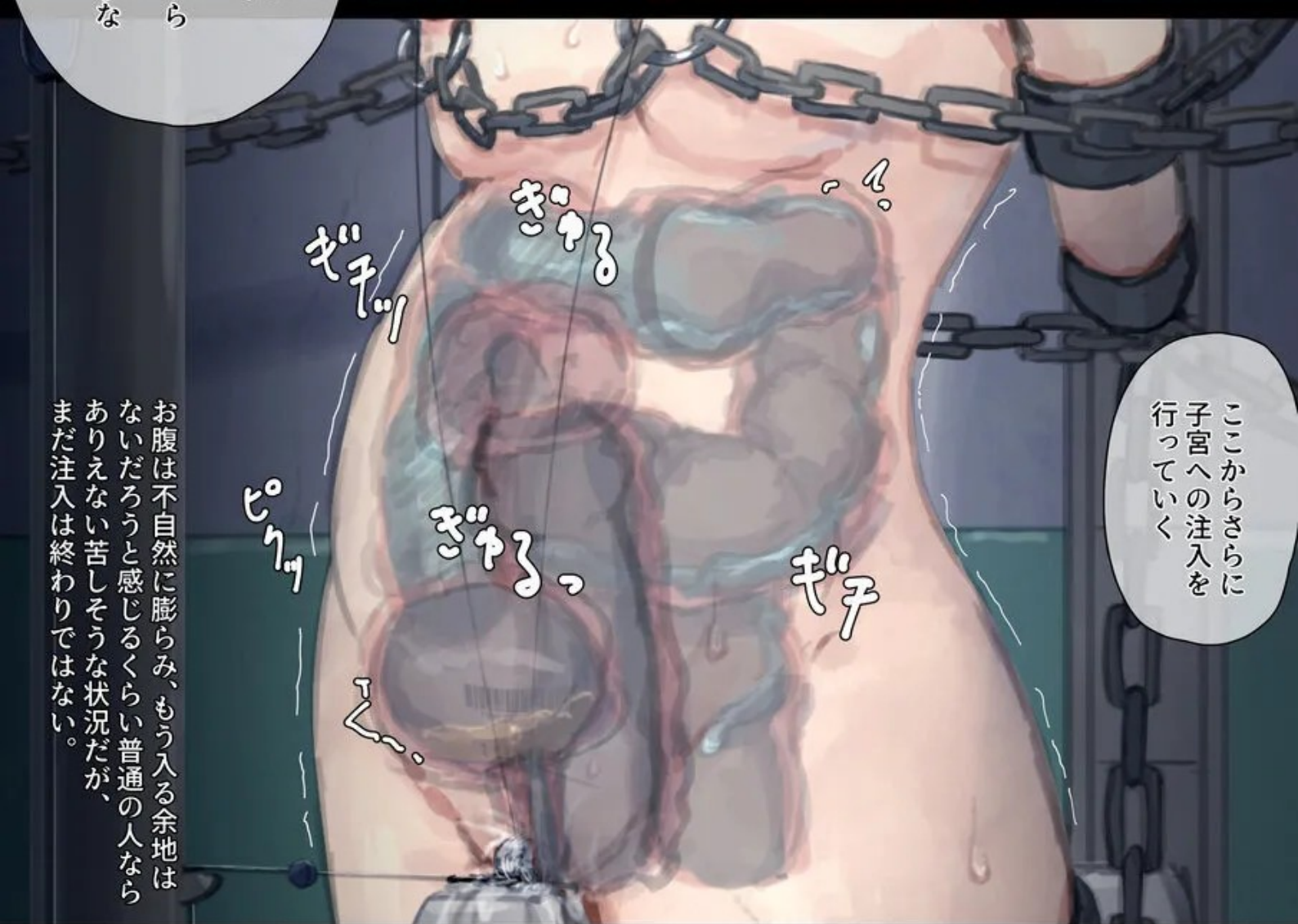
入れてるだけで
苦しいと思うがな
これで終わりじゃ
ないからな

こんな小さい身体に
あんなもの入れるのは
無理かと思いましたが
あの身体の中に
器具が全部
収まってるんですよ



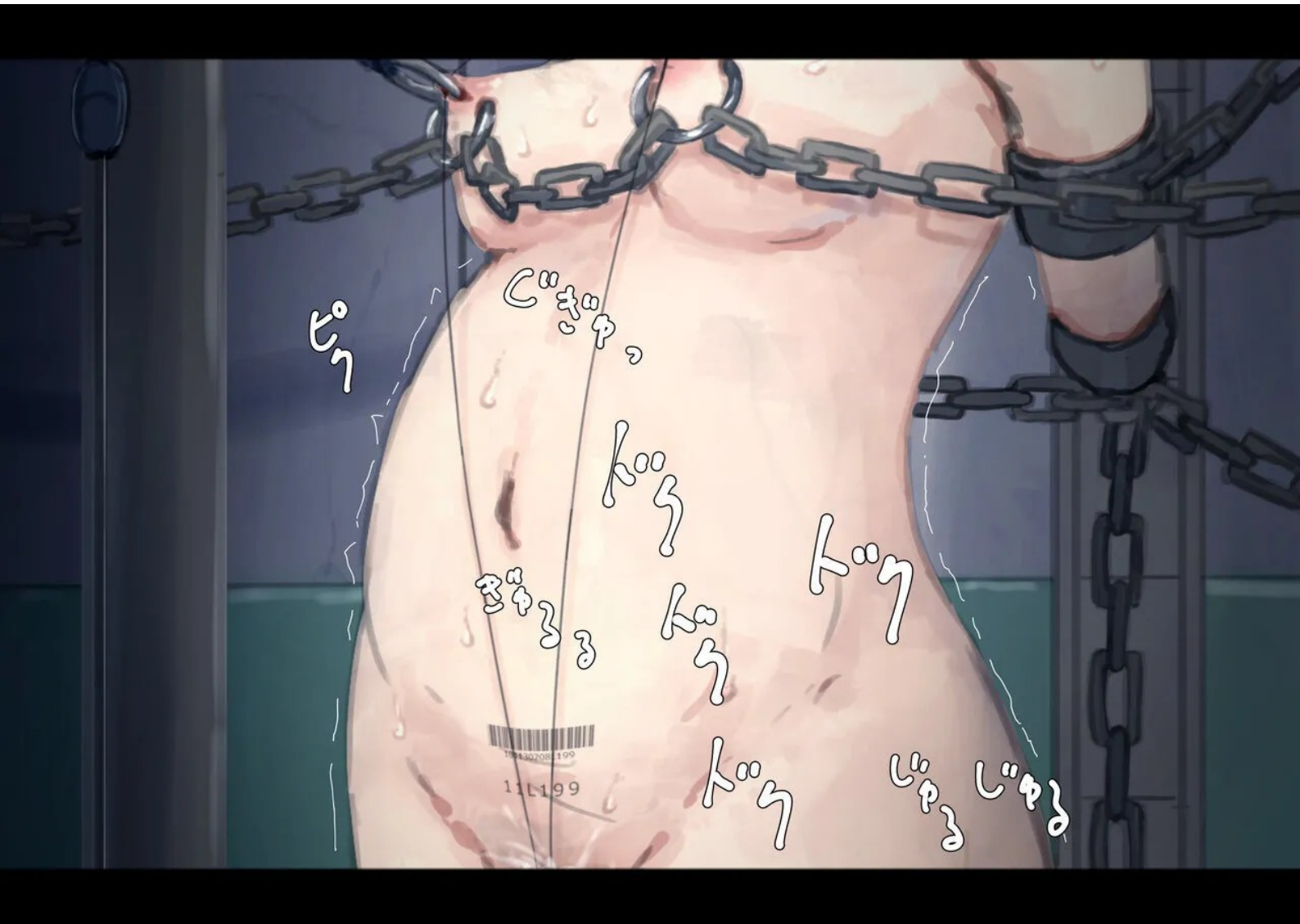
お腹が
見てわかる
くらいまで
膨らんでますね

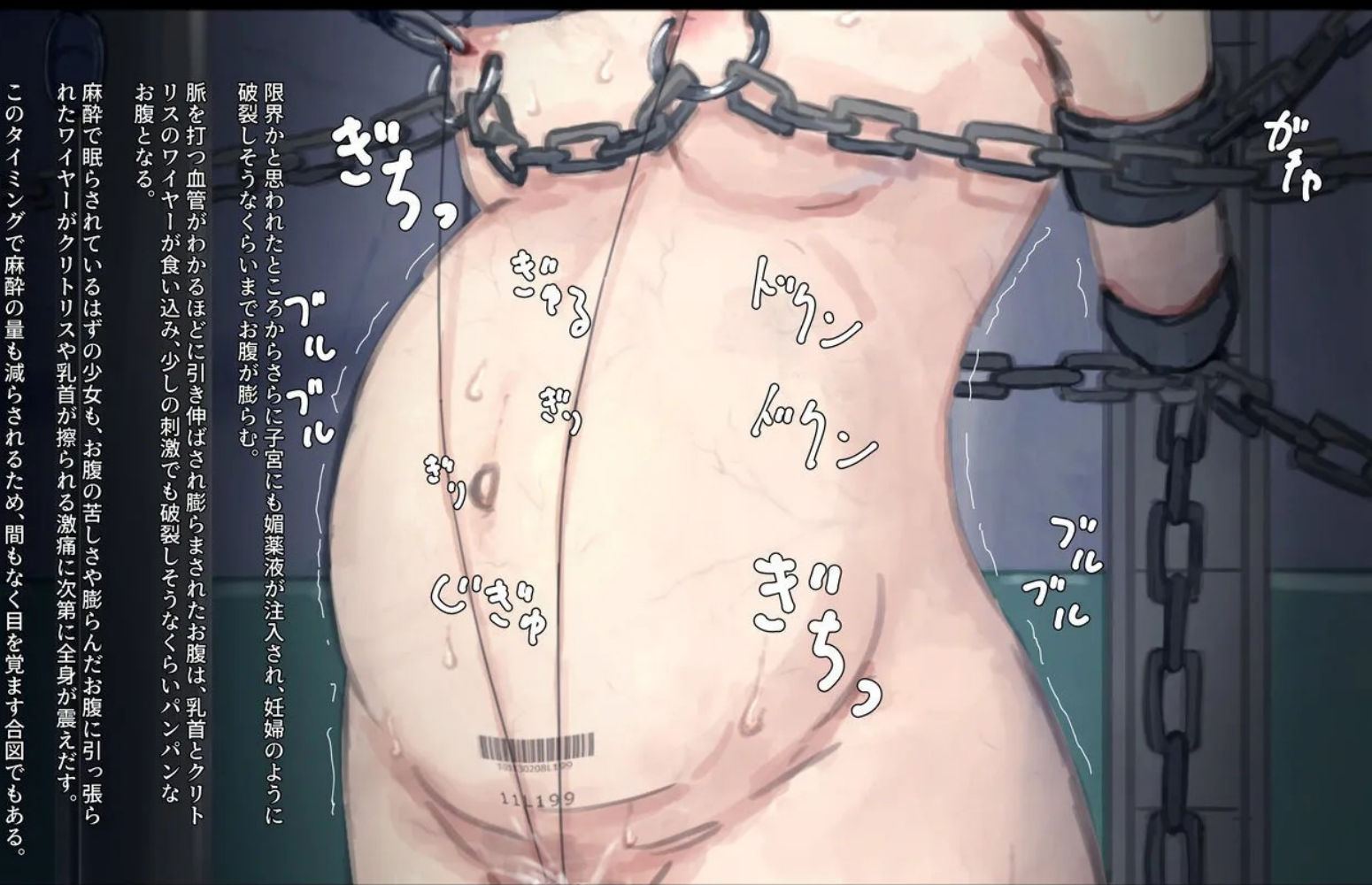
すでに苦しいくらい
詰め込まれた状態で
そこからさらに
膨らまされるんだから
俺たちなら1秒も
耐えられないだろうな



ここからさらに
子宮への注入を
行っていく

お腹は不自然に膨らみ、もう入る余地は
ないだろうと感じるくらい普通の人なら
ありえない苦しそうな状況だが、
まだ注入は終わりではない。





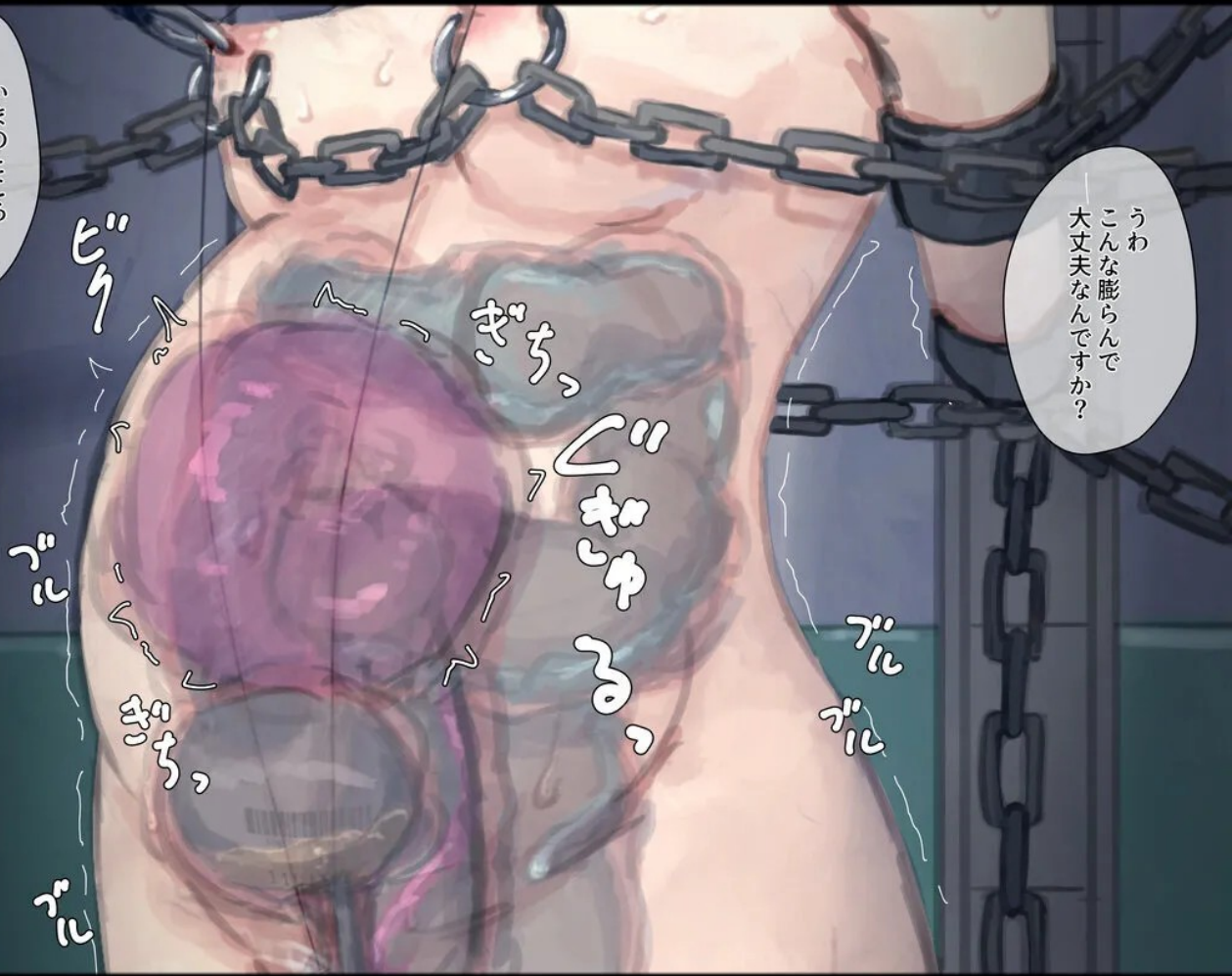
限界かと思われたところからさらに子宮にも媚薬液が注入され、妊婦のように破裂しそうなくらいまでお腹が膨らむ。

脈を打つ血管がわかるほどに引き伸ばされ膨らまされたお腹は、乳首とクリトリスのワイヤーが食い込み、少しの刺激でも破裂しそうなくらいパンパンなお腹となる。

麻酔で眠らされているはずの少女も、お腹の苦しさを膨らんだお腹に引っ張られたワイヤーがクリトリスや乳首が擦られる激痛に次第に全身が震えだす。

このタイミングで麻酔の量も減らされるため、間もなく目を覚ます合図でもある。

うわ
こんな膨らんで
大丈夫なんですか？



いまのところ
これがこいつの
限界だな

普通ならまともに
息もできない
くらいの苦しさに
胃も押し上げられて
常に吐き気があるが

肺に通された
チューブから
強制的に呼吸を
させてるし

胃まで達する口枷で
塞がっているから
吐くこととしても
吐くことはできない

中は少しの余裕も
ないくらいぎっしり
詰まってるだろうな

よし
時間だな

麻酔を完全に切って
気付け薬を
投入してくれ

はい
でも急にこんな
食らったら一瞬で
気絶しそうですよ

実際覚醒時に
気絶する奴は
多いからな

こいつも
何度かそれで
電流拷問を
受けてる

目が覚めたのを
確認したら
次のメンテに
行くぞ

了解です

残り二日
せいぜい
寝ないように
頑張れよ

あれ、私何してたんだっけ…。
長い夢を見ていたような……。

なにぼーっとしてるの
始まるよ！

え
始まるって……？



あれ...?
服が...
身体が動かない...
お腹苦しい...





一瞬意識を飛ばしたように感じ、
電流が来るのではないかと身構える。
電流は流れなかったものの安堵する
暇もなくお腹の苦しさに上塗りされる。

あれ
今なにして…？

懲罰公有物は一日一回麻酔で眠らせ
メンテナンスが行われるが終わった後は、
地獄のような目覚めから懲罰の一日が
始まる。
一日の最初はまず、浣腸液と
媚薬ローションの注入から始まる。

ぎゅ、

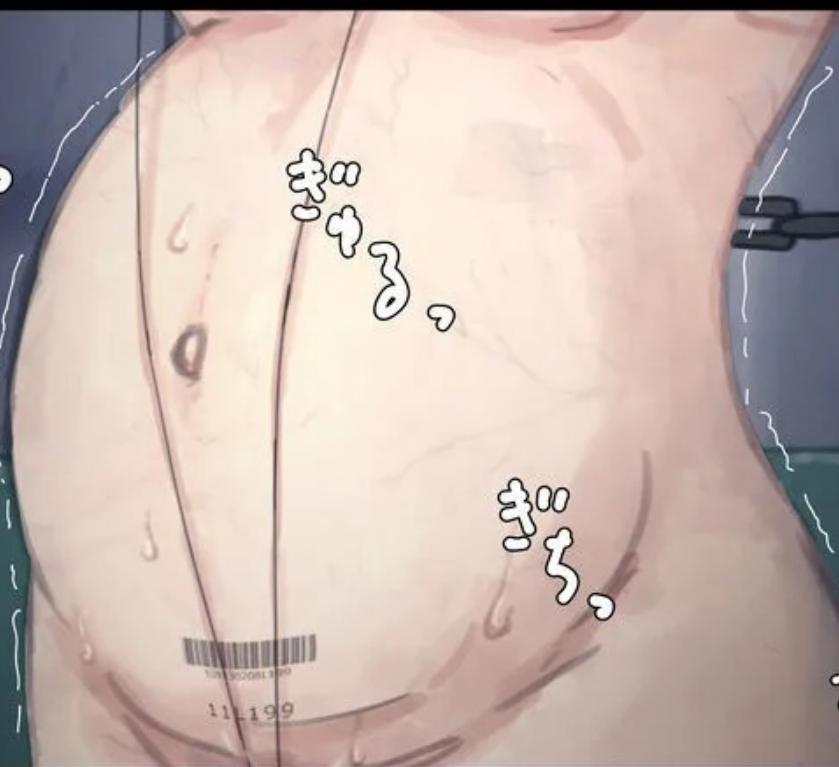
きゅる、

きゅる、

ブルブル

ブルブル

お腹が…



浣腸が始まっている

がががが

ビ、

ビュッ

ブル

ゲイ

ブルブル

麻酔薬で意識がなかった公有物も、麻酔が切れれば
お腹が見てわかるほど膨れる注入量に苦しさを意識が戻る。
新鮮で敏感な意識の中、一番の苦しみが与えられ悶絶する。
一瞬パニックになるがすぐにお腹の苦しさに
浣腸中であることを理解する。



メンテナンスを終え新鮮で敏感な状態の身体に器具による責めと浣腸液注入によるダブル責めが行われる。

麻酔によって意識が飛んでいる間は、本人にとっては一瞬の感覚しかなく、頭と身体はスツキリして疲れや痛みも薄くなるが、意識としては休んだ実感はまるでなく、さっきまでの拷問が続いているようなチグハグな感覚となる。



リーダは餌と浣腸の前に時折訪れるこの奇妙な感覚と、挿入されている器具が明らかに太く長いものに変わっていると気付くときがあり、それでも意識があるときに付け替えられてはいないので、休息时间やその他で薬か何かで意識がない時に何かかされているのかもしれないと薄々勘付いていた。

だがもし薬で意識を飛ばさせられているのであれば、意識ある間はそれこそ永遠でも拷問が可能ということでもあり、考えるたびに恐怖するが、そんな恐怖もすぐに苦しさで快樂で上塗りされ深くは考えられないでいた。

懲罰が始まった当初はメンテナンスを行ったことで、
いわば寝起き状態で様々な責苦を受ける感覚と、
一方で寝たような感覚はなく、意識はさっきまでの拷問が
続いているので二つの感覚に戸惑うことになる。

その感覚のちぐはぐさに刺激をことさらに拾ってしまい、
気絶してしまうことも出てくるが、
その後の電流拷問でしっかりとわからせらせることで、
現在では危ない時もあるもののメンテナンス後の
寝起き状態での気絶には耐えられるようになっていく。



一番ひどい時では、メンテナンス後、拷問を開始して一分で
気絶してしまったこともあり、もちろん一セットの拷問は
始まったばかりなので、残り74時間はずっと苦しい電流が
流され続けるという地獄を味わい、
精神崩壊一歩手前まで追い込まれるということもあった。

苦しさに瞬く間に脂汗が滲む。

まだ…まだなの…
もう無理…

イサはやく…

大腸だけではなく、膀胱、子宮にも注入され、お腹は破裂しそうなほどパンパンになっている。子どもを産んだこともないのに子宮は張り裂けそうなくらい膨らまされる。

膣やクリの器具も動いており、絶え間ない快樂ですぐに絶頂しかけるも、お腹の苦しきでかき消されるのを繰り返す。

ポポポ

チャイムがなり、お腹がパンパンの状態ですぐに餌と排泄の時間がようやく開始される。



餌と排泄

8時間に一回、餌と排泄の時間が設けられている。もちろん餌を与えて排泄させるだけの優しいものではなく、最も苦しい懲罰の一環となる。

時間になるとチャイムが鳴り、アナルには浣腸液、子宮には媚薬ローションが限界まで注がれ、膀胱バルーンも限界まで膨らむ。

アナルには2リットル相当、子宮には1・3リットル、膀胱バルーンには元々300mlで膨らまされているところにさらに追加で400ml注がれ、合計3・7リットル(膀胱バルーンの元々の分も入れると4リットルとなる)が注がれている。

注入量だけでいえば公有物の限界値としては余力があるが、元々膣やアナルは器具で埋め尽くされており、1~2リットル相当分以上は常にお腹に詰め込まれている状態で、さらに4リットル程度が増えるので、体感としては5リットル以上がお腹の中に収まっているような感覚で、耐え難い苦痛となる。吐き気にも襲われるが喉ディルドがあるため吐くこともできない。

そしてどんなに苦しくても自由に排泄はできず、排泄のための手順を経なければならぬ。

(懲罰開始時点ではアナル1・5、子宮500、膀胱200、だったが様子を見て注入量が増やされている。何リットル注入できるかは反省度を示す重要な数値でもある。身体の高さなどで物理的な限界はあるが、そのような理由は身体の高さが足りていないと理不尽な判定が下されることもある。)

餌と排泄 その2 (餌の手順)

まず、お腹に限界まで注がれた状態で餌の時間が始まり、口枷ディルドを舐めたり喉を締めるなどして擬似射精機能が搭載された口枷に奉仕することで、擬似射精をさせなければならない。

懲罰中はこの擬似射精液が餌となり、餌の時間はこれを3回繰り返さなければならない。

ディルド部分は高度なセンサーが内蔵され、フェラをするように奉仕を行い本物のように射精に導くことで餌が放出される。

それまではお腹に注入された液体はそのままで我慢し続けなければならず早く楽になりたければ全力で奉仕を行い餌の時間を終わらせるしかない。

だが本物のように再現されているため何度も絶頂させることは難しく、それを吐きそうなくらい膨らまされ苦しいお腹で手を使って奉仕もできないという万全ではない状況の中で行わなければならない、最低でも30分以上はかかってしまう。

(過酷な状況の中で鍛え続ける舌技はすさまじく、一般男性であれば数分もかからず絶頂させることができるようになる。)

さらに餌の時間が終わってもすぐに出せるわけではなく、3回目の餌の射精が行われた後、15分経過しないと排泄できないようになっている。

だがこれも自動で排泄できるわけではなく、過酷な手順を乗り越えなければ排泄ができないようになっている。

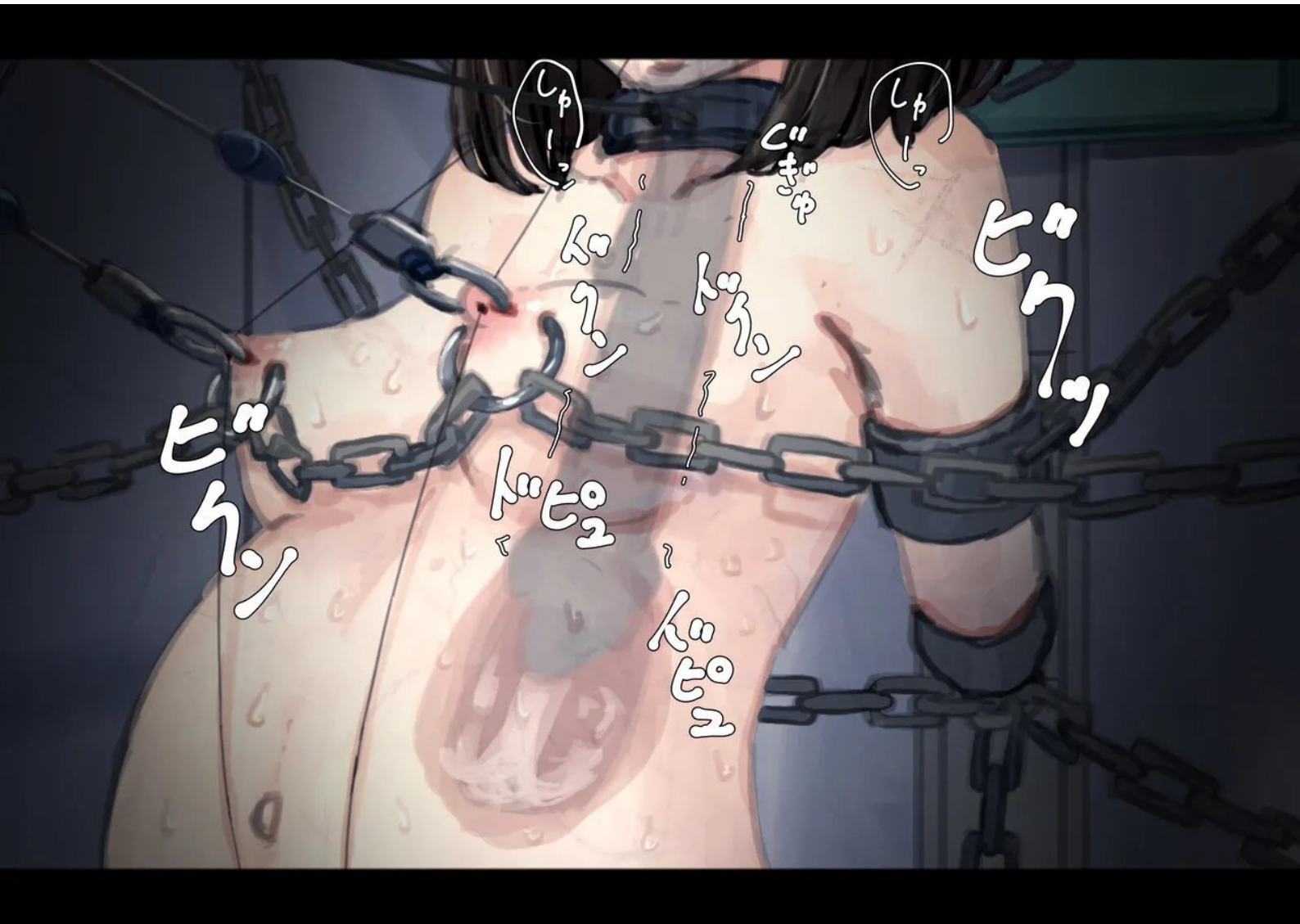
苦しい……くるくる……
早く舐めなげや……



早く舐めなげや……



外から見ると変化はないものの口や喉を
必死に動かして機械相手に懇願しながら
奉仕を行っている。



ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

ヒン
クン

くるしい...やめたい...
でもここでやめたら苦しいまま。
がんばるしかない...

早く...
早く...

ブルブル

しゃい
しゃい
しゃい
しゃい
しゃい

舐めるのをやめればすぐに
デイルドは萎えてしまうので
舐め続けないといけない。

ブル
ブル

きゅっ
きゅる
きゅる
きゅっ



喉まで入り込んでいる口枷は絶頂に近づくときさらに膨らみ本物の射精のようにビクビクと震えネバネバとした餌入りの擬似精液を胃に直接放出する。

胃に直接出されるので、味や感触や臭いはないため、ビクビクと震える感触と微かに胃に温かいものが注がれる感覚をたよりにデイルドが絶頂したかどうかを判断する。

デイルドは本物のペニスと同様に何度も射精できるわけではなく、1回目より2回目、2回目より3回目と回数を重ねるごとに射精させる難易度は上がり、なかなか出してくれなくなる。

もちろん奉仕をやめれば本物同様萎えてしまい、さらに時間がかかることになる。



顔を前後させたり、手を使って行うことは困難なため、口と喉に留まったままのデイルドを舌と喉の締め付けだけで奉仕を行わなければならず、難易度は一番高いとされる。

それでも3回出させなければ、パンパンに詰められたお腹からは解放されないため、(厳密には解放するためのスタートライオンに立てるといっただけ)必死に奉仕を続けるしかない。

餌が始まってから30分が経過しようとしている。
2回目を絶頂させ3回目の餌出しに入っているが最後は中々絶頂に至らず機械相手に祈りながら奉仕を続ける。



予備調教時にもセンサーデイルドを口に入れっぱなしにされ、吐き気に耐えながらの奉仕の調教を受けているが、それよりもはるかに絶頂しにくい設定となっている。
加えて予備調教時にはなかった、痛みや快楽とお腹の苦しさに耐えながら行う奉仕は想像以上に難しく、初めの頃は1時間経っても終わらないこともあり、その間お腹の苦しみを味わい続け、早く終わらせようと努力した結果、調子がいい時では30分程度で終わらせられるようになっていた。

それでも30分と待機の15分で45分間は出すことができないため、その間は苦しみには耐えないといけない。
手や顔を動かして奉仕することができないので、純粋に舌と喉をうまく動かして刺激を与えていくしかない。



やっとだ…。
待ちわびた多分三回目の餌出し…。
びくびくと震わせながらお腹に熱い
ものが出されているのを感じる。

ビクビク

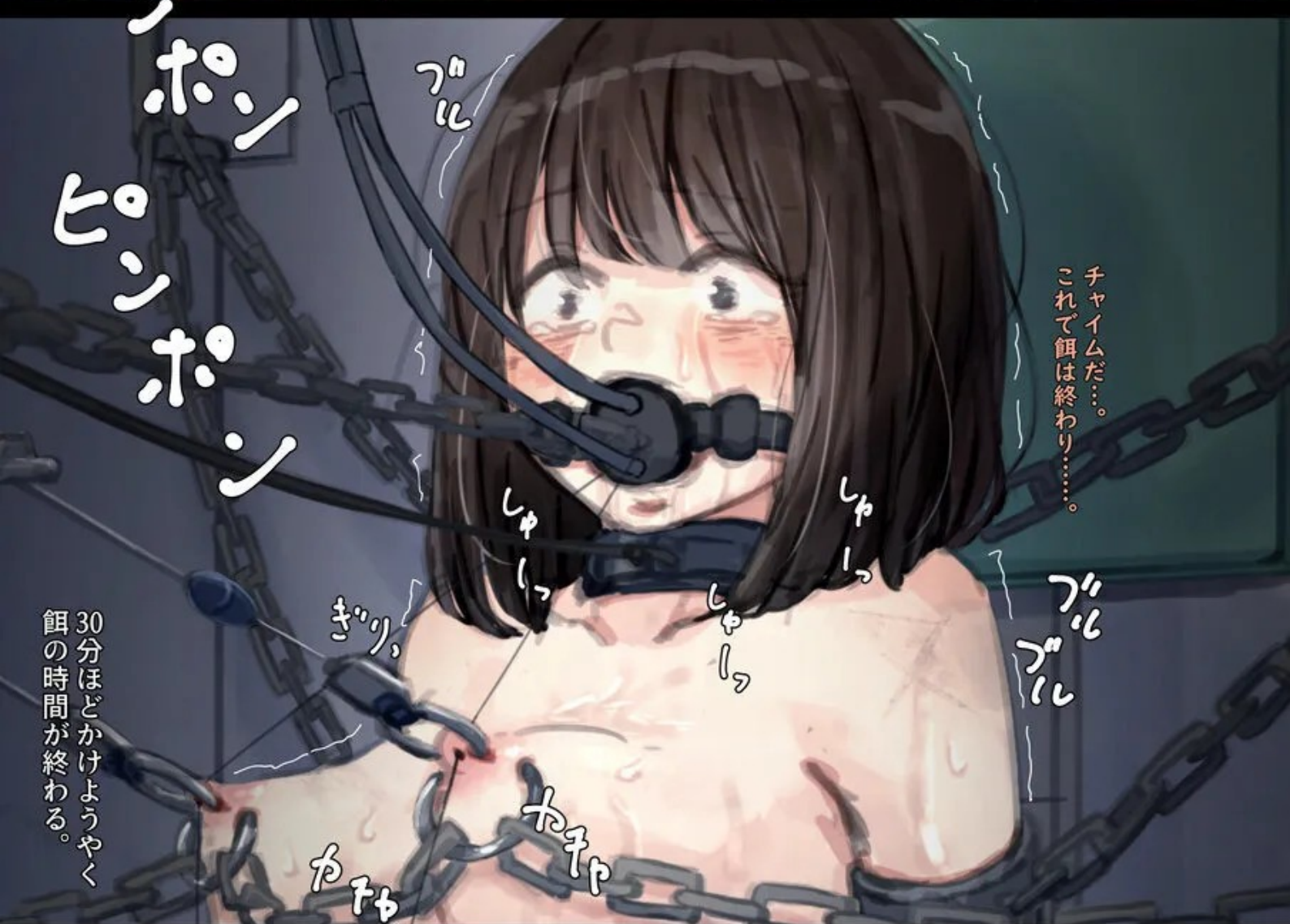
ブル

ギョギョ

ドクドク
ドクドク

ビク
ビク

ブル
ブル



チャイムだ…。
これで餌は終わり…。

ポン
ポン
ポン

ブル

しゃ

しゃ

キラリ

たて

ブル
ブル

たて

30分ほどかけようやく
餌の時間が終わる。

軽く酸欠になるもののみまだ終わりではない。
ここから15分間ただただ耐えるしかない時間となる。

この時間を作った人は本当に悪魔だと毎回思わされる何も無い時間。

せめて快楽に浸ればとそちらに意識を集中するもなぜか機械は絶頂できない程度まで弱まり、大した刺激を与えてもらえず、苦しいお腹を抱えたまま苦しさを味わい続けながら、永遠のように長い15分を耐えさせられる。



フラッシングで装置を動かしてもただ電撃が来るだけ。
あえて電撃で苦しさを紛らわそうと思ったこともあるけど、ただ苦しさが2倍になっただけでさらに身体の疲労も増すから良いことはなかった。
今はただじっと耐えて待つのが最善…。

じっと耐えるのが最善とはわかっているけど
つらい、苦しい、早く出したい…。
こんなの耐えられない。



あま

がまんなんて
むり

まだ...?

またなの...

もうむり

しぬ...しんじやう

こんなつらいながもういっも...0

うん

うん

しゅん

うん

全身が震えて汗が噴き出す。
ベタベタの身体を拭くこともできない。
一分一秒がとてつもなく長い。

まなかも
おつとまなま
なこころ

くるしいくるしいくるしい

くるしいくるしいくるしい

だしたいたいだしたいたい

だしたいたいだしたいたい

かた
かた

かた

かた

かた

かた

かた

きゅん

なが

なが

なが

なが

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

つる

餌と排泄 その3 (排泄の手順)

アナル浣腸液は乳首に繋がれた位置センサーを下げると(前のめりになり位置センサーを降ろす)と下げている間のみ1秒間に1ml排出できる。位置センサーの位置をずらすことは懲罰対象となるため、当然下がっている間は電撃が流れる。つまり排泄するためには電撃を受け続けなければならない、かといって何もしないと張り裂けそうなお腹の苦しみを受け続けることになる、というどちらに進んでも地獄のような状況となる。1秒間に1mlしか排泄されないため、2リットルを全て出すには約33分ほどかかる計算となる。その間電撃を受け続けなければならない。

膀胱バルーンは逆に位置センサーを上げる(身体を反らし乳首を引っ張る形で引く)とバルーン内の液体がこちらにも1秒間に1ml排出される。(ただ、膀胱内で膨らんでいるバルーンは規定値より小さくはならないので、死にそうな尿意が苦しい尿意程度になるだけである)こちらにも位置センサーが指定位置から外れるので電撃が流れ続ける。膀胱バルーンは約400mlとなるため、7分弱かかる計算となる。

位置センサー

上げる

下げる

注入スイッチ
引っ張ると浣腸液などが注入される。(後で解説)

子宮の液体の排泄は、膣パイプを一定以上の圧力で膣で締め付けを行い、口枷ディルドを喉や舌を使い刺激を与えると、カチッと音がなり、10ml排泄ができる。どちらかでも止まってしまうと排泄も止まるため、膣を締め付けながら口枷を舐め続けなければならない。どちらかでもできていないと排泄は行われなため、口枷を舐め続けながら、タイミングを図って締め付けをしなければならない。必要な膣圧はその公有物が出せる限界ギリギリの圧力に設定されているため、かなり強い力を込めなければならない、一回行うだけでも精一杯となるが、子宮には1リットル以上が注入されるので、この動作を100回以上は行わないといけない。アナルと膀胱と違い電撃は無いものの、絶えず襲ってくる刺激に耐えながら、膣を強く締めるのはかなりハードで、絶頂してしまうと力が入らなくなってしまうので、絶頂に耐えながら気合いで乗り越えるしかない。アナルか膀胱の排泄と同時に行う場合は、あらゆることを同時に行わなければならない、拷問中でも集中力と頭を使わなければならない。

少女は限界までお腹を膨らませ、今すぐにも出したい状態で餌を終わらせなければならない、さらに餌を終わらせても、15分間排泄ロックが解除されないためそのまま我慢をしなければならないが、解除の音はカチッとというロック機構が外れる音しかないため、聞き逃さないように集中しなければならない。

時計はないため聞き逃した場合は15分経ったかどうかは感覚で計るしかない。ロック解除前に焦って排泄しようと位置センサーを動かしても電撃があるだけで排泄はできない。

いくら苦しいとはいえ排泄と同時に電撃がくるため自ら電撃を受けに行くことになり、操作を行うのはかなりの覚悟が必要になる。



ヒキウ
ヒキウ

ヒキ
キョウ

ガキョ
ガキョ

ヒキ
ヒキ
ヒキ

ヒキ
ヒキ

ヒキウ

ヒキウ

ヒキ
ヒキ

キョウ
キョウ

ガキョ
ガキョ

ヒキ

キョウ
キョウ

ヒキ
ヒキ

ゴメン
ゴメン

ヒキ

ヒキ

ポク
ポク

ガク
ガク

やっほりむり！

なぐで出すなければのに

こんなつらいの……

耐えがわるわけない

電流に耐えられなくなり
思わず戻してしまう。
でもそれではお腹は
一生苦しいまま……
そんなのやだ……でも
電流も痛い……

くろしい……

がう
がう

がう
がう

びう
びう

びう
びう

しゅ
しゅ

たう

たう

びう
びう

ちう
ちう

びう
びう

うん
うん

冬場の静電気のように不意に来るものとは違い電気が流れるとわかっているところに自ら動かすのはかなりの恐怖となり、普通であれば中々踏み出せず、覚悟を決めたとしても一回ビリッと流れてそれで終わりのわけではなく、ここではそれを最低40分間は続けなければならぬ。
お腹の苦しさと電流の痛みと恐怖を天秤にかけ壮絶な選択を強いられる。

全部を排泄しなかった場合は、次の餌と排泄の時間で排泄しなかった分も加算されて注入される仕組みとなっている。

L199もそれを試したことがあり、限界を超えて注入が止まらず苦しさで気絶したのでそれ以降は必死に全部出すように心がけている。

やるしかないんだと再び
覚悟を決め身体を前に倒す。

ズッパッ

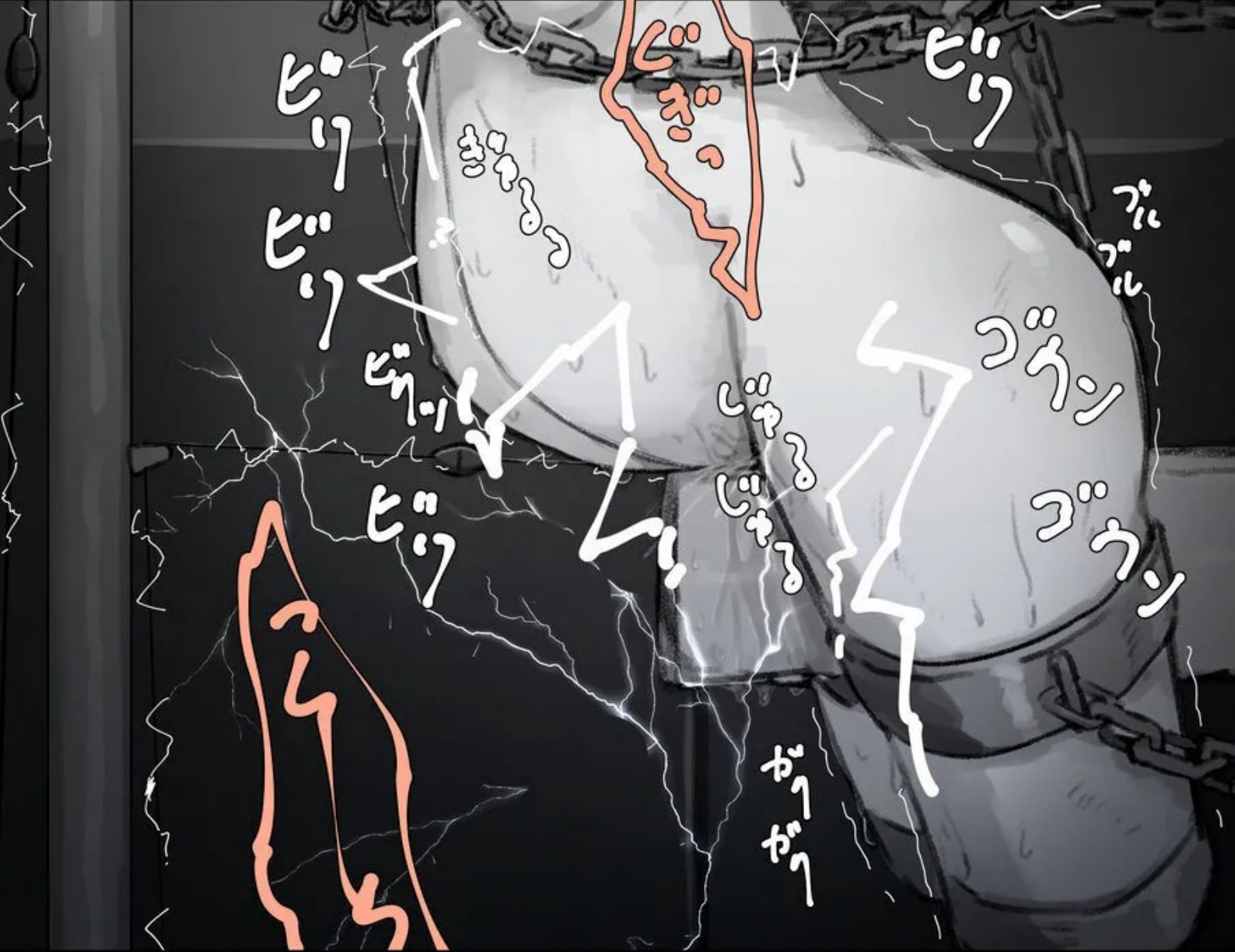
ぶる
ぶる
び

しゅ
しゅ
しゅ

しゅ
しゅ

び
び
び

ららら...
くらら...
くらら...



びり
びり

ぶる
ぶる

づん
づん

づん
づん

ががが
ががが

びり
びり

びり
びり

びり
びり

びり
びり

きり
きり
きり

じゅ
じゅ
じゅ

らら
らら
らら



んおおおん

たえろ！

たえなきゃ！

ゾッ

ゾッ

ブルブル

ゴーン

ゴーン

ガーン

かろん

ビーン

ビーン

じきん

ビーン

じきん

きん

ビーン

ビーン

普通の人なら思わず飛び退くような電流を浴び続けながらそれでも引くことなく、数十分の間、電流に耐えながら体勢を維持し続ける。

ビーン

少しづつ浣腸液が吸い出され、いきなり徐々にお腹の苦しさから解放される。パンパンだったお腹も少しづつ小さくなっていく。

ガイヤ ガイヤ

あと少し...。

あと少し...。

しゃー

しゃー

しゃー

ズキ

ビビ

ビビ

ビビ

ビビ

じきゅ

ブルブル

ゴーン

ゴーン

じゅるじゅる

ビビ

ガーン

ポーン

ガキッ

まっ…
ある法がまっままでの
一瞬の間が
一番…わい…

しゃー
しゃー
しゃー

わい

ギッ

ズッ

ズッ

わい

ピッ

↑
い

ギッ

ブルブル

ぎち

ブルブル

ブル

ズンズン

うががが

ざんざん

子宮もある程度楽になるとパンパンに膨らまされ耐えられない尿意を送り続ける膀胱のバルーンを小さくするため今度は身体を反るようにしてちぎれそうになる乳首の痛みに耐えながら位置センサーを上にはずらす。

同時に子宮内のまだ出し切れていないものを
出すために電流を流されながらも膣を締め
口枷を舐め続ける。



乳首は限界まで引っ張られる激痛だけでも辛い、さらに乳首の根元に開けられた管理ピアスと乳首の先に刺されているワイヤーが乳首内で挟まれながら擦れることでさらなる激痛が同時に襲い来る。

そこに電流の痛みも加わり、小さな乳首に幾重にも痛みがのしかかる。何が苦しいのかもよくわからず気絶しないように耐えるので精一杯となる。

膀胱が限界の状態ですさらに身体を反らせなければならず、尿意も倍増する。膣のパイプやアナルデイルドですすでにギチギチの体内には逃げ場はなく、ぽっこりと不自然に膨らむ。様々な痛みを耐えながら膀胱バルーンが小さくなるのを待ち続ける。



ブルブル

残っていた子宮の排泄も終わり、ようやくすべての排泄が終わる。
これが毎日続く餌と排泄の時間となる。
だがこれで懲罰は終わりではなく、ただ通常の状態に戻っただけで過酷な懲罰は続いていく。

しゅしゅ
しゅしゅ



11L199

しゅしゅ
ビビビ

ピッ
ポーン

やっと終わった...
食べるのと出すだけなのに、なんでこんな辛い思いをしないとイケなの...。

ががが

ウインウイン

排泄後

ギチッ



膀胱のバルーンは最大時から小さくなってはいるが、尿意を感じるバルーンは
いまだに居座っており、これ以上小さく
なってはくれない。
おしっこ行きたいのは
ずっとなくならない。
出したくても出せない。

排泄前

ギチッ



なんとか排泄を終わらせた安堵からか
または機械が強くなっているのか、
今までは苦しくて霞んでいた快樂が少し
づつ表れ始める。

さっきまで苦しいだけだったから気持ち
いいのは久しぶりに感じる。
でも早くイくと後がつらいから今はなる
べく我慢しないようにしないと…。

もわっ

もわっ





強いッ...

がまんできません...

がッ

がッ

がッ

イッ

ビョッ
グッ

ズッ
がッ
がッ
がッ
がッ

カタ
カタ

ビョ
ッ
ブル
ブル

まだ数分も
たっていないのに...



お
お
お

直
後
責
め

せ
だ
!

び
び
び

ウ
ィ
ン

ギ
ョ
ル
ウ
ィ
ン
ギ
ョ
ル
ウ
ィ
ン

が
ん
が
ん

す
ぎ
い
び
...

か
た
か
た

い
き
っ
ぱ
り

極細のブラシでクリトリスを包み込み、
媚薬ローションでぬるぬるにしなが
ら高速回転するブラシ。
デイルドにより台に身体が固定され、ク
リトリスの先端も管理ピアスで限界まで
引っ張られ腰をずらして逃げることもで
きず、弱点を晒しながら常に磨かれ続け
る。
磨かれ続けたクリトリスは小指の先ほど
の大きさまで成長している。

ギ
ョ
ル
ギ
ョ
ル
ギ
ョ
ル





餌と排泄の時間が終わると機械は最大で動き始め、休む暇すら与えず少女の息すら奪い取る。強すぎる快樂にすぐに絶頂へと至り、一度絶頂してしまえば連鎖して次々と快樂に襲われ連続絶頂してしまう。

毎日されてパターンはわかっ
ているはずなのに、毎日新鮮
で慣れることのない刺激で毎
回すぐにイってしまふ。
もうやめて…。
たとえ拘束が解かれても手と
足がないからこの台から逃れ
ることはできないし、
暴れることも抵抗することも
できない。
もしかして一生このまま…？
だれかたすけて！

びび

ビッ
ッ

ビ
ッ

お
お

い
だ
い
…

ごめんごめん…

ビ
ッ

ビ
ッ
ビ
ッ

ビ
ッ
ビ
ッ

ビ
ッ
ッ

111199

カ
ン
カ
ン

ブ
ッ
ッ

動いたら電流…。
ごめんなさい…ごめんなさい…。
自暴自棄になって動くとすぐに
電流でわからせられる。

電流を受けながらいきいき、
いきながら電流を受ける。
チューブから送られる空気の
量は一定なので激しい絶頂に
空気が足りなくなり酸欠となり
次第に頭がぼーっとしてくる。

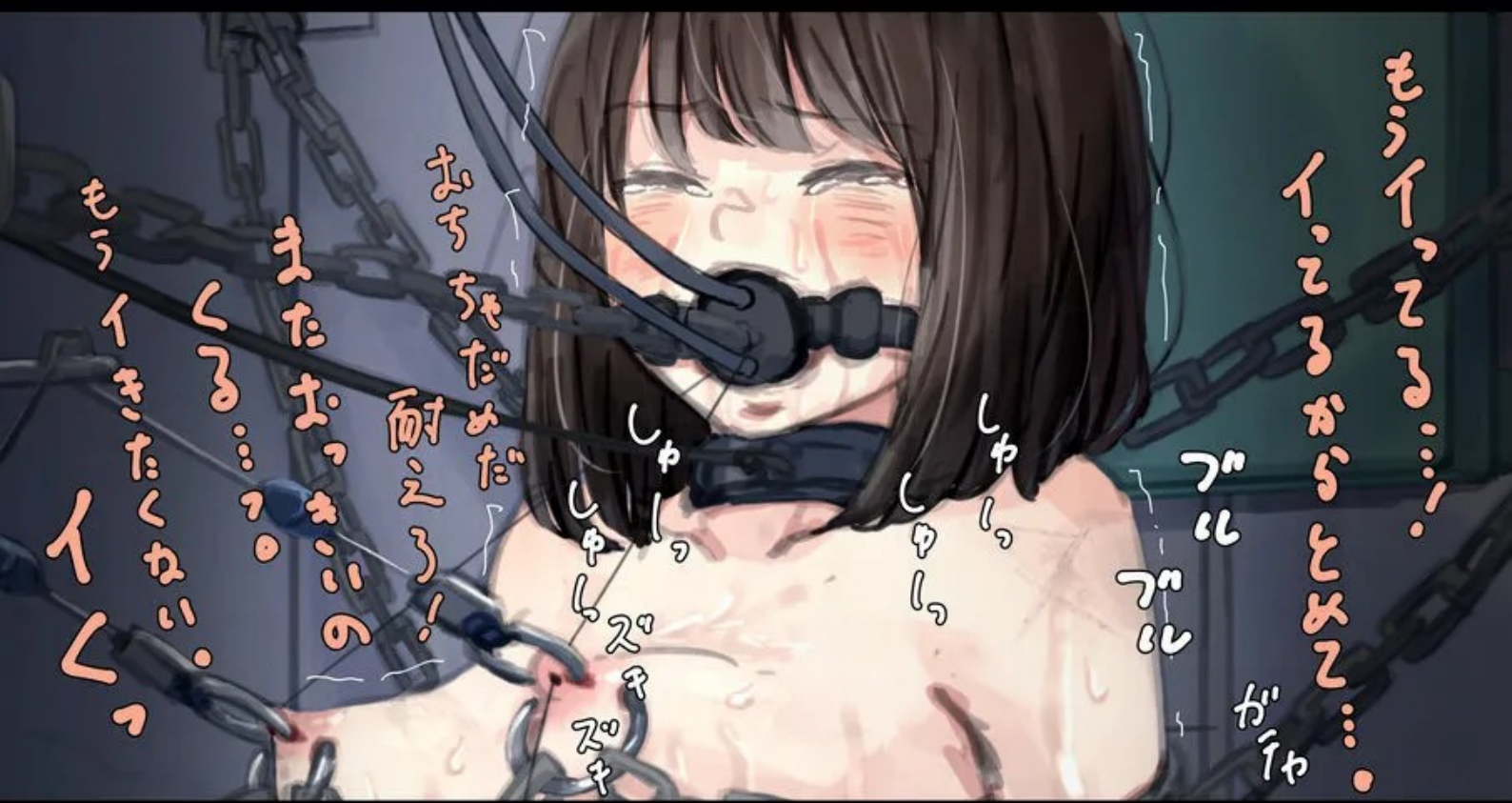
ああ…意識が…。

ハッ
ダメだダメだ…っ。

意識を失うところだった…。

慌てて意識を戻しなんとか息を整え
ようとするけど繰り返し訪れる絶頂
に身体は消耗していく。

もうむり
いけない…。
いきたくない…。
しんじやう…。



おまいせ
おじるら...

おぼ、ダメ
これ一番嫌なやつ

もうイきたくない。
イ...

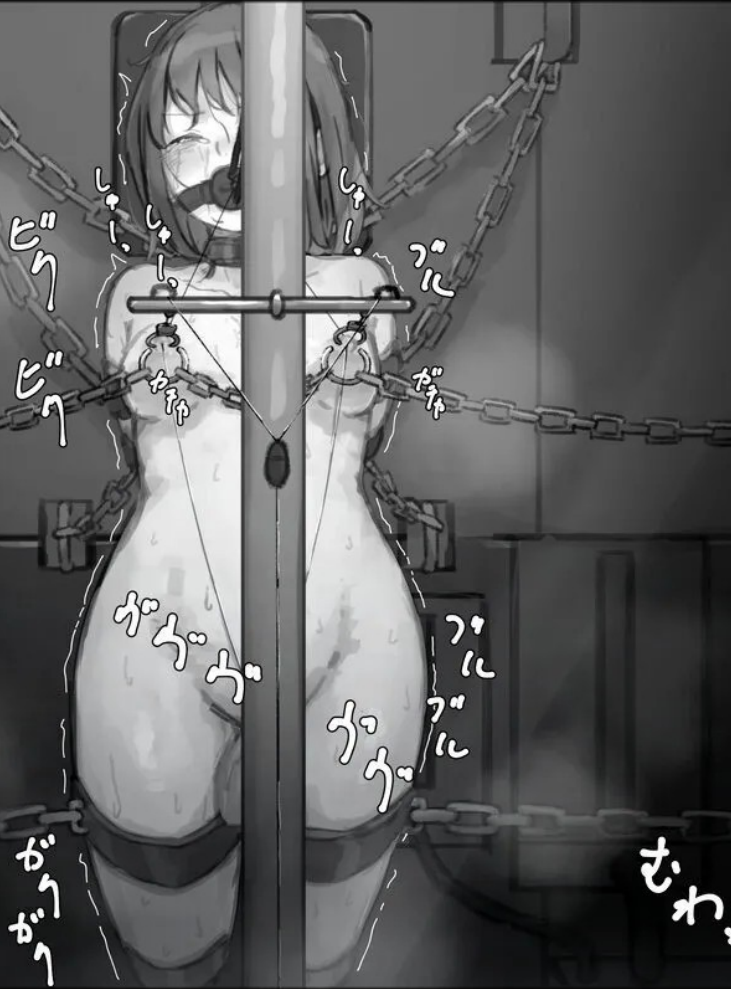
おちちだめだ
耐えろ!
またおっまの
くる...

もうイ...
イ...
グッ
グッ
がッ

数時間後

動かないよう必死で耐える。
でも絶頂すると動いてしまいいきながら
電流を流される。
何度もブラックアウトしかけたけどなん
とか耐えた…。

何回いったかわからないくらいイカされ
クリもおまんこも全身が早く休みたいと
言っている。
でも休ませてはくれない…。





8時間毎に訪れる餌と排泄の時間。
その30分前を知らせる予鈴が鳴る。
始まってしまった…。
疲労で重い身体に緊張が走る。

餌と排泄 その4

地獄のような餌と排泄時間にも唯一の救済があり、餌と排泄時間の30分前に予鈴のチャイムが鳴り、餌が開始する10分前までに(強制注入が開始される前までに)自ら注入を行い満タンで迎えることで、排泄時に発生する位置センサーの電撃懲罰のスイッチが排泄開始から1時間オフにすることができる。

注入は切断された肘もしくは膝に繋がる鎖を引っ張ることで、その間だけ注入が行われる。

電撃がなくなるため排泄時の苦痛が大きく軽減されるが、自らの意思で自らの操作で注入をしなければならず、基本的には1リットル入れた段階で耐えられないほど苦しい状態にはなっているので、そこからさらに自らの限界を突破して注入をし続ける強い意志が必要になる。

懲罰開始当初は、途中でやめてしまい苦しさに屈してしまうことも多かったが、2週間が経過すると排泄時の電撃の苦痛の方が上回るようになったのか、段々自ら満タンまで注入を行えるようになり、現在では毎日欠かさず自ら注入を行なっている。

注入量は手動モード、強制モードともに1秒間に10ml注入される。最短でアナル満タンは3分半程度、子宮満タンは2分程度、膀胱満タンは40秒となり、合計で6分ほどが注入にかかる時間となる。

だが全てを最短で行った場合の話で実際はお腹の苦しさに何度も注入をする手は止まってしまうため3倍程度の時間がかかり、かなりギリギリになることも多い。

また最短で入れてしまった場合でも餌と排泄が早まることはない、重いお腹と共に残り時間苦しい中待たなければならない。

1日目と2日目と3日目の最初の3回のみは、その前にメンテナンス時間が設けられているため、手動で注入することはできない。そのため1日に1回は排泄時の電撃の苦しみを必ず味わうことになる。

メンテナンス時間は意識が強制的に落とされているため、お腹の苦しさと共に目覚め、目覚めたてホヤホヤの新鮮な神経で朝一番の苦しみを味わい1日の始まりとなる。

睡眠や気絶で意識を失ってしまった際の最大懲罰では、お腹いっぱい限界まで注がれるが、長時間にわたる場合は対象公有物の身体的な物理的限界をAIが判断しながら注入量は調節される。また、電撃状態で呼吸困難に陥りそうな場合は子宮と腸に注入される液体を酸素液に変更し、そこから酸素を吸収させることで死なない程度で酸素不足にならないよう調節される。

引、張るとカブッと
音がなり注入される。

11.139

お腹がパンパンになる苦痛を思い出し躊躇する。
でも自分で入れないと電流状態で排泄しないといけない。
それだけは嫌だ…。



浣腸液の注入は自らの意思で行わなければ
いけない。

意を決してレバーを引く。



液体が少しづつ注入され、
お腹の中はゴロゴロと音がる。

11.199

体内に収まりきらなくなりお腹が少しづつ膨れる。ここからが苦しい。ワイヤーがお腹に食い込み始め引っ張られて乳首とクりに激痛が走る。

づんづん
づんづん

がぐる

きゅる

づんづん

びりびり

一回注入を止めて息を整え、お腹にも広がってくれと念じる。そうすると少しだけ楽になる。

少しだけ苦しさが紛れたところで、さらに注入を始める。

ぐるぐる

びりびり
びりびり

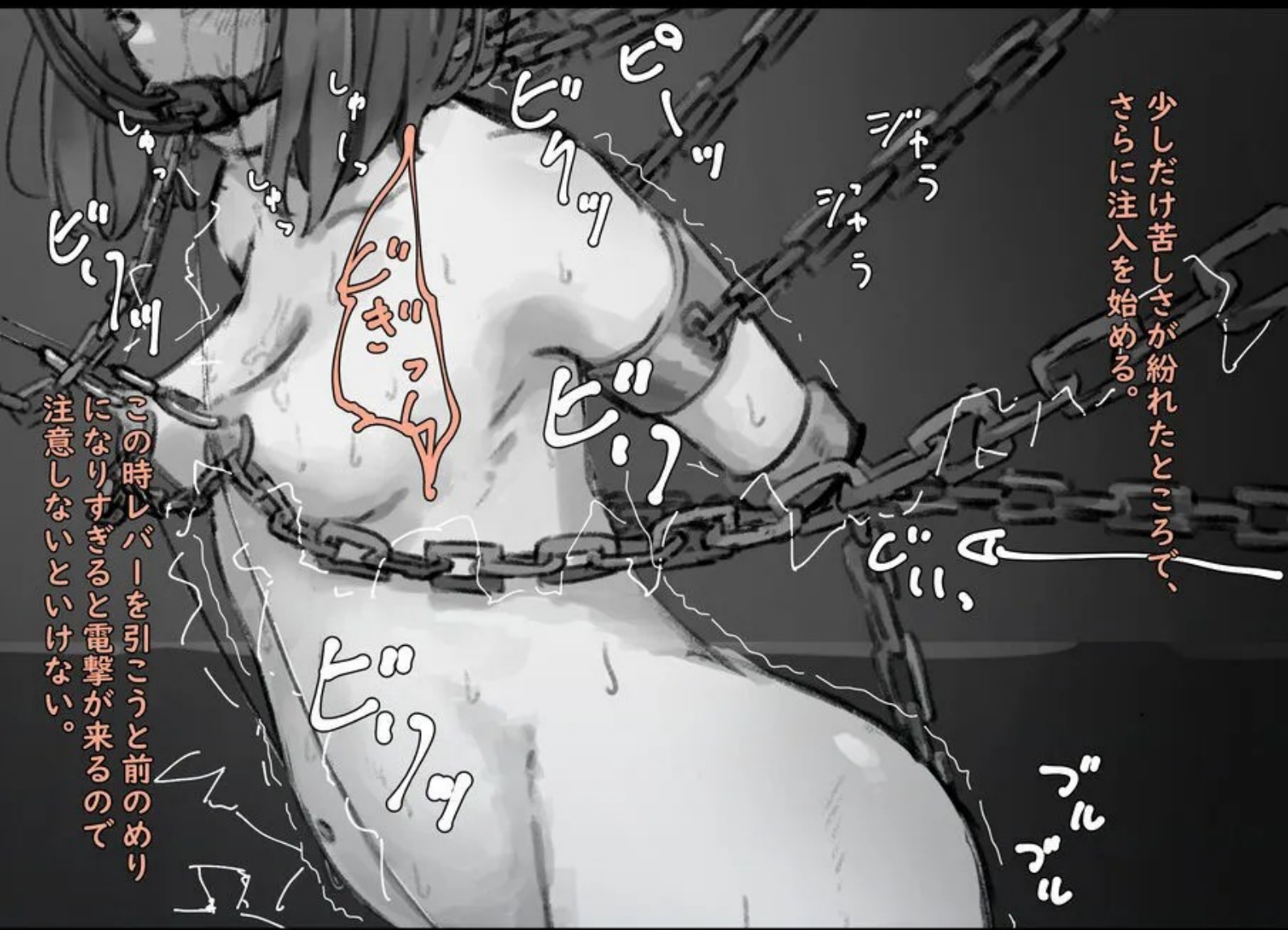
びりびり

びりびり

びりびり

びりびり

この時レバーを引こうと前のめりになりすぎると電撃が来るので注意しないといけない。



大腸と膀胱への注入が終わると
子宮への注入が始まる。

今の時点でもう耐えられないくらい苦しい。
お腹も普通ならありえない膨らみになっている。
なのにまだ許してもらえない。



ここから先は桁違いに苦しくなる。
それがわかっていてから注入する手も恐
怖に思わず止まってしまう。

引かなきゃ...

子どもを産んだこともない16歳の少女の子宮口は硬く閉じているが、無理やりこじ開けられ、現在は2センチまで拡張され閉じないように器具がはめられ、常に鈍痛と開発されたことによる微かな快感が続いている。

拡がることを知らなかった子宮も何度も媚薬を注入されたことで少しづつ拡がるようになったが、限界が更新されているだけで子宮に注入されるということに慣れるということとはなく、苦しさから逃れられることはない。



大腸にも2リットルが入り、身体の中で拡がるスペースがない状態で注入される子宮への媚薬注入は何度も気絶するくらいの苦しさとなっている。

お腹が裂けそうになる痛みと恐怖、そしてお腹が妊婦のよう急速に大きくなっていく、自分の身体じゃないみたい

な怖さ。明らかに人体に入れていい量じゃない量を注入される。

がりがん

ういん ういん ういん

ポ

やっただい...
注入完了のチャイムが鳴り
一仕事を終えたような疲労感に
襲われるが、まだ餌も排泄も始ま
っていない。

苦しい...
そしてこのまま10分、餌が始まる
まで待機しないとイケない。



なんで自分で注入したんだ。
電流我慢すればこの時間はなく
て済んだのに、と苦しきあまり
電流の苦痛を忘れて目の前の苦
痛に後悔する。

機械は動き続けこんな状態でも
イかせようと責め立ててくる。

こんな状態なのに
おなかぱんぱんにして
イぎゅつ。

イくとお腹に響くからイきたく
ないのに、でもイッている間だけ
は苦しさを紛らわせられる。
苦しい、苦しい、助けて...



喉におさまるディルドに急いで奉仕を始め、3回の擬似射精による餌出しを行っていく。



餌の開始を告げるチャイムが鳴る。やっただ…。急がなきゃ。



1日3回行われる餌と排泄の時間。お腹にぎちぎちに詰め込まれ、吐きそうな中で餌が注がれる。何度やっても慣れることのない苦しい時間。

これを毎日行わないといけない。

餌出しが終わった後はまた15分間の待機時間。このお腹で耐えなければいけない。全身を耳にして排泄ロック解除の音を待つ。



死にそんな思いをして
なんとか15分を耐える。

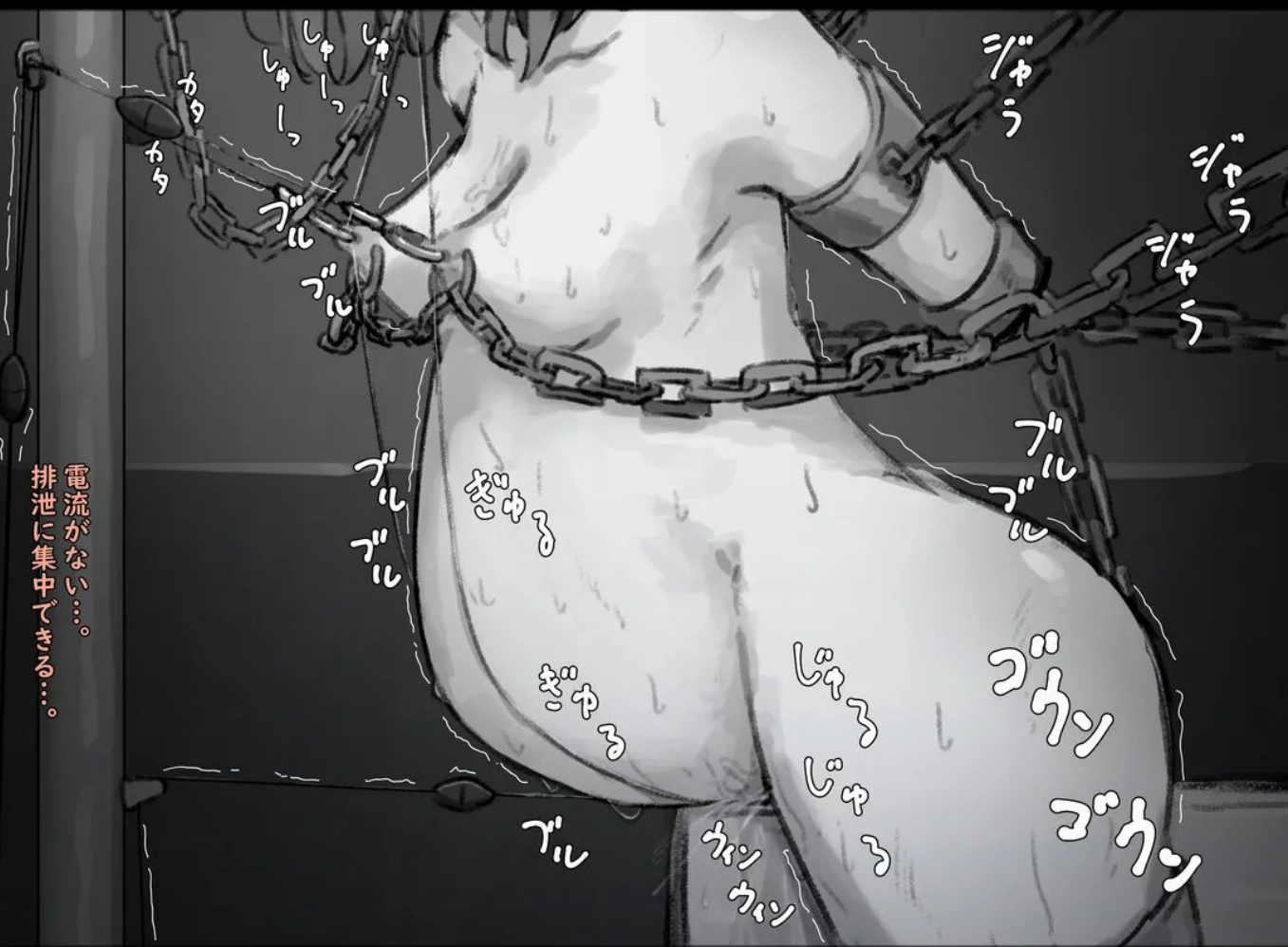
やっと出せる…。
待ちに待った排泄の時間。

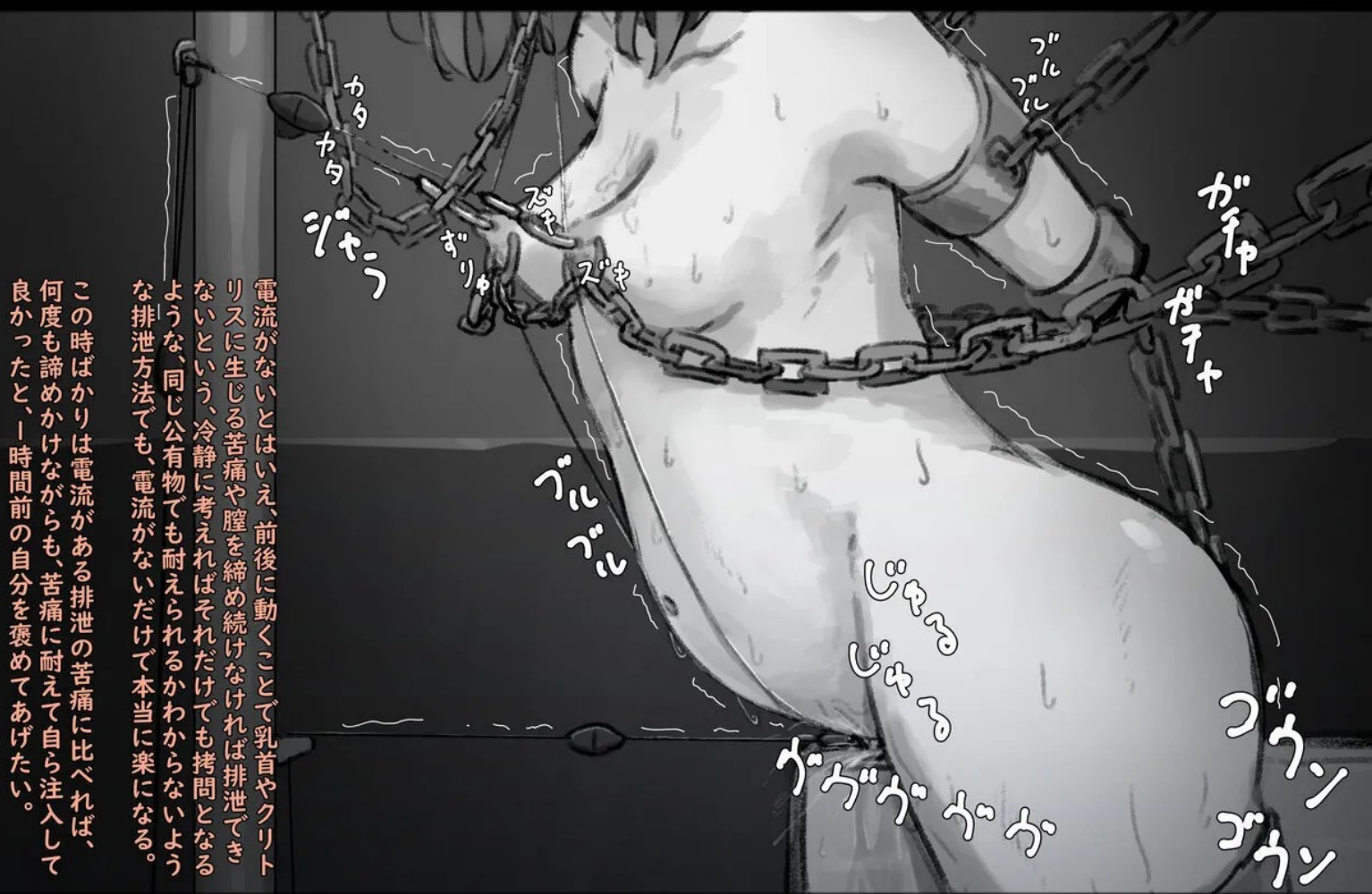


15分後。
排泄ロックが解除されようやく排泄可能となる。
排泄の動作は変わらないが、注入を自ら行うことで、
位置センサーがずれることによる電流は1時間だけ
解除されている。

つまり、排泄時に電流が流れない。
この苦痛を回避するためだけに、少女は健気に並の精
神力では無理なお腹への注入作業を自らの手で行う。

電流がない…。
排泄に集中できない…。
電流のない排泄時間を噛み締める。





電流がないとはいえ、前後に動くことで乳首やクリトリスに生じる苦痛や腫を締め続けなければ排泄できないという、冷静に考えればそれだけでも拷問となるような、同じ公有物でも耐えられるかわからないような排泄方法でも、電流がないだけで本当に楽になる。

この時ばかりは電流がある排泄の苦痛に比べれば、何度も諦めかけながらも、苦痛に耐えて自ら注入して良かったと、一時間前の自分を褒めてあげたい。

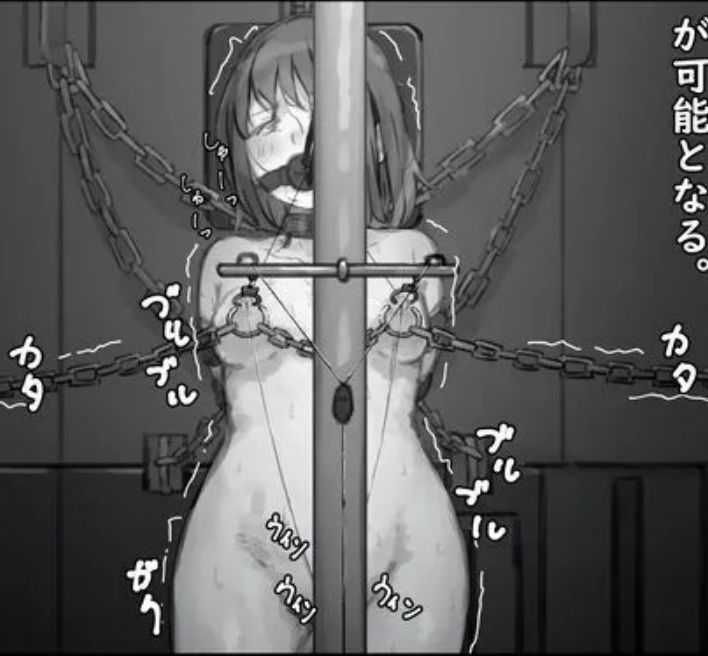
開始当初はお腹が膨れていく恐怖感に最後まで自分で注入することができずに、半端に注入してしまい苦しい時間が増え、しかも排泄時の電流は解除されないで、排泄時にも苦しむという二重苦を何度も経験し、必死で注入を行うようになった。

電流がないとはいえ排泄作業が大変なことに変わりはなく、身体を前後させながら、排泄しながら絶頂しつつも排泄を終える。

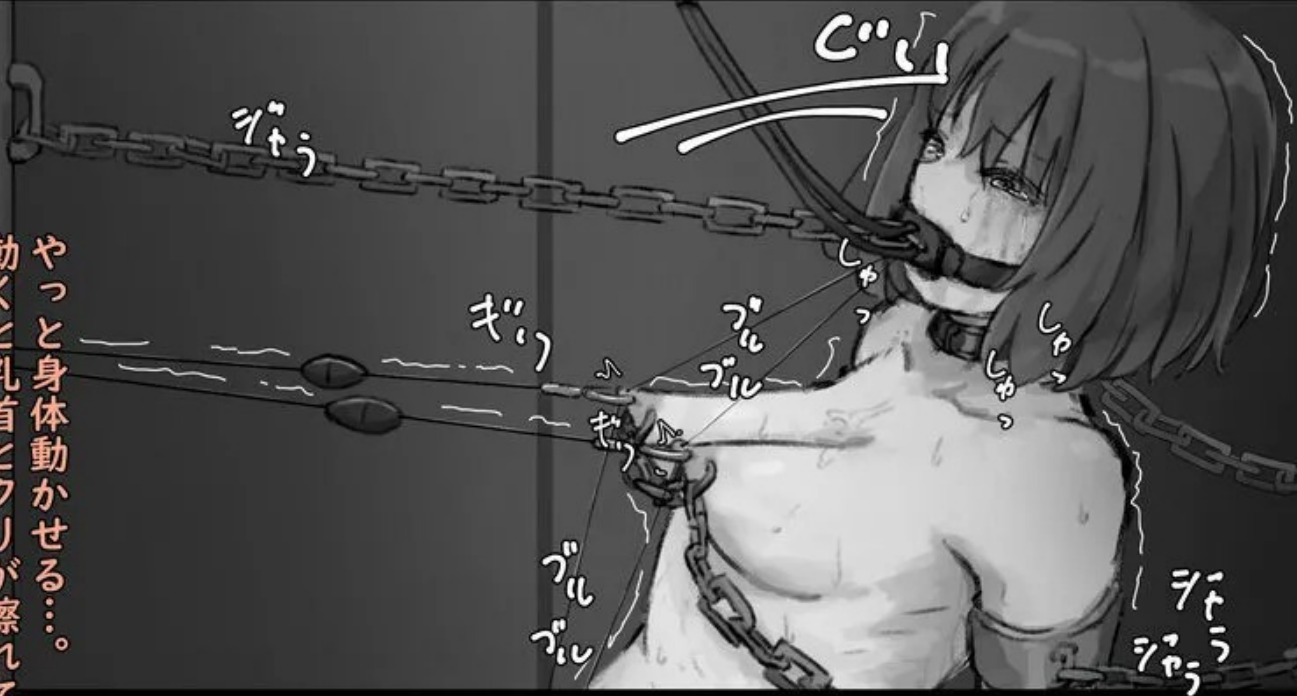


位置センサーの電流は1時間は解除されているため、排泄を1時間以内には終わらせれば残っている時間は動いても電流が流れない貴重な時間となり、少女はこの時間で、出来る範囲で身体を動かすことが可能となる。

足や手は拘束されているため大きく動くことはできないが、同じ姿勢を維持させられている少女にとっては少しだけでも動いている時間はありがたい時間となる。



やっと身体動かせる…。動く乳首とクリが擦れて痛い。でも今動かしとかなないと身体が固まってこれからの拷問に耐えられない…。今のうちに動かしておかないと…。



数時間後。

拷問は絶頂モードから寸止めモードへと変わり、絶頂することはできないが絶頂一歩手前の寸止め状態を維持され焦らされていた。

散々絶頂した後なので初めは体力回復ができてありがたいと考えるが、時間が経つごとにどうやっても絶頂できない寸止めの苦しみを味わい、数時間前まではもう絶頂したくないと思っていたにもかかわらず、寸止めモードで焦らされると今すぐにも絶頂したいと思うようになる。



絶頂しそうになると機械からの刺激が弱まり絶頂一歩手前を維持するようになっていく。

身体を動かして自分で絶頂させようとしても、ワイヤーによる痛みや、動いたことで流れる電流などにより絶頂までいくことができないようになっている。

万が一絶頂しそうになった場合でも、絶頂に至る信号を電気刺激で脳内で直接減退させ絶頂を防ぐ装置もある。

弱火で数時間あぶられた身体は無意識でも快楽を求めて身体が動き出す。

時間の感覚もわからなくなり、余計なことは考えずただ絶頂したいという感情に支配されるようになる。



ビュッ

ががが

キュッ

ビュッ

寸止め辛い…
イきたい。
眠い……イきたい。
イければちよつとは目が覚めるのに。
今が何時かもわからず、あとどれくらい
耐えればいいのかもわからない。



寝ちやダメだ…
寝ちやダメだ……。

ああ、あとちよつとでイける…。

どうせいけないとわかっていても期待
してしまう。

だげどやっぱリイかせてくれない。

この合間の時間を利用して、膣圧でのコミュニケーションの練習が行われる時もある。
絶頂モード時はすぐに絶頂してしまい練習にならないので、谷間の時間で行われ、
眠くてイきたい状況でさらに頭も使わなければならない。

「あー聞こえるな。返事。」

……。

はい

ピコンとタブレットにAIを相手にチャットしているかのように出力される。

「今日も会話の練習だ。」

膣圧を用いてのコミュニケーションはモルルス信号をベースに単語の信号を、締め付けを用いて表現することで実現可能となる。

はい
いいえ

もう一度お願いします

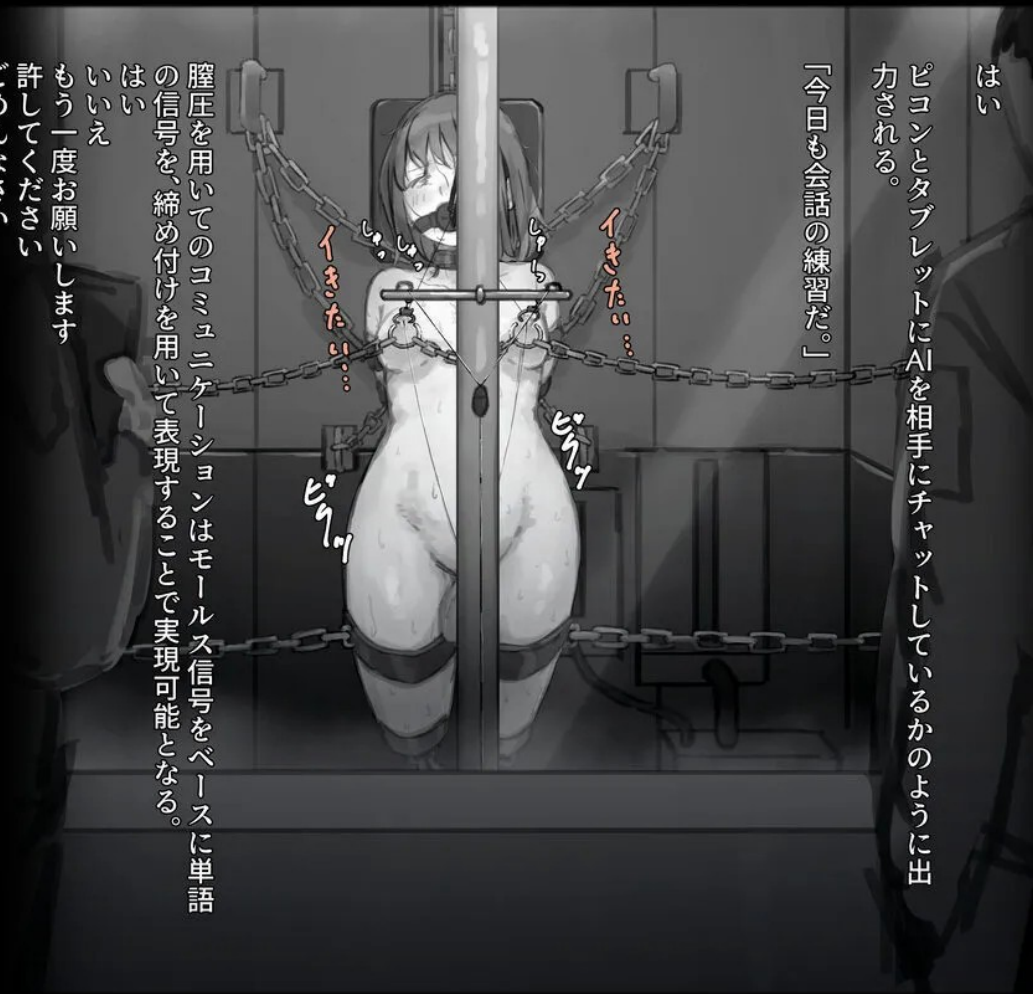
許してください

ごめんなさい

ありがとうございます

SOS、緊急事態

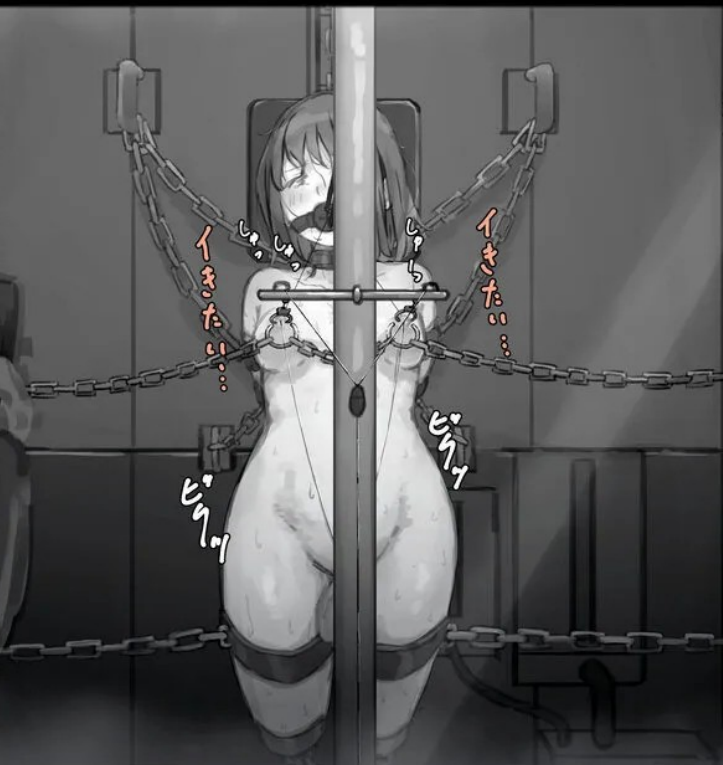
現在はこの7つを覚えさせ、デイルドの締め付けを行うことで意思疎通を行っている。



懲罰をしながら覚えさせるのは難易度は上がるものの、覚えられない日数だけ膀胱バルーンや子宮のバルーンを膨らませて苦痛を追加すると死に物狂いで覚えるようになったが、頭と身体を使うので疲労感は凄まじく、終わった後は油断して眠ってしまうこともあり電流地獄になることもあった。

現在は絶頂に耐えながらもなんとか意思疎通できるようになったものの、3〜5単語程度で限界が来てしまい、連続絶頂状態になるか、力が入らなくなり会話できなくなる。

そのため定期的に訪れる尋問官が取り調べや反省度合いの確認を行うが、そんな事情は知らないの、矢継ぎ早に質問しすぐに限界が来て答えられなくなり、それを反省が足りないと判断されて懲罰が延長されることもある。



寸止めモードの時に尋問官が来れば、かろうじて答えられる可能性もあるが、なぜか連続絶頂モードの時にほとんど訪れており、実質的にまともな答えることはほぼ不可能となっている。

それでも絶頂に耐えながら何個か答えることができてるのは、それだけ並の人間なら無理な必死の努力の成果でもあり、死に物狂いで覚えて服従の証を少女なりに示しているが、残念ながらそれが伝わることはない。

「まずは基礎7項目を順番に入力しろ。」

はい…いいえ…もう一度お願いします…

モニターには少し時間はかかるものの順番に単語が表示されていく。

2分ほどかかり最後にSOSが表示される。

「遅いな、そんなんじゃ合格もらえないぞ。最初からもう一度入力しろ。」



少女は必死に脛を締め、入力を行う。

もっとも大事で隠しておきたいところを貫き続ける棒を締めつけることでしか、会話ができない。

最低で屈辱的な表現方法しか少女にできる表現方法はなく、唯一許された表現方法でもある。

もう一度お願いしますの次なんだっけ…。
わかんない…思い出さなきゃ…頭が働かない…。

まともに寝ていない状況で全身を責められ、さらに極度の緊張状態でまともに答えるのは無理な話だが、ここではそんな一瞬の隙も見逃してもらえない。

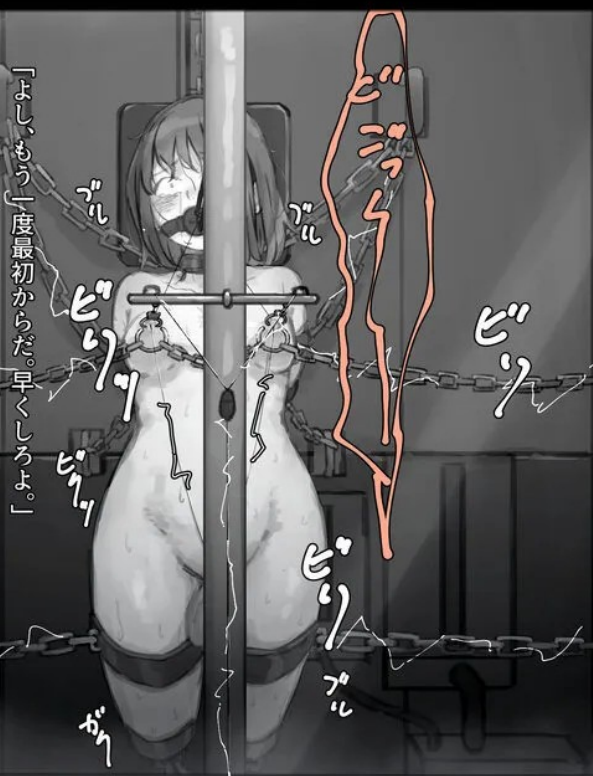
「遅いな…もうダメだ。罰として電流1分。」

「……!?!」

ビリビリ

「いぎゅっ ぐがっ」

弁明をする時間もないまま一方的に流される罰の電流。



「よし、もう一度最初からだ。早くしろよ。」

疲労でピクピクと震え力が入らなくなり始める膣内と全身に鞭打ってなんとか動かす。

その後も復習トレーニングを中心に電流を浴びながらのコミュニケーションも試されつつ、少しでもできないところがあるとすぐに電流が流され地獄のような調教が行われる。
電流が流されないよう必死にメニューをこなしていく。

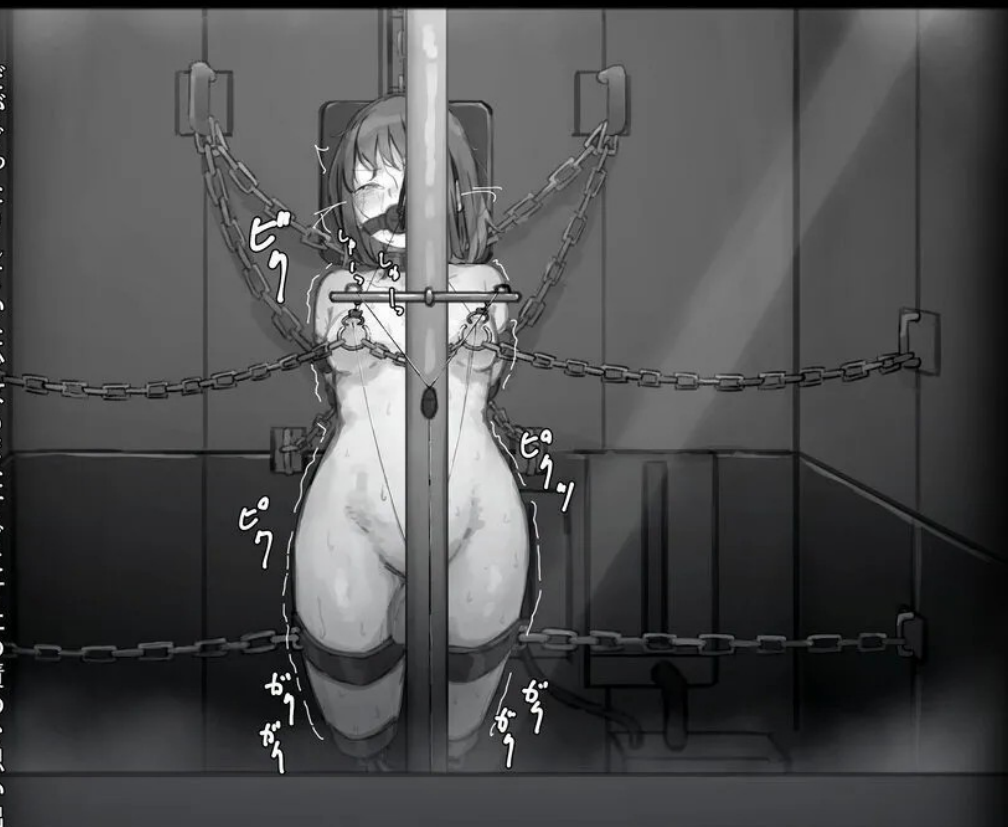
もういや…こんな表現方法も嫌…。

そう思っても気管まで管を入れられ声を出すことはできない。

叫び声や否定も肯定も意思を伝えることができないため、やらないという選択肢はなく、日々難易度が上がっていくトレーニングにもついていかなければならない。

「よし今日はここまで。明日もやるからな。」

時間にして30分も経ってない時間であったが、少女は全身汗だくでぐったりとして、まるでキツイトレーニングを何時間もした後のように、体力を使い果たしていた。



だがぐったりしていた少女もまたすぐに寸止め責めを思い出し、お預けされた快楽を求めて体力を振り絞り絶頂を模索するが絶頂できず、やがて快楽よりも睡魔が上回るようになる。

本来なら全身を使った後ならぐっすりと眠れそうだが、ここでは一番避けたい事態であった。

ようやく懲罰の中での調教が終わり、
また寸止め拷問に戻される。
再び眠気が襲う。
必死に集中していた分、さらに強い眠
気となる。
少し気を抜けばいつでも寝てしまいそ
うな中、なんとか意識を保つ。

しゃー
しゃー
ぶる
ぶる
わわ
わわ

眠い……
ねむい……ねむい……

しゃー
しゃー
ぶる
ぶる
びんびん

少しだけなら……。

一秒だけ……。

しゃー
しゃー
ぶる
ぶる
ずー




ダメだ…寝ちゃだめ…。
目を閉じたらだめだ。
ここで負けたらこれまでが
無駄になる。
電流はやだ。
こうなったらもう…。

ウトウトと覚醒を繰り返し限界である
ことを物語っているが、まだ休息时间
までは一日以上残っている。
意を決したように少女は顔を振り始め
る。

口枷には乳首とクリトリスを貫通する
ワイヤーが接続されており、顔を振る
ことでワイヤーが動き乳首とクリトリ
スに激痛が走る仕掛けとなっている。
少女は眠気を覚ますため、あえて動い
て痛みで意識を保とうとするようにな
る。

それでも足りない場合は最後の手段で
位置センサーをずらすなどわざと暴れ
るように動いて電流を流す。
寝ないように懲罰生活の中で少女が編
み出し身につけた目を覚ます技術であ
る。
そうして寝ないように健気な努力を続
ける。

寝ちゃダメだ。
寝ちゃダメだ。
寝たら死ぬ。
身体に刻まれた電流地獄の恐怖が蘇る。
一生のように感じるずっと終わらない電流
拷問に比べれば少し電流を受けるくらい大
したことないと言いかせる。



数時間後

ピンポーン

浣腸前を知らせるチャイムが鳴る。

8時間寸止めされ続け疲労困ぱいの状態でこの日最後の餌と排泄の時間が始まる。

「どうだ？」

「今日3回目の浣腸ですね。眠くて限界という感じですが、身体を動かして自分で痛みを与えてなんとか耐えているみたいです。」

「懲罰してる奴は教えてもないのに皆おんなじようなことしただよなあ。」

隣の奴はさっきまでそれで凌いでいたが、とうとう限界が来て気絶して今は電流拷問中よ。2日耐えたところだったからあと24時間は電氣流しっぱだな。後で焼けたりしてないかチェックしといてくれ。」

「さっきチェックしたときは頑張ってたんですが…了解です。こっちの残りは34時間ですが…いけますかね？」

「さあな。前回はなんとか耐えきってるから今回もいけるんじゃないかねか？最近は何回も回数も増えてきてる。なんだ、かわいそうになっってきたか？」

「いや、まあ…。電流で数十時間苦しんでいるのを見続けるのもあまり気持ちがいいものじゃないんで…」

「人の気持ちを持つのも大事だが、ここではこれが日常だから早めに慣れろよ。種山さんなんか嬉々としてやってるし、一緒になるときは覚悟しておいた方がいいぞ。」

● REC

目視と監視カメラで両方でチェックを行う。
配属当初は鬼気迫る顔で自ら注入し続ける光景に戸惑った
が今ではこの光景にも慣れてきていた。

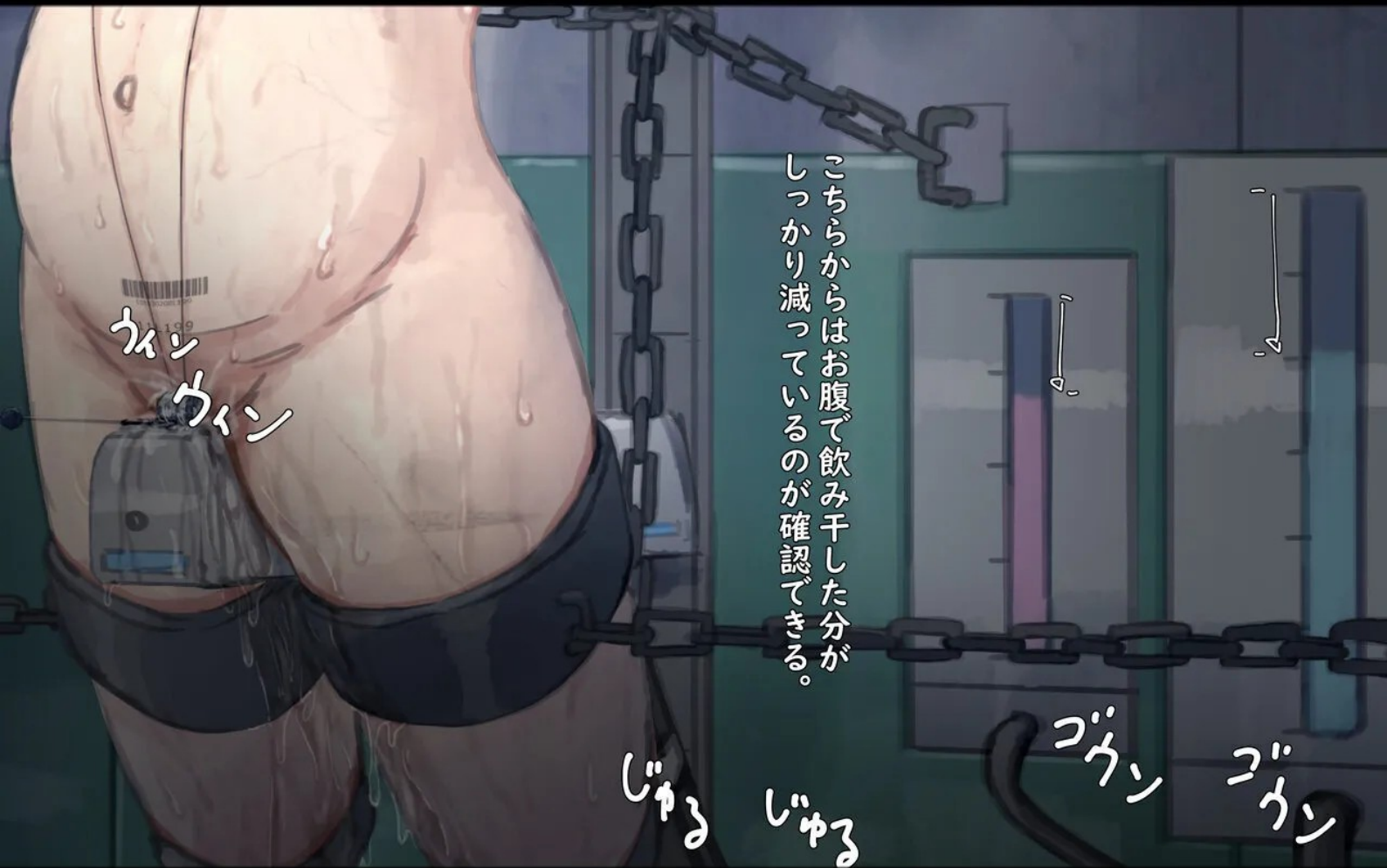
目の前では必死に注入し、腹をパンパンにした少女がいる。
この歳なら学校に行つて部活をしているかもしれない普通
の少女。
それが手足を切り落とされ、裸で拘束されて拷問され続け
ている。

あんな量を入れて破裂しないかと心配になるが人体とは不
思議なもので身体の方は懲罰仕様に適応しつつある。

3...2...1...1...2...3

111199





こちらからはお腹で飲み干した分が
しっかり減っているのが確認できる。

ウイン
ウイン

じゅる
じゅる

ゴウん
ゴウん

手順通り排せできているかを他の懲罰公有物の
チェックもしながら合間合間で確認する。
この公有物はあと30分はかかるだろう。



餌と排泄が終わり現在の拷問メニューはランダムモードへと切り替わり、機械は強くなったり弱くなったりランダムで動くようになる。

メンテナンスまでの残り6時間はこのモードで運転される。手元のタブレットの数値を見ると早速絶頂へと上り詰めていた。
8時間の寸止めは毎回慣れないのか、モードが変わるとすぐに絶頂へと至る。

機械はランダムなので、イけるほどの刺激がすぐに来ない時もあるのでその場合はまた焦らされることになる。

「定期チェックだ。聞こえていたら返事しろ。」

…
ピコン

「定期チェックはOKと…」

拷問時間は45時間を超えあと少しで3日目の拷問に入る。すでに意識は朦朧としているが、定期的な問いかけにも反応を示しているの、こんな拷問の中でも意識はしっかりと維持している。

先ほどの苦しそうな顔から今度は待ちに待った絶頂を噛み締めるような顔をしている。
一ヶ月以上も拷問され続け、楽しみを少しでも見つけないと精神を保てないのだろう。

こうした些細な喜びを拷問中にも見出している。

表情が変わっていく様子を見てみると、元のこの子はもっと表情がコロコロと変わる元気な子だったんだろう。

とても懲罰が行われるような罪を犯した公有物には見えない。それはこの公有物だけではない。

職員は懲罰公有物への感情移入を避けるため、公有物の情報は最低限しか知らされていない。
相手が誰であろうとも懲罰の手が緩むことはあってはならない。

以前懲罰中の公有物を逃そうとした職員がいたらしく、方法は不明だが外に出るところまでは成功したものの、その後出頭したらしい。

正規の方法で外さない限り拷問台以外では生きることはできないらしく、それに気づき逃げるのを断念したんだそうだ。

職員は終身刑となり懲罰公有物は永久拘束刑が言い渡されたらしい。

本人が逃げることを望んでいなくても厳しい処分となる。

かわいそうだが公有物のためを思うなら逃がそうなんて思っ
てはいけない。

それ以来閲覧できる情報は制限され、逃がした公有物にも厳罰が下ることから、脱走させるような事件は起きていない。



今が何時かもわからず、
終わりのない日々。

いつまでなの…。

…。

……。

夢と現実がごっちゃになり、
意識はあるのに夢を見ているような、
幻覚のようなものが見え始める。

一瞬甘い匂いがして、目の前が暗くなる。

昔(といっても半年前くらいだけ)の日常の夢を
見ながら、身体を洗われているような
奇妙な感覚を覚える。

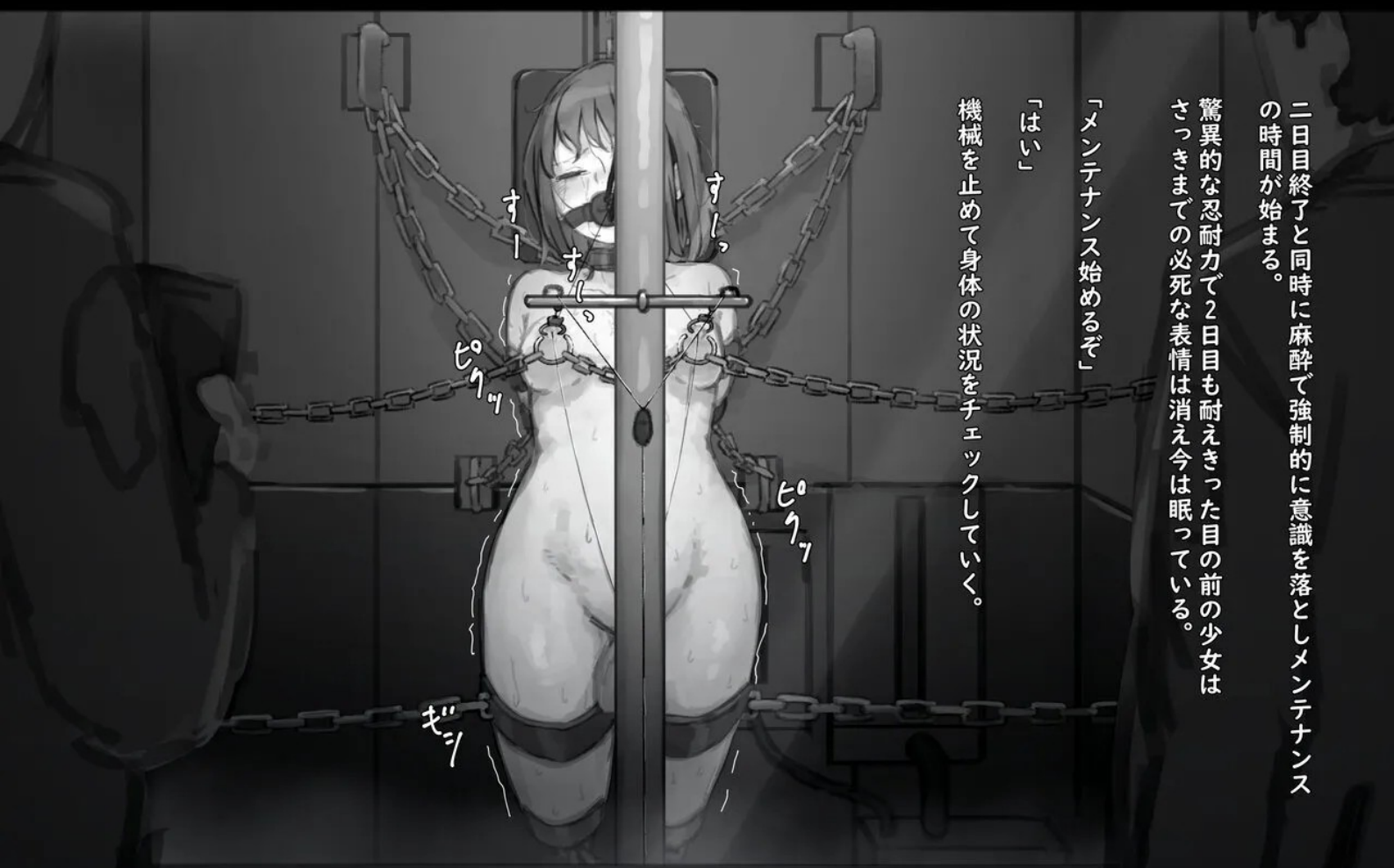
二日目終了と同時に麻酔で強制的に意識を落としメンテナンスの時間が始まる。

驚異的な忍耐力で2日目も耐えきった目の前の少女はさっきまでの必死な表情は消え今は眠っている。

「メンテナンス始めるぞ」

「はい」

機械を止めて身体の状況をチェックしていく。



室内はむわっとした湿気と、一日中責め続けられ汗や涙や愛液などさまざまな汁が散らばり、媚薬入りローションが混ざり合い独特なおいを醸し出している。

日によってにおいは変わり、体調の良し悪しも判断できると言われている。



公有物によっても発するにおいには違いがあり、さっきのメンテナンスでは甘ったるにおいだった。この子は酸っぱさが含まれた香りがする。

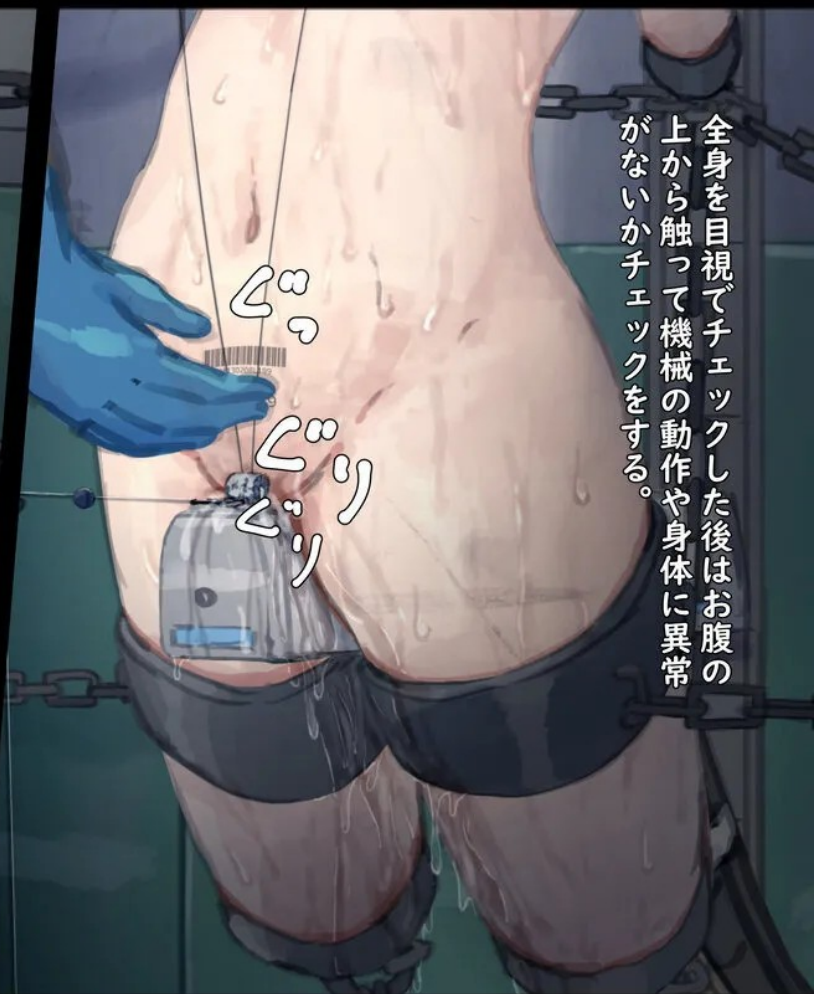
床に散らばる汁で滑らないよう注意しながら、メンテナンス用に麻酔で意識を落とされた懲罰公有物に近づく。



ポタ
ポタ

重しなどの責め具も緩みがないか
チェックする。

問題なしと
それにしても
ベタベタだな…



びびり
びびり

全身を目視でチェックした後はお腹の上から触って機械の動作や身体に異常がないかチェックをする。

チェックが終わった後は、身体のいたるところについている拘束具や鎖、重しなどを外し、乳首やクリに繋がられたワイヤー類などを台座から外してようやく台座から降りることができる状態となる。

最後に身体を持ち上げ台座に固定されている膣パイプを引き抜き、簡易ベットに寝かせて尿道プラグとアナルデイルドを引き抜くとようやく生まれたままの姿となる。

この状態で全身のチェックを行い、特に性器や乳首に大きな異常がないかチェックを行う。

問題がなければもう一度全身のチェックをしながら洗浄作業を行い、不眠で拷問され続け色々な体液でベットベットになった身体を綺麗にしていく。

それが終わると医者によるチェックが行われ、メディカルトレーナーによるリハビリやマッサージなども行われ、万全なコンディションを保てるようメンテナンスが行われる。

最後に睡眠カプセルに入れられ最低30分はここで休息が行われる。

睡眠カプセルは睡眠の効果を増幅させる機械で、詳しい技術は非公開とされているが、酸素カプセルのような形の機械の中で眠るだけで、個人差はあるものの8〜10倍の睡眠の効果が得られるとされており、30分寝かせれば4時間〜5時間の睡眠と同等の効果が得られるため、しっかりと睡眠をとることができない懲罰公有物の睡眠不足を改善するために導入されている。

同時に懲罰室内の清掃も行い、一日中責め続ける挿入具を刺激に慣れさせないよう別な物に交換し、さまざまな液体で汚れた重しの交換なども行う。



先ほどまでの拷問などなかったか
のように安らかに眠っている少女。
力を入れれば簡単に折れてしまい
そうな薄く小さな身体。
この小さな身体で過酷な拷問を
受け止め続けていた。

すー
すー





それにしても
デイルド重いな

交換も一苦労だ

こうしてみると
器具の大きさが
よくわかるな

金銀甲冑


これらを
この身体の中に
入れるんですよね…

さっきまでずっと
入れっぱなしに
なっていたものを
戻すだけだ
気にするな

たまに
サイズアップする
こともあるけどな

ドサッ

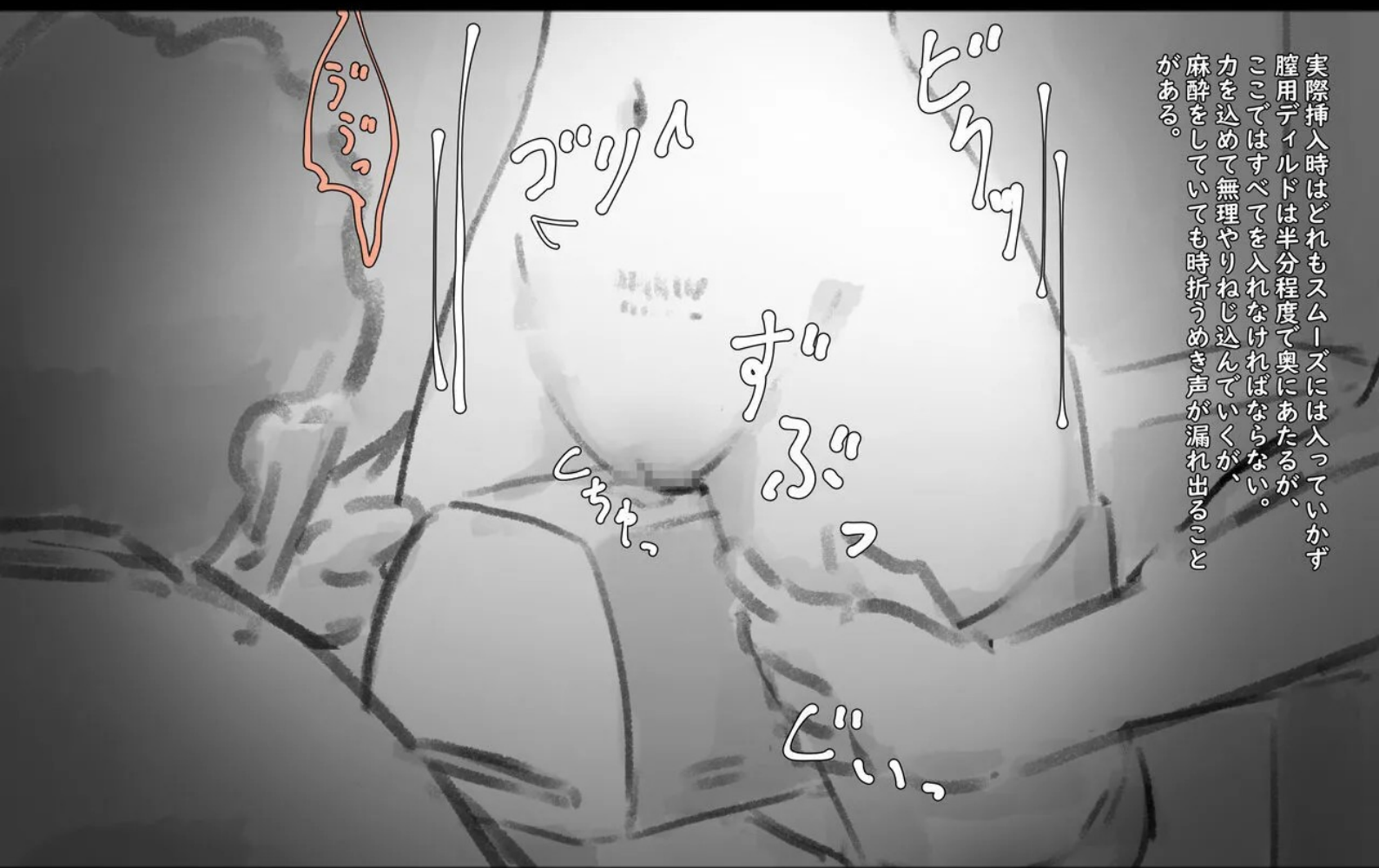
最後に外されていた器具
たちを身体の中に戻し
懲罰台の上にセットして
メンテナンスは完了となる。



小さな口を胃まで犯し続ける口枷。
外国のSMモノに出てるようなサイズの腫用ディルド。この身体のどこに収まるのかわからないくらい太く長いアナルディルド。

身体の内側をほとんど埋め尽くしてしまうのではないかと思うくらい大きい挿入具の数々。
普通の子なら絶対に入らないサイズをまだ幼さの残る少女の身体にねじ込んでいく。
公有物は全て飲み込めるように調教を受けているため切れたりすることはしない。
だが大きすぎることには変わりないので入れられるだけでも、とてもなく苦しいだろう。

実際挿入時はどれもスムーズには入っていないが、
腔用デイルドは半分程度で奥にあたるが、
ここではすべてを入れなければならぬ。
力を込めて無理やりねじ込んでいくが、
麻酔をしていても時折うめき声が漏れ出ること
がある。

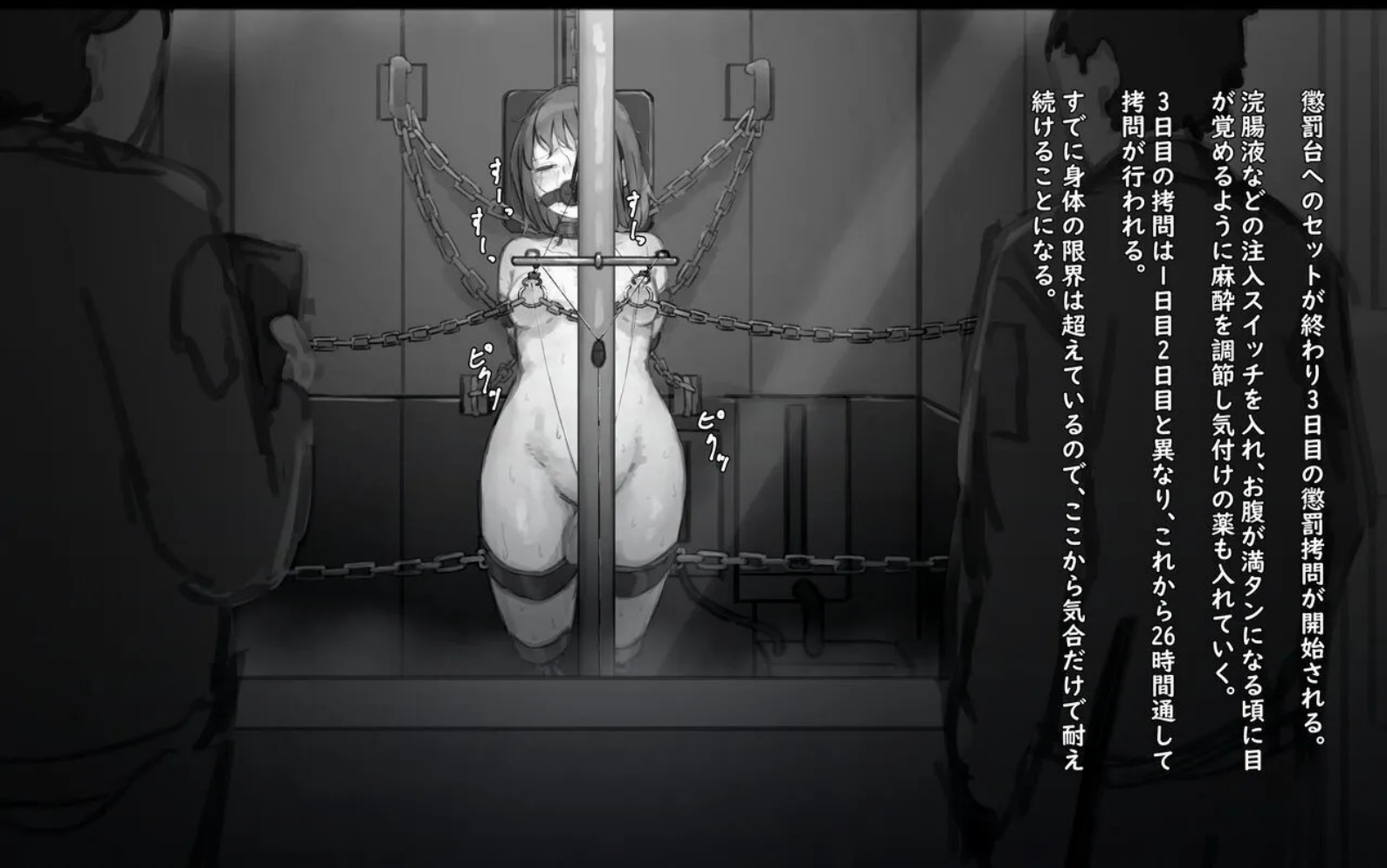


懲罰台へのセットが終わり3日目の懲罰拷問が開始される。

浣腸液などの注入スイッチを入れ、お腹が満タンになる頃に目が覚めるように麻酔を調節し気付けの薬も入れていく。

3日目の拷問は1日目2日目と異なり、これから26時間通して拷問が行われる。

すでに身体の限界は超えているので、ここから気合だけで耐え続けることになる。



子宮への注入
間もなく完了

意識覚醒させます

今日を耐えきれば
この子には休息時間が
待ってますね

この子は前回も気絶無しで
耐えているので
今回耐えきった場合は
初めて2連続耐えきり
になりますね

1か月前までは
すぐに気絶して
丸三日電流を
食らってたりもしたが
成長してきたな

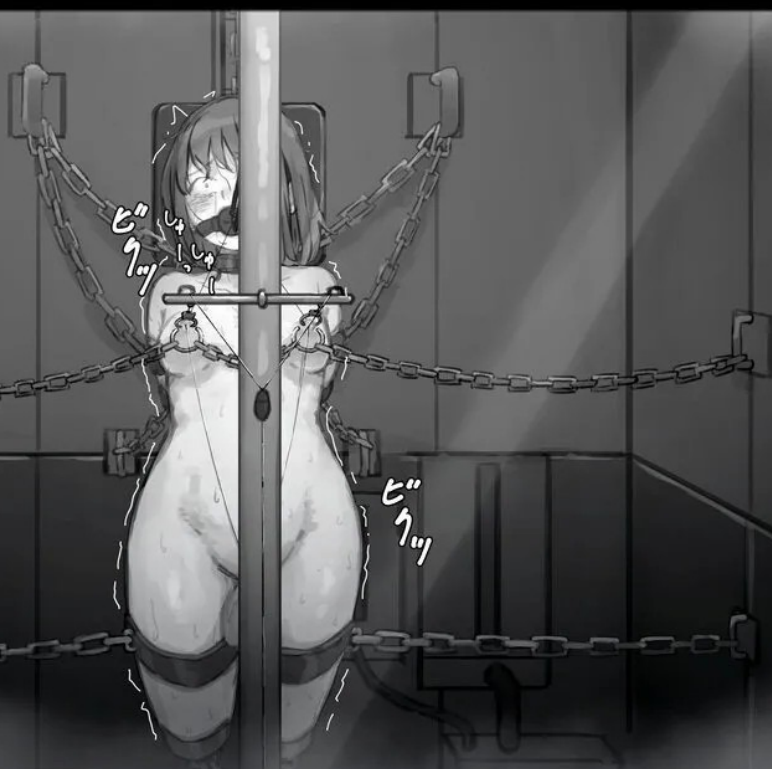


いつも慣れない。
気付けばお腹が膨らみ、一瞬でお腹
が重くて息がでないくらい辛い苦し
くなるこの感覚。
いつまで、何回このくるしいのを
我慢しないとけないの...?

懲罰拷問は3日目も排泄と餌から始まり、お腹の苦しみに耐え、
なんとか終わらせて意識を繋いでいた。

3日目に入ると絶頂中でも眠気が全身を支配し、瞼が重くなり、
意識が朦朧としてくる。

身体はすでに限界を超えており、いつ気絶してもおかしくない
ような状態の中で気力だけで意識を保っている。



ここぞという一瞬の集中力を、常に維持していなければなら
ない。
人は1時間以上は集中できないと言われていたが、残りの時間
は一瞬でも気を抜けば意識が無くなってしまったため、集中力を
切らすことができない。

いつ終わるかわからないので、常に全力疾走で終わりが見え
ない中走らされるような感覚となる。

ねむい...ねむい...

おまぐるやま

イゴッ

ビクッ

ブルブル

うがががうがうが
うい〜ん

おたま

ふわふわ

ビクッ

このままねたが

え持ちいいん

だろうな...

こんな状態でも身体は快楽を拾い
眠くても絶頂してしまう。
絶頂しすぎると夢と現実の境が
わからなくなつてそのまま
寝てしまうこともあるから
気を付けないといけない。



おあな、
おあな、
おあな、

おあな、
おあな、
おあな、

ビクッ
ビクッ
ビクッ

っふい
っふい
っふい

しゃっ
しゃっ
しゃっ

しゃっ
しゃっ
しゃっ



ねるな
ねるな
ねるな

おきろ
おきろ
おきろ

ブル
ブル
ブル

ブル
ブル
ブル

しゃっ
しゃっ
しゃっ

しゃっ
しゃっ
しゃっ



薄れゆく意識…
寝ちゃだめだ…。

すー
すー
すー

すー
すー
すー

すー
すー
すー







あめ…私いま

ねてた…し

ねてないよね…

がら
がら

ブル
ブル

ニニニわたい

今まで何のちよに…

がら
がら

一瞬意識が飛び、それが一瞬だったのか
長時間だったのかわからない。
寝ちゃった…ごめんなさい、ごめんなさい…。
電撃はやダ…。
判定未満の一瞬であってくれと祈る。
寝たと判定されると3秒程度でピーと音が鳴り
電撃がくる。
電撃が来るかもしれない判定までのたった数秒が
とても長く感じる。
この瞬間が一番嫌い。

111199



ニメムニメムニ
ニメムニメムニ

やだやだやだやだ
やだやだやだやだ

ブルブル

ウインウインウイン

ブルブル

ちゅ

わ

わ

わ

わ

わ

ブルブル

ブルブル

ニ

ニ

はあはあ…。

電気は来ない…？

たすかった…。



何も無かった…。

祈りが通じたのか今回は大丈夫だった。

全身から汗が吹き出し、全力疾走をしたかのような疲れにドツと襲われる。

息をするのを忘れるほどの緊張感乗り越え、なんとか生き延びたと安堵する。

感謝の気持ちでいっぱいになる。


でもまだ懲罰は続いている。

機械は休むことなく、私を休ませてくれない。

いや、休んだら電撃。

眠い顔を擦ろうとしてもその腕はない。

ああ腕なかったんだ…。



懲罰は、1日22時間の拷問の内、絶頂拷問8時間と寸止め拷問8時間、ランダム拷問6時間で行われる。

3日目の最後の26時間はランダム拷問が10時間となる。

セットの後半には器具のオーバーヒートを防ぐために刺激が弱まるクールタイムもランダムで入るが、一見刺激が弱まって楽になるかと思われるが、後半に入ると公有物は睡魔との戦いで一瞬でも目を瞑れば寝てしまいそうな中、己を奮い立たせて意識を保っている状況で、そんな中刺激が弱まるクールタイムは最も恐ろしい時間となる。

器具による強い刺激がある中でも、自ら身体をわざと動かして、乳首に通るワイヤーなどからの痛みで意識を保ったりする状況にもかかわらず、器具が弱まれば身体は勝手に休んでいいと判断してさらに強烈な睡魔に襲われ、気絶してしまったことが数回あるくらい震のような仕様となっている。

公有物は身体を動かすだけでなく、位置センサーをわざとずらすことで、自ら電撃を浴びに行き、電撃で意識を保つ方法や、注入機能を使って排泄の時間では無いものの、自らのお腹に苦しくなるまで注入を行い苦しみに意識を保つ方法を編み出すようになる。

ただ加減を気をつけないと苦しみに意識を失ってしまうこともあるため、ちょうどいい苦しみの塩梅を探さなければならない。

そうして健気に耐え続けても、待っているのは寝ても罰にならないだけの休息时间だけで、懲罰台に乗せられたまま機械は動き続け、普通であれば休むことなどできないような苦痛に絶えず襲われているため休息とは呼べないが、限界を超えて頑張ってきた懲罰公有物にとっては、電流がなく気絶することができるというだけでも待ち望む時間となる。

過酷な懲罰を受けた公有物は、あらゆる行動が苦痛を伴う罰となっていたため、普通に考えれば過酷な公有物としての生活も、懲罰が行われていないというだけでとてつもないご褒美となり、文字通りなんでも、積極的にむしろ喜んで行えるようになる。



ねむい
ねむい
くるいい
くるいい

ねむい
ねむい

がた
がた

しゅ
しゅ



ちよ
ちよ
なけなけ

ぶ
ぶ

しゅ
しゅ

まばたきのたびに
落ちそうになる。

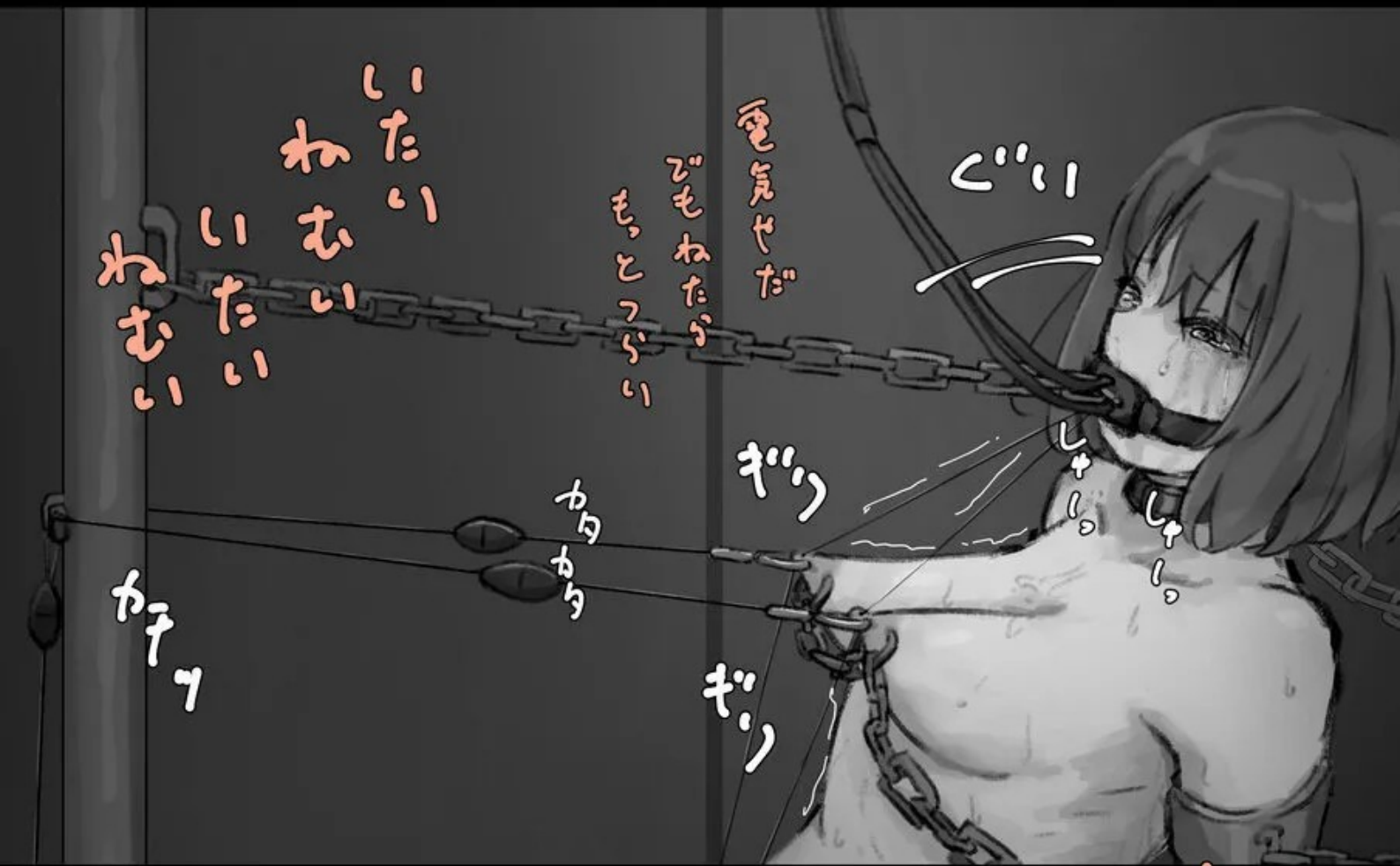


目を
目を
あけるんだ
あわ
あわ
目をとじたい

がた
がた
けき
けき

ム
ム
ヒ
ヒ

しゅ
しゅ





前回は耐えられたけど
今回はもう...
私がんばったよね...

あぁ...
もうむり

おちる

ちゅ

ちゅ

ちゅ

うん

がが

ブル

ブル

キーン

コーン

キーン

コーン

休憩時間に入ったことを知らせるチャイムが鳴る。
限界ギリギリを彷徨っていた少女が待ち望んだ休憩時間。
3日に一回許される寝ても電流が流れない時間が
ようやく開始された。



な...った...?..
チャイム...やった..
た...え...た...ん...だ...わ...た...し...
も...う...お...ち...こ...も...い...い...ん...だ...

今回も生き延びることができた。
もう寝てもいいんだよね？

意識は朦朧とし、重い瞼は早く閉じろと訴え、
ずっと同じ姿勢の身体は悲鳴を上げている。
本当に気合いと根性だけで意識を保ち
ここまでできた。
難しいことは後回しにして今はただただ目を
閉じて、この現実から離れたい。

かり
かり

ぶる
ぶる

う
う
う
う
う
う

うん
うん
うん

ぶ
ぶ
ぶ

が
が
が

だ、こねれる……

ねこも電流にない……

ぷる

すー

すー

すー

ぷる
ぷる

ごうもんうけながら

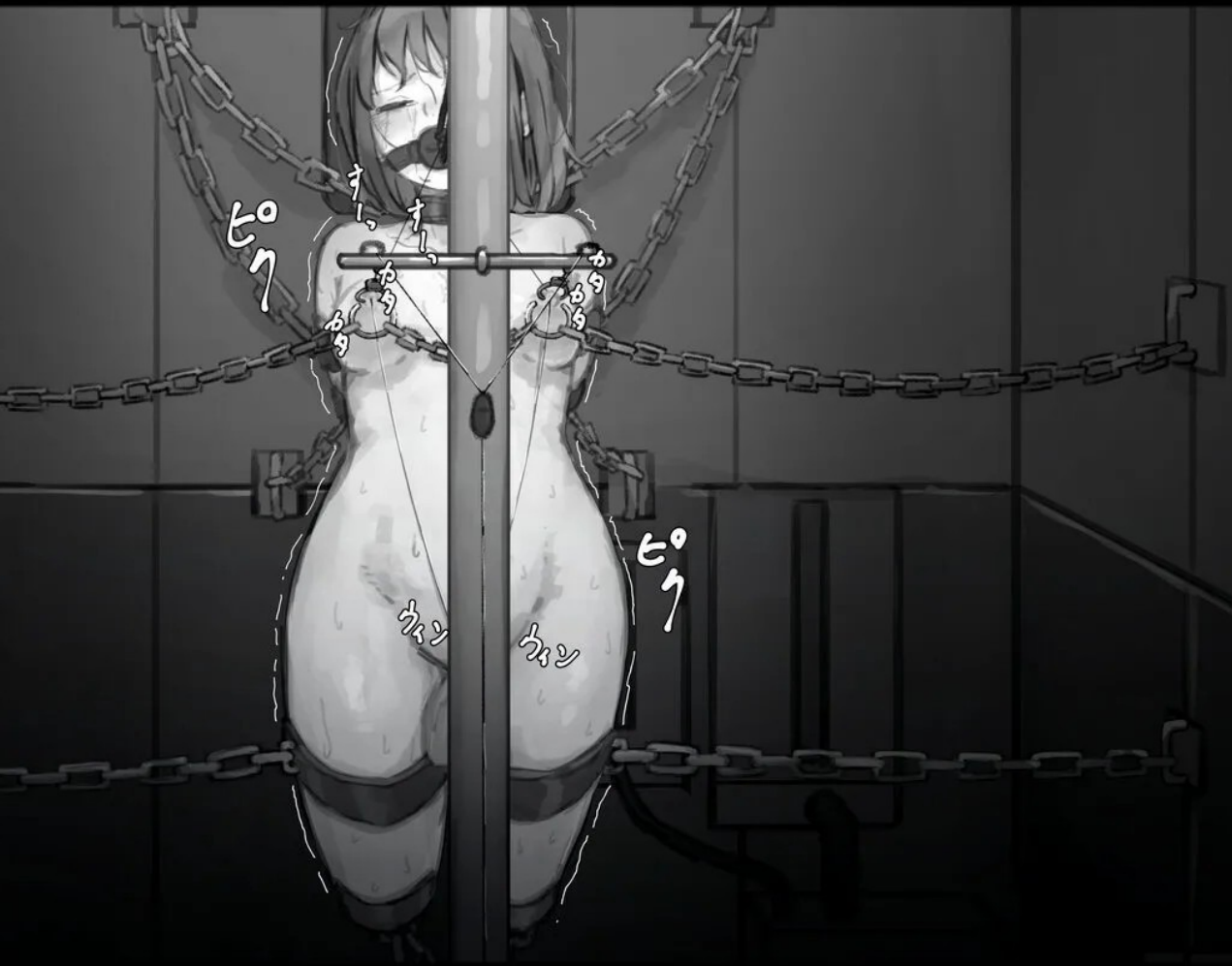
ごもねれこしよう

なんこほんと……

わたしのからだ
どうなっちゃらう

休息時間は意識を失っても電流が流れない、というだけの時間ではあるが、電流が無いというだけで神にも感謝したくなるくらいのがありがたさを少女は実感していた。

機械は動き続け壮絶な拷問は続けているが、まるで電池切れのスマホのように、シャットダウンしたPCのように、フツと意識が落ちる。





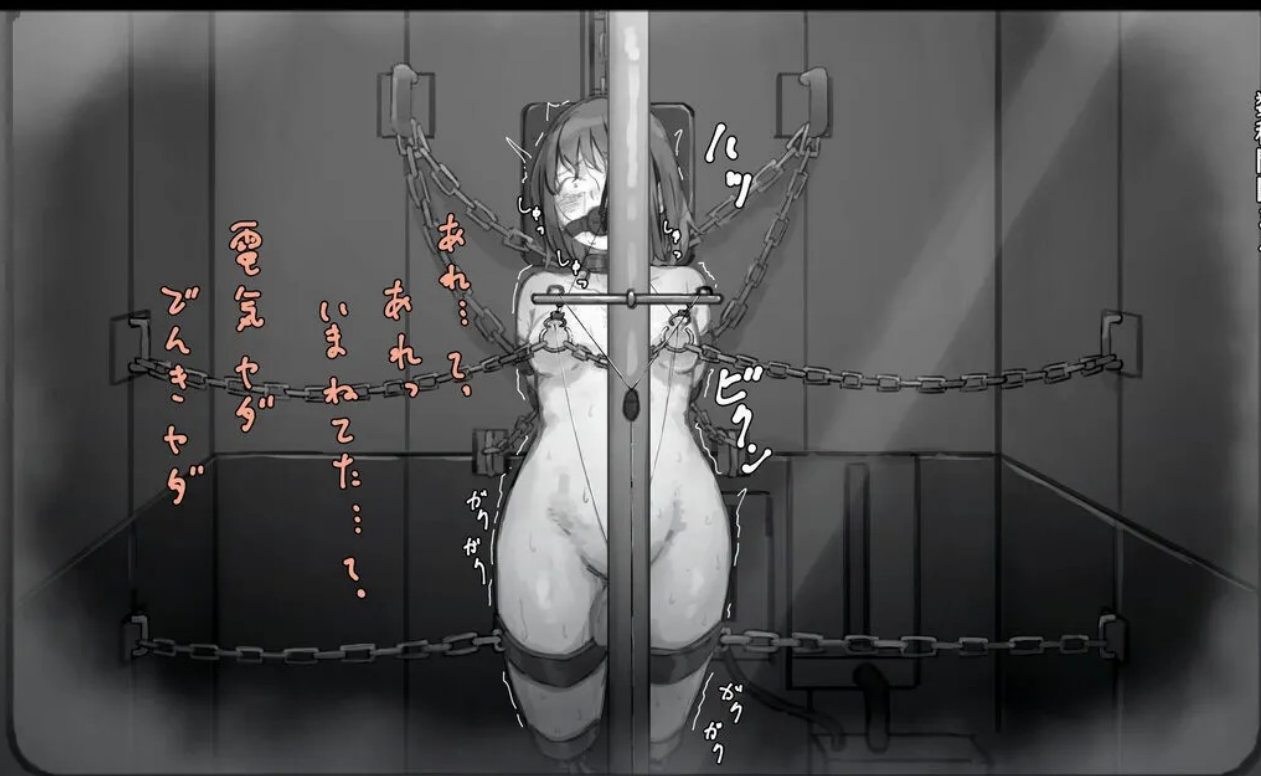
気絶に近い睡眠に入り身体は先ほどの緊張状態から脱力しているが、そんな間も機械は動き続け少女の小さい身体を徹底的に責め抜いている。

脳波を測定する機械は、気絶と覚醒を繰り返しているようなデータが出ている。



リーナは時折階段から落ちた夢を見ているときのように、ビクッと身体を震わせ脂汗を渗ませる。

意識が混濁し休憩時間なのか拷問中か
どうかの区別が付かず、一瞬寝てしまっ
たという恐怖に支配され電流を覚悟し
数秒間固まる。

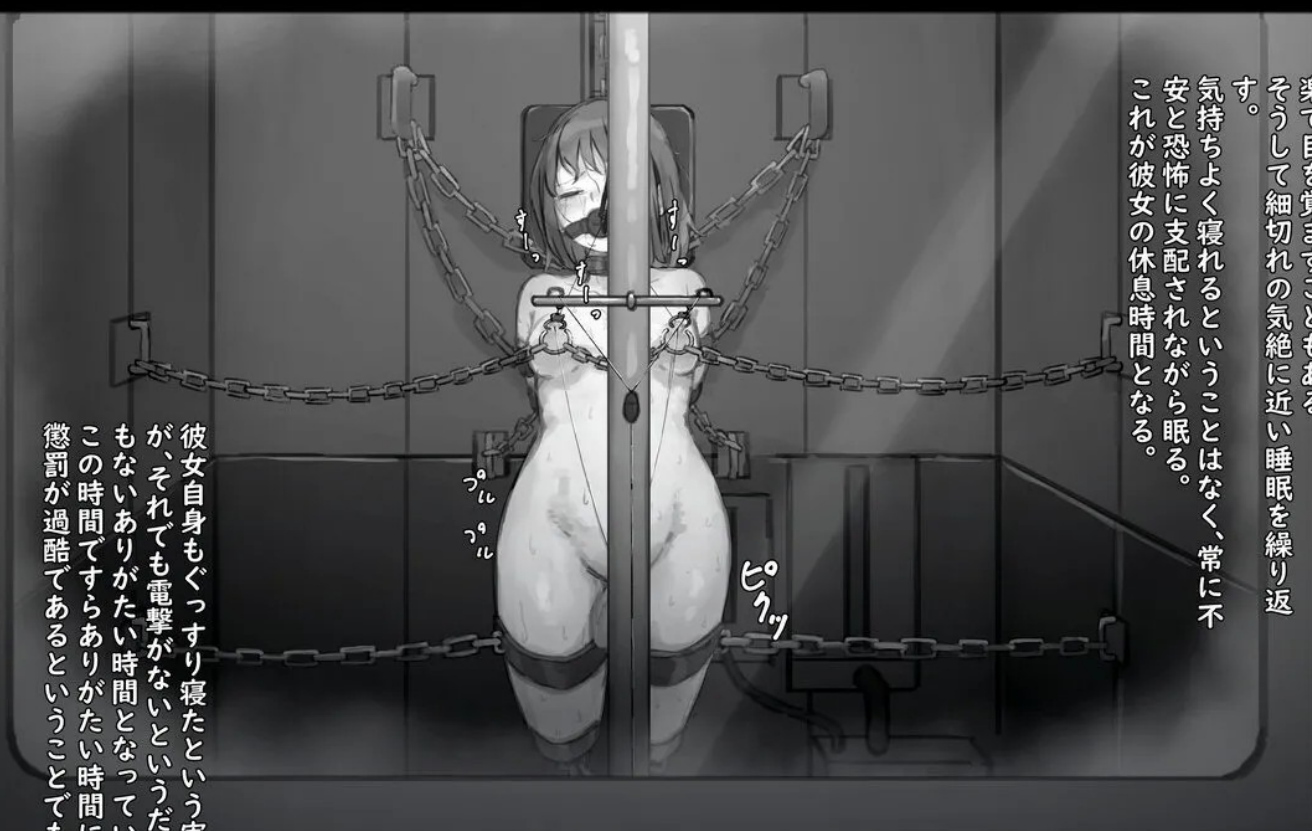


数秒経っても電流は流れないので、休息时间だと思い出し、またホッとしように意識を失う。
寝ている状態でも身体は絶頂を繰り返し、快樂で目を覚ますこともある。
そうして細切れの気絶に近い睡眠を繰り返す。
気持ちよく寝れるというのではなく、常に不安と恐怖に支配されながら眠る。
これが彼女の休息时间となる。

彼女自身もぐっすり寝たという実感はないが、それでも電撃がないというだけでとてつもないありがたい時間となっている。
この時間ですらありがたい時間になるほど懲罰が過酷であるということでもある。

ぷん
ぷん

ピクッ



懲罰公有物にとっては待ち望むことになる休息时间だが、その休息时间にも危険が潜んでいる。休息时间が終わった後は再び懲罰が始まるが、目覚めてすぐは頭が追いついておらず、休息时间と勘違いして意識を落としてしまうこともあり、公有物にとっては休息时间明けも気を付けないといけない時間帯となる。L199もそれで気絶してしまったことがあり、残り時間全て(70時間以上)電流が流され続けたこともある。

1秒でも耐え難い電流を3日に渡って流され続け、意識を失っても電流の痛みで直ぐに叩き起こされ、気絶で逃げることもできない拷問。全身がバラバラになるような痛みと恐怖と苦しみ、これが終わってくれるなら本当になんだってできるし、させてくださいお願いしますと何度祈っても全然時間は減らずに、電流は続く。

パイプの責めも継続し、痛みと支配された状態の中で快楽も与えられ、気持ちいいのと痛いのが混在して、今まで体験したことないような感覚に襲われ続ける。


L199が一番苦しめたのは浣腸で、当然電流が流されている状態だろうと関係なく8時間に1回の浣腸は行われる。死ぬほど苦しい電流と死ぬほど苦しい浣腸の最悪のコンビがL199を襲う。

全身を滝のような汗が流れるが、汗にも電気は流れるので、電流が全身を巡ってもっと苦しくなるが、どうすることもできない。せめて拭き取って欲しい、身体好き放題触っていいから、そう思ってもそんなささやかな願いすら叶うことはない。

もしこの地獄から出してくれるなら、その人に一生奴隷として生涯を捧げてもいい。全裸で町一周でもゴキブリ食べるでもなんでもできるししたい。そう思えるほどの苦痛を受ける。

そんな地獄を味わったL199は絶対に気絶しないと固く誓った。


普通なら精神がおかしくなり廃人になってもおかしくない状況ではあるものの、ストレス値はしっかり管理されており、メンテナンス時間で肉体と精神の状態を確認されて、必要であれば投薬や部分的に記憶を消すなどして、高負荷によって精神崩壊が起きないように徹底的に管理されているため、正気を保ったまま懲罰を受け続ける生き地獄となる。



6時間の休息時間が終わると4時間のメンテナンス時間となる。

毎日行われる2時間のメンテナンス時間と同じ手順で行われるが、4時間のメンテナンスでは身体に異常がないか精密検査が行われたり、整体マッサージなどが念入りに行われ、再び3日間の拷問に耐えられるように身体を調整していく。

常に地下にいたため、地上に出して太陽の光に当てる散歩のようなことも行われる。




対象の少女は2月半ばから懲罰が開始され、現在1ヶ月半(6週間)懲罰が継続されている。
懲罰は最低でも3ヶ月は行われるので、少なくとも5月の中旬以降までこの懲罰が続くことになる。

予備調教が終わり正式に公有物となってまだ数日しか経っていない中で特別嚴重懲罰となり、年齢も16歳ということも考慮され、調教時点では6cmのディルドを咥えることはできていたが、初めは小さめで4.5cm×16cmのディルドが使われた。公有物基準では小さめとはいえ同世代の普通の女子であれば大きなサイズだが、さらにアナルには4.5cm×30cmのディルドが入られる。それぞれそこからさらに少しずつ段々と太く長いものへと付け替えられ、現在のサイズとなっている。

1ヶ月半の懲罰の間、1セット84時間の懲罰拷問が十数回行われているが、気絶せずにフルで全て耐えきったのは4回となっている。

懲罰開始当初は、慣れない懲罰の中眠くなくても油断をすれば気絶してしまうような拷問の中で、気絶することが何度かあり、それを耐えても2日目3日目には眠気に襲われ、最後まで耐えられないことが続き、7セット目でようやく初めてフルで耐えられるようになった。

その後は毎回では無いものの耐えられる頻度は増え、前回の1セットは耐えきっており今回のセットも耐えきったため、初めて2連続で耐えきることに成功するなど彼女なりの成長をみせている。



嚴重懲罰は公有物として最大級の罰となり、モノである公有物がさらに罪を犯すなど本来あってはならないことが起きてしまったことに対しての、最大級の罰と見せしめとする抑止とするため、懲罰内容は最も厳しく最も嫌なことを拷問のように行われるため、懲罰を受けた公有物は当然身体や精神へ大きなダメージを負うことになる。

嚴重懲罰公有物は自らの価値観も大きく変わってしまうため、公有物期間終了後の社会復帰も難しく、公有物の継続を選ぶケースも多い。

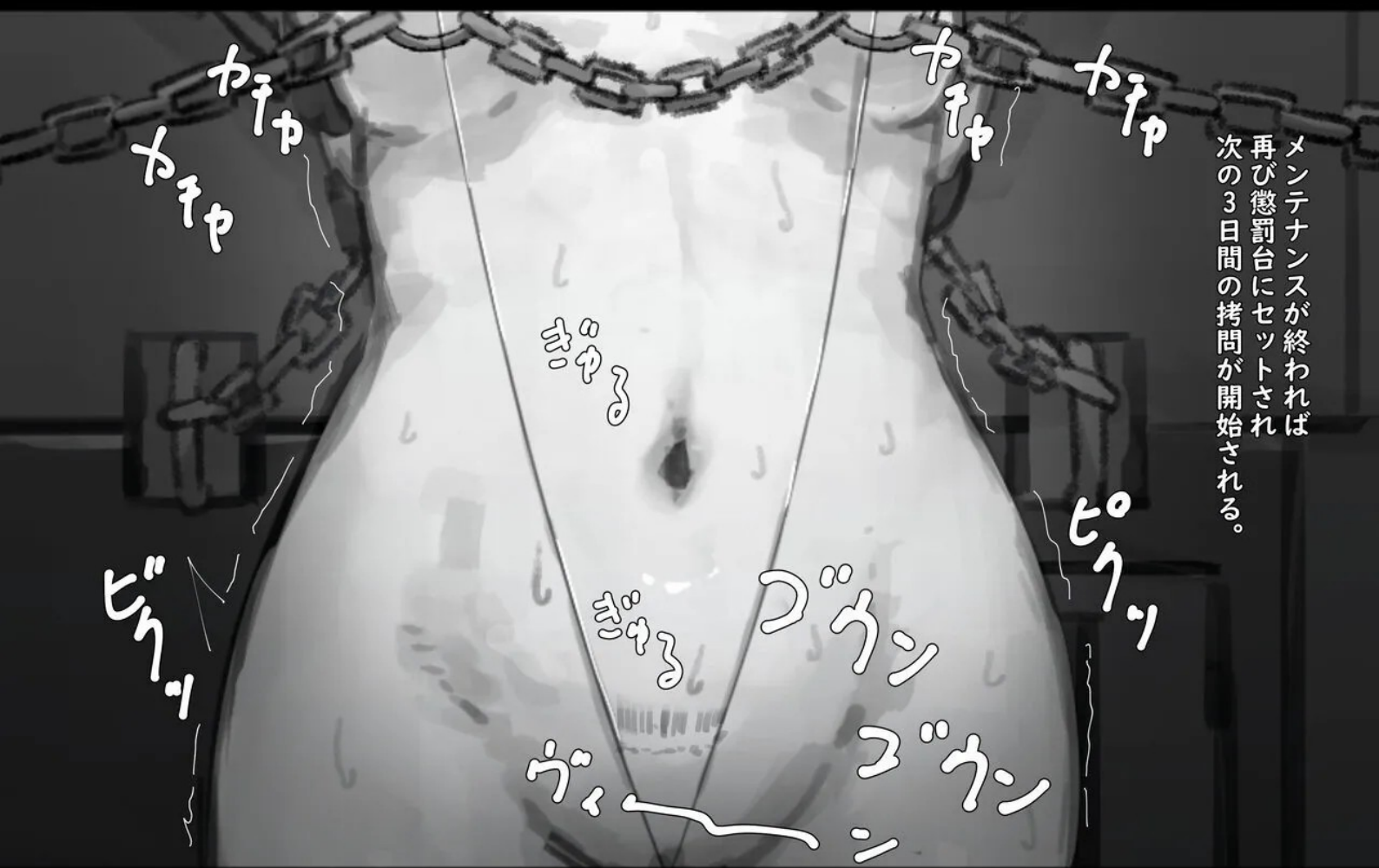
社会復帰する場合でも、記憶の部分消去を行ってリハビリを行うことがほとんどなるが、ふとした瞬間に記憶が戻ることもあり、無意識で街中で突然服を脱ぎ出して土下座したりなど、公有物生活や懲罰生活で染みついた行動が出てしまい不安定な状況は続くことになる。

奉仕をしていない時間や公有物として扱われないことが不安になるなど、ワーカホリックのような状態になる場合は、放っておくと死んでしまうケースもあるため、政府は社会復帰が困難な元公有物のための養護施設を全国に設置しケアを行っている。

養護施設内ではあえて公有物のように扱う場合もあり、希望があれば奴隷契約を結び、施設専属の指導員(ご主人様と呼ばれる(元調教師や元調教助手など))に調教を依頼し、元公有物は日中に社会人として働き、夜や休日は調教を受けるなどでバランスを取り、歪ながらも社会生活を送る人もいる。

施設内は、完全個室型、シェアハウス型、集団部屋、公有物用集団飼育部屋、公有物用個別飼育部屋、など様々なタイプの部屋があり、元公有物の依存度を見てどの部屋にするか判断を行い、最終的には完全個室型で生活できることが目標となる。

農園タイプやホテルタイプなどがあり、そこで働きながら社会復帰を目指しつつ、人手不足にも貢献できるため地元住民からも喜ばれている。



メンテナンスが終われば
再び懲罰台にセットされ
次の3日間の拷問が開始される。

からだ

うづがない

おなか

くるしい…



いッ!!

おなが...

おれ休息時間はし...

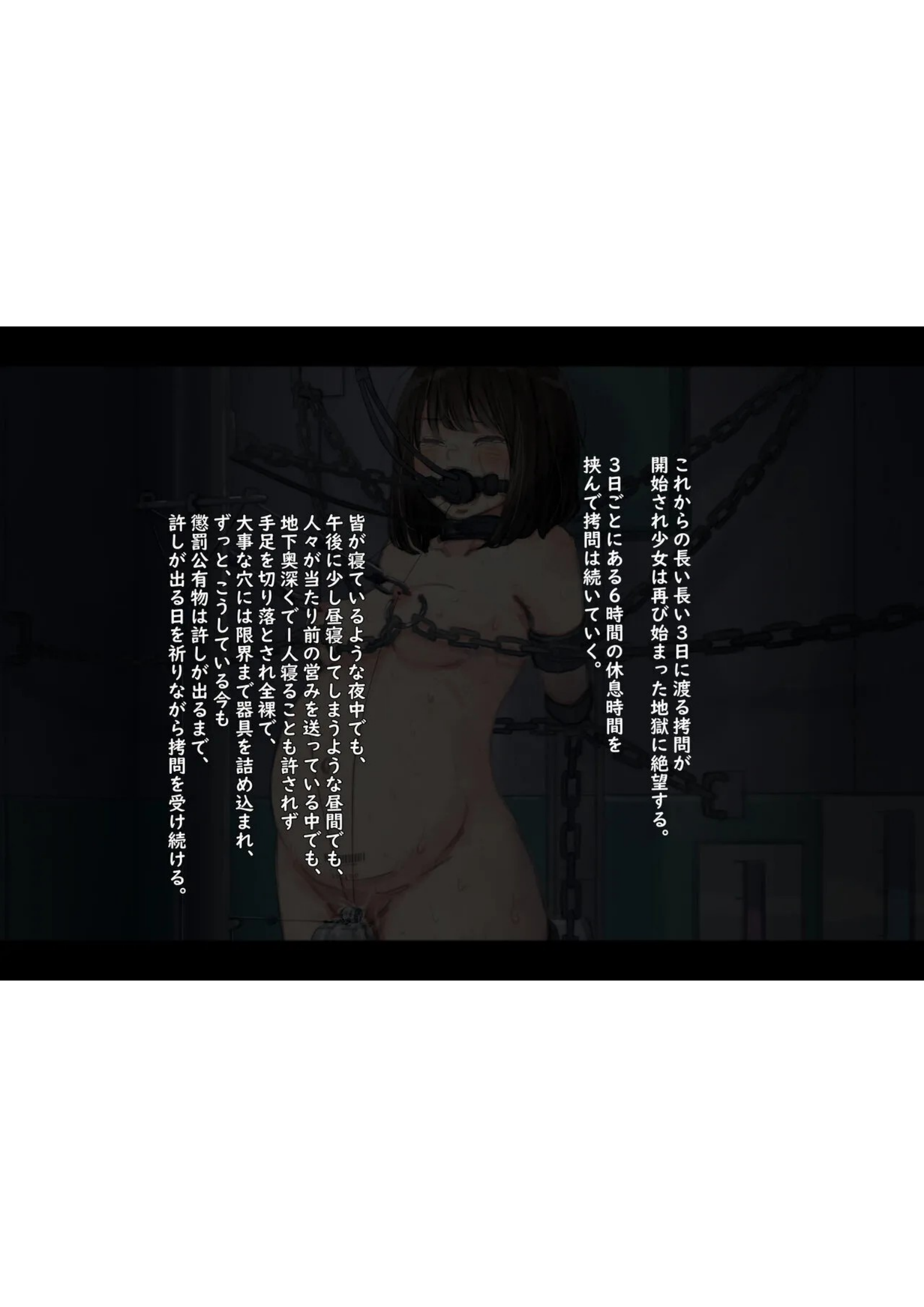
え...もうおわり...?

また1がが...

がりがり

びりびり

また耐えないと
いけないの...



これからの長い長い3日に渡る拷問が
開始され少女は再び始まった地獄に絶望する。

3日ごとにある6時間の休息時間を
挟んで拷問は続いていく。

皆が寝ているような夜中でも、
午後に少し昼寝してしまうような昼間でも、
人々が当たり前の営みを送っている中でも、
地下奥深くで一人寝ることも許されず
手足を切り落とされ全裸で、
大事な穴には限界まで器具を詰め込まれ、
ずっと、こうしている今も
懲罰公有物は許しが出るまで、
許しが出る日を祈りながら拷問を受け続ける。







L199について

10月、少女Aと少女Bは二人で下校中、〇〇社視察中の要人指定人物(要人C)が乗車する車に衝突。

少女Bは重症、要人Cは軽傷を負った。

少女Aは事故後、少女Bへの呼びかけを続けていたが、少女Aのカバンには、包丁2本、モデルガン、ハンマー、ドライバー、カッター、はさみ、ガムテープ、など一部凶器が確認されたため警護員が確認を行うと、少女Aは警護員を振り払い、要人Cに近づいたため、安全のため制止。

その後少女Aは突然暴れだしたため制圧を行う。

警察は要人が襲われたことを重く見てテロの疑いで捜査を開始。

少女Aは当初事故の経緯については、友達と下校中にたまたまよろけて友達にぶつかり車道に出てしまった友達が車に衝突し、カバンの中の凶器については、文化祭で貸していたものを持ち帰っていただけ、と供述していたが、その後、暗殺未遂を認めたため少女Aは暴行と要人暗殺未遂で逮捕となる。

被害者の要人Cとの関係については、偉そうでイライラしたと供述をしている。

被害者側からの要望でテロ対策凶悪犯として扱われることになり、特殊拘束具などの使用許可が出される。

反抗の意思があると判断した場合は戒具が追加できるようになり、容疑者が面会を行う場合も制限がつくようになる対策が取られる。

少女Aは司法取引に応じ、略式裁判を経て、2年6か月の公有物活動命令が出される。

11月末、身柄を公有物管理局調教センターへと移し、12月期の公有物として徴収され、少女Aは公有物管理番号11L199として公有物に従事することになり(以降L199と呼称する)公有物予備調教が開始される。

L199は精神的付加耐性や、身体の柔軟性が初期時点でA評価とされ、部活動での経験が作用していると判断される。

反面、性に関しての知識や経験は乏しく、性に関して嫌悪感を見せる等過去に性的なトラブルがあった人特有の反応があり(処女膜は確認されている。)総合評価はCとされている。

身体開発に重点を置いての調教が行われ、一度嫌悪感がなくなれば、そこからは順調に調教が進み、身体の柔軟性を活かし様々な体位で行う奉仕は高く評価される。

1月末に予備調教修了試験に合格し正式に公有物となる。

2月から公有物として正式配置が行われ運用が開始される。

初めての利用者は要人Cで行いたいとの内々の意向を受け2月2日に正式利用開始となる。

2月2日、20時、管理局運営の公有物施設にて、要人CへのL199の奉仕が開始。

奉仕中の詳細は閲覧不可。

奉仕中に要人Cが軽口を言ったところ、L199が感情を抑えきれずに要人Cに暴行。

要人Cは身の危険を感じたため押さえつけようとしたものの、L199は近くにあった灰皿で要人Cをさらに暴行。

要人Cは頭を殴られ重傷を負う。

20時～21時頃、敷地内で火災が発生。

その対応で警備が手薄になった隙を狙い、何者かの手引きにより反政府組織数名が施設内に侵入し、公有物の連れ去りを行う。

施設内には反政府組織と繋がりがあると見られる公有物(L206)が、L199と同様2月1日付で配置されており、L206は他の公有物を唆し共に逃亡を行う。

L199も同じく逃亡を図り、施設を完全に出たところで機動隊が到着し、L206以外の逃亡公有物は確保される。

反政府組織メンバーも3名逮捕されるが、そのうち2名が自殺、1名も自殺未遂を図り意識不明となる。

L206と組織メンバー数名は包囲網をかいくぐり逃亡。

公有物の規定では施設から完全に出ていると逃亡罪。

片足など一部が外に出ている場合や、逃亡未遂よりも重いと判断される場合は準逃亡罪。施設から出ていない場合は逃亡未遂罪。

とそれぞれ定められており、今回の事案では逃亡を図った合計11体の公有物うち、2体が逃亡罪、2体が準逃亡罪、7体が逃亡未遂罪、となり重大違反として処分が行われることになる。

L199は施設の敷地境界から50センチ程度しか離れていなかったが、敷地の外に完全に出ていたため、L206と共に最も重い逃亡罪に該当することになるが、L206は逃亡中だったため、L199が唯一の逃亡罪で確保された公有物となりL199のみが逃亡罪として処分されることになる。

準逃亡罪の2体はL199よりやや後方におり、片足が外に出ていると判断され、その他の檻や奉仕部屋から出たものは逃亡未遂罪となった。

L199は他にも利用者(要人C)に対しての暴行及び殺人未遂も行っているため、こちらも重大な違反となる。

公有物は自身の生命が脅かされる場合を除き利用者への抵抗は禁じられており、もし抵抗を行う場合も必要最小限度と定められている。

反政府組織による逃亡計画はL206が主犯であると判断されたが、L199はL206と同期の同じ組で同じ調教師から予備調教を受け、同じ配置先でもあり接点が多く、逃亡前には利用者への暴行も行っていることからL206と共謀、または計画を知っていたとみられ、身柄はその日のうちに調教センターへと移され、取り調べが行われる。

逃亡計画についてや、L206の潜伏先について、反政府組織との繋がりや、内通者などについては、知らないと言割らず、暴行については2回目の被害者となる要人Cの証言とも食い違う部分が多く、供述には信憑性がないと判断され、継続して取り調べが行われる。

取り調べを重ねるうちに、すべて私がやった事であると犯行を認めるも逃亡計画についての情報を得ることはできなかった。

公有物管理委員会からは早めに処分を行うよう通達があり、2月4日、懲罰委員会が懲罰の検討に入る。

取り調べ中もしらないわからないと協力的な姿勢を見せず、反省の色が見られないとして懲罰の中でも最も重い永久特別嚴重拘束、または無期特別嚴重拘束、レベル2での特別嚴重拘束が妥当であるとの見解が示される。

2月6日、L199の親族及び友人(少女B)による助命嘆願が行われ、要人Cとの和解が成立する。

管理局内部からも逃亡計画に関してはL199は無関係で、要人Cとの関係も含め慎重に捜査するべきではないかと、処分を急ぐ上層部への疑問の声が上がったものの、政府中枢からの指示により、全ての重大違反はL199が行ったものとされ、最終処分の調整に入る。


2月8日、懲罰委員会は特別嚴重懲罰レベル1での収容を決定する。

逃亡、暴行は重大違反であるとしながらも、要人Cとは和解していること、L199の姉、L199の友人がそれぞれL199の重大違反の罪を一部肩代わりする契約を行ったことなどで減罰が認められる。

2月9日、調教センター医療施設にて特別嚴重懲罰レベル1での収監を行うための、四肢切断処置が行われる。

2月10日からリハビリが開始され、15日からは特別嚴重懲罰に向けた簡単な調教メニューを行うなど、術後は想定よりも早く回復したため、前倒して懲罰が開始されることになる。17日に医師の最終チェックが行われ、一部器具には制限がかけられるものの懲罰の許可が出される。

2月18日、L199の特別嚴重懲罰レベル1が開始される。



小野美波
高校1年生、ダンス部。
世話焼きで少し子どもっぽい花乃の
世話をするお姉さんの存在。
花乃をダンス部に誘った。

南雲花乃
高校1年生、ダンス部所属。
中学までは新体操をしていたので身体がかなり柔らかい。
元気で食べることと身体を動かすことが好き。
中学生の時に美波と友達になった。
不運が重なり公有物となり、さらなる悲劇で懲罰を受けることになる。

私には5つ上の姉がいる。
4年前姉はある男に襲われた。
私はその場面を目撃してしまった。

私はどっぴり間違えたんだろう。

大きく変わったのは…
…その時の目…




当時は何をしているのかはよくわからなかった。
結局事件は無かったことにされ、
明るかった姉は怯えて過ごすようになった。
父も母も暗くなっていた。

パ、パ、パ、

パ、パ、パ、

お姉ちゃん
なにしてる…



だから私は、家族を元気づけたくて
明るく振る舞うようになった。

無邪気で元気で明るい子。

そういうふうになると周りの印象もよかった。
無理に明るくしようとしたことも中学3年間続けていると

それが普通になってきて、友達もたくさんできた。

姉も少しづつ以前のように戻り、

大学ではイケメンの彼氏ができたと自慢していた。


高校からはダンス部に入って文化祭の

ステージは楽しかった。

これからの青春もっと楽しくなる、

恋もちよっとしてみたいかも…なんて思っていた。

この日々が続いていくと思っていた。



その日は文化祭が終わった次の日。
後片付けが終わって貸していた道具を
カバンに入れて友達と一緒に帰っていた。

今から思えばお祭りのテンションで
はしやぎすぎているのかもしれない。
それが最悪な結果を引き起こすなんて
考えもしなかった。

ふざけあっている時に友達にぶつかり
友達はよろけて車道に出てしまった。

道はそれほど大きくなく車もそんなこない道。
なのにその時は運悪く黒塗りの車が
スピードを出して走ってきていた。
気付いた時にはもう遅く、次の瞬間友達は
宙を舞っていた。

全てはここから始まった。



急いで友達の元に駆け寄り何度も呼び掛ける。
幸いなことに呼吸はしていた。
早く救急車を呼ばないと。
カバンを取りに戻ろうとした。



カバンには文化祭で使うために貸していた
道具が入っていた。
あれこのビストル私のじゃないけど…。
だれかがいたずらで入れたか、カバンを間違えて入れたか。
今はスマホ探さないで…。

カバンを開けてスマホを探していると、
スーツを着た人が近づいてきた。

協力してくれるのかな。急がないと、と思ったその時だった。

「おいっ。凶器だ！ ……様を守れ！」

「いやっ、これはちがっ」
今はそんなこと言ってる場合じゃないのに。
ぶつかってきたのはそっちなのにまともに対応しようとしな
いこの人たちにイライラが少しづつたまっていた。

誰なのあいつ。
ぶっかった黒塗りの車から出てきた人。
どこかで見たことあるような…。
そんなことより急いで助けないと…っ。



友達のもとに戻ろうとしたら
スーツの人に阻まれる。
なんなのこいつら。

ちょっと君
近づくな！

邪魔どいて！

ちょっと
離して！

下がれ！
暴れるなら
逮捕するぞ

友達のところに行きたいだけなのに。
暴れた私は男たちに取り押さえられた。
その後救急車が来て友達は運ばれていった。
私はパトカーに乗せられ警察署に
連れていかれた。

取調室に連れてこられ
大人たちに囲まれる。
友達は無事だろうか。
早く帰りたい。
でも待っていたのは身に覚えのない
罪を自白しろという取り調べだった。

暗殺なんて知りません
カバンのもたまたま
持ち帰っていただけで

でも警護と秘書を
怪我させるくらい
暴れたんでしょう？

あれは友達を
助けようと

証拠はそろってんのよ！

共犯者とともにわざと車に
当たり車が止まったところを
カバンの凶器で襲おうとした
要人暗殺及び誘拐未遂

あなたがやったんでしょ！
早く認めなさい！

まあまあ
彼女も混乱している
でしょうから

でもこのままだと
友達がテロを起こした
ということでは
治療が打ち切りに
なるかもしれませんよ

ここにサインする
だけでいいんです

1年くらい公有物として
従事すれば前科も残らない

全てがたまたまなんて
誰も信じませんよ

実際友達と他二人を
怪我させてるのは
事実ですから

わかるでしょう？

数時間行われた取り調べで
私は罪を認めてしまった。
友達をケガさせてしまった
罪悪感と凶器を持っていた事実
私ですべて悪かったのかもしれない。

あの…
服を…。

テロの容疑者に
衣服を与えることは
禁止されている
諦めろ

そんな…

正面を向いて
ちゃんと立て

罪を認めた私は逮捕された。
テロと判断されたため凶悪犯として
扱われることになってしまい
その場で衣服を脱がされ
全身の検査が行われた。
テロ対策のため衣服を着させてもらえず
そのまま手錠をかけられ身体を
隠すこともできないまま
写真撮影が行われその後牢屋に連れていかれた。



さっきまで楽しかったのに
なんでこんなことに...
裸にされて色んな人に見られた...
ひんやりとしたコンクリートで
肌寒く心細い。

づん
づん

夢だ...

これは夢だ...

おまー...おまー...
おまー...おまー...

ざん

夢が覚めることはなく
翌日からは犯罪者として取り調べが始まった。
取り調べ中も服は着させてもらえず、
私だけ裸で大人たちに取り囲まれ
身に覚えのないこともやったことにされていた。

被告人は前に

がう
がう

ブル
ブル

テロ未遂の私には少しでも抵抗と
みなされるような行動をとると少しづつ
拘束具が追加されていった。
薄汚れた身体にきつく締められる拘束具。
恥ずかしいところからは毛がはみ出していて
余計に恥ずかしい。

お風呂も入れてもらえず
髪はボサボサで全身はベタベタで
隠したい胸は晒される。
乳首にはワイヤーが通された。
すごい痛かった...。
こんなみじめな姿見られたくない...。

ほとんど男の人しかいない空間に
ほぼ裸で立たされる。
最低限の配慮なのか
ついたてのようなものが
置かれていた。



びりびり

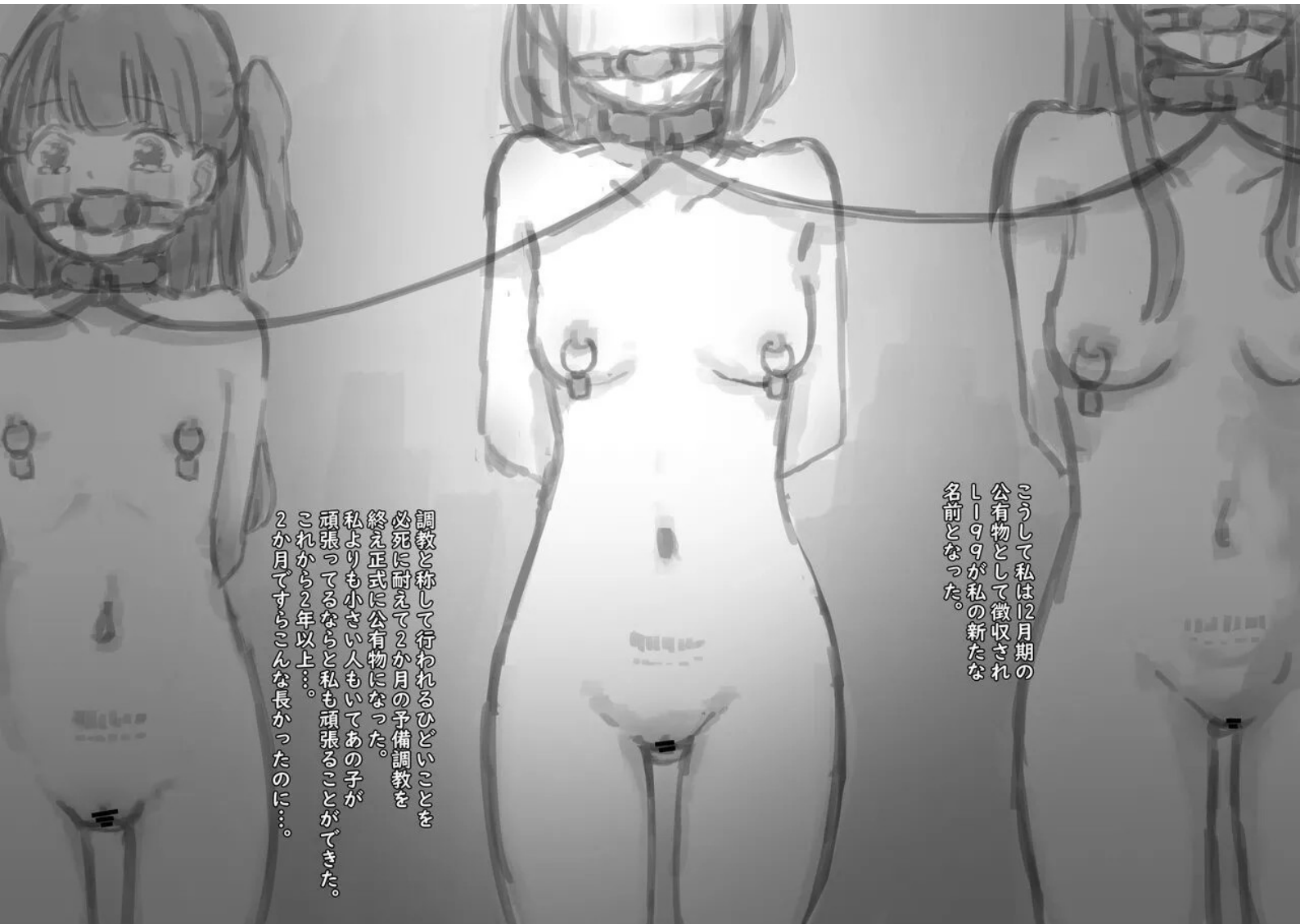
がらがら

ぶるぶる

がらがら

被告人には
2年6か月の
公有物奉仕活動を
命じる。

2年半.....。



こうして私は12月期の
公有物として徴収され
L199が私の新たな
名前となった。

調教と称して行われるひどいことを
必死に耐えて2か月の予備調教を
終え正式に公有物になった。
私よりも小さい人もいてあの子が
頑張ってるなら私も頑張ることができた。
これから2年以上...
2か月ですらこんな長かったのに...

正式に配属され
初めての奉仕。
叩きこまれた挨拶を行い
頭を上げると
そこにはあの男が…。

ビクッ

あ…あなたは…。





よお
元気にしてたか


それにしても
馬鹿な女だよな
姉妹揃ってよ

お前はアレより
胸はねーな

あ？
覚えてねえのか？

お前の姉貴の相手して
してやっただろ


お前あの場にいたんだろ
コソコソしてたよなあ



妹は助けてください
とか言ってたっけな

数時間輪姦まわしただけで
すぐへばりやがってなア

妹に相手してもらおうか
って言ったら
必死になってたぞ



まあ俺の権力で
もみ消したけどな

可哀そうになあ

なんならお前の姉貴
呼んできて
姉妹丼でもするか

今は財閥といえども
もみ消すのは
骨が折れっから
公有物遊びで
我慢してるが

まあいい
じゃあさっそく
奉仕してもらおうか

お前が
お前が

お前が!!

お前が





たごたごこ
たごたごこ

いいのかあ？

公有物が
そんなこととしてよお!!

わからせないと
いけないよなあ!!

ガビッ

ギョ

ララ...

な〜んか...


~~~~~

やっちゃった...  
ぐらぐら...  
.....

私は悪くない...私は悪くない...

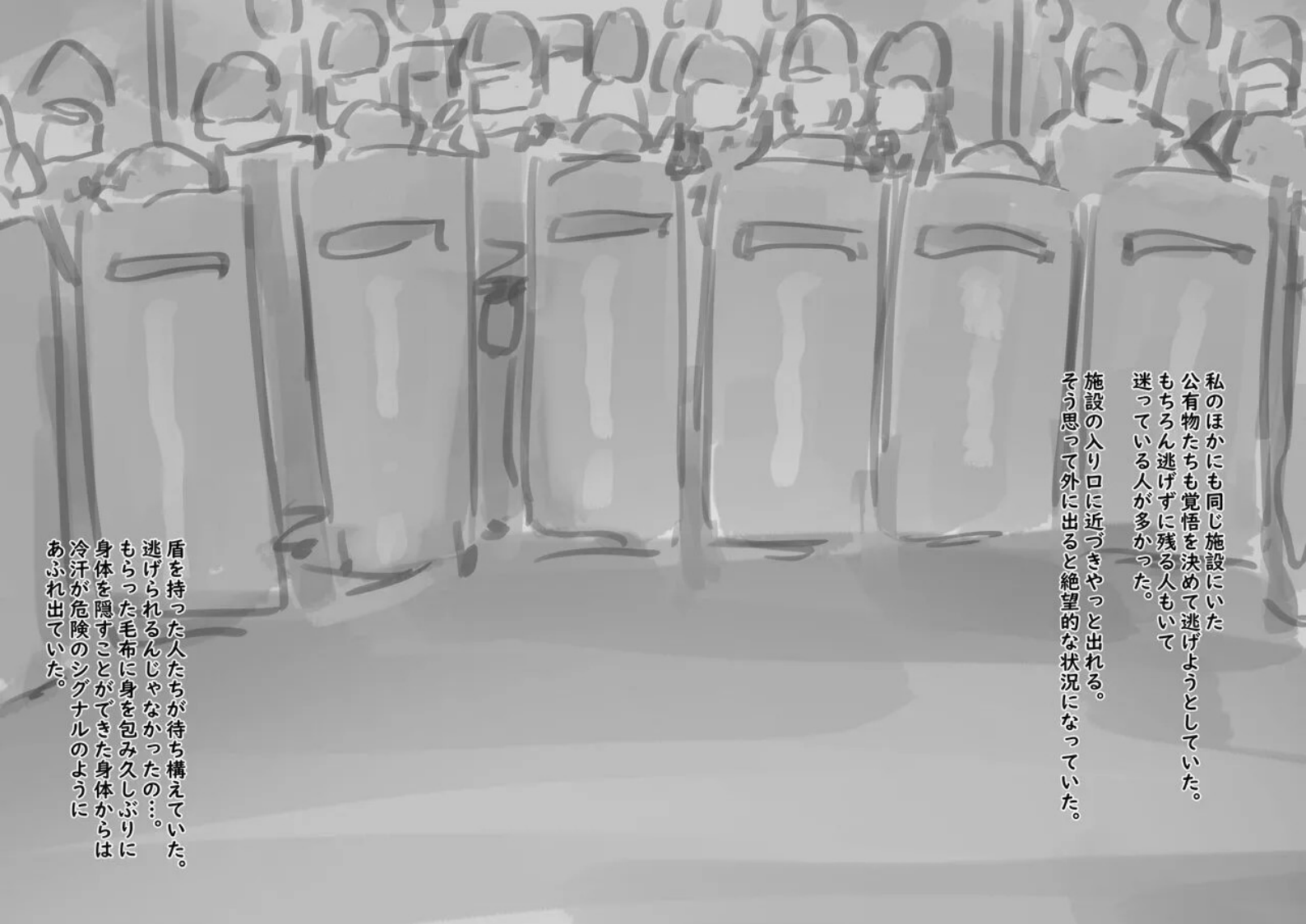
はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ

突然火災のベルが鳴り部屋に誰かが入ってきた。  
ああこれが見つかつたらもう終わりだ。  
もうだめだと思って振り返ると予備調教中の  
同組だった女の人がいた。  
後ろには怪しい男の人たちが…。

あら…？  
あなたやっちゃったわね

公有物解放戦線です  
あなたも逃げましょう

ここにおいても使用者に歯向かい  
死なせた場合はどう転んでも懲罰だ。  
懲罰は嫌だ…。  
逃げるしかない…。  
いや…これはチャンスだ。  
私にもやっとながきた…！



私のほかにも同じ施設にいた  
公有物たちも覚悟を決めて逃げようとしていた。  
もちろん逃げずに残る人もいて  
迷っている人が多かった。

施設の入りに近づきやっと思える。  
そう思って外に出ると絶望的な状況になっていた。

盾を持った人たちが待ち構えていた。  
逃げられるんじゃないかな。..  
もらった毛布に身を包み久しぶりに  
身体を隠すことができた身体からは  
冷汗が危険のシグナルのように  
あふれ出ていた。

逃げようとしたけどあっさり捕まってしまった。  
毛布は剥ぎ取られ冬の夜の寒さが体温を奪っていく。  
口枷を嵌められ拘束され靴で踏みつけられる。  
寒い…痛い……。

おとなしく  
しう！

いりりりり  
おとなしく  
しう！

しり、

は、  
は、

は、  
は、



逃げようとした結果捕まり  
牢屋に戻された。  
暖房はついておらず寒さが  
全身にしみてくる。



びりびり

びりびり...

なんび...なんび...んか...は...

とんでもないことをしてしまった恐怖と寒さで  
全身の震えが止まらない。  
私どうなっちゃうの...  
寝ることもできないまま震え続けること  
数時間後、夜中に職員がやってきて  
私には尋問が行われることになった。  
私の地獄が始まった。



首謀者は誰だ？  
拠点はどこにある

仲間の数と配置は？

わたしは  
なかまごころ...

し...し...し...な...  
は...は...  
は...は...

じかぬおぬおぬ

ど  
り  
り

おらっ  
早く吐け

ほんとい  
しづかにいんです

ぐおあっ

他にも同様の  
計画はあるか

ごめんか...

ハ  
フ  
ン  
ツ  
う  
ら  
う  
う

ビ  
ン  
ク

ギョ

よし  
おろせ  
一分間下げたまま  
連続鞭打ちだ

やだ、水やだ、  
おろせ、おろせ



や... やだ...  
なんで...  
から...

なら早く吐け  
はあ  
一分後に  
答えを聞こう

縛られ瞳には棒型のデイルドが挿入され逆さ吊りで拷問が行われた。意識を失っても冷たい水をかけられる。無理やりたたき起こされ水責めと鞭打ちが続く。

私は施設を襲った人たちの仲間と疑われ情報を吐けと眠ることも許されず不眠不休で何日も拷問され続けた。わからないと言っても許してくれずずっと終わらない…。

最後の方は意識朦朧としてきて記憶がないけど全て自分がやったので拷問はやめてくださいと叫んだらしい。

良かったのか悪かったのかあの男は一命を取り留めたらしい。彼はあることないこと証言し私は極悪人に仕立て上げられた。でももし死んでいたら永久懲罰になってもおかしくはなかったらしい。

私が彼を殴ったのと同じころ公有物解放戦線という反政府組織の一つが施設を襲撃した。私を逃がしてくれたあの女の人は首謀者の一人で逃走に成功したらしい。

他にも逃げた公有物はいたが私と助けてくれた女の人だけが敷地の外に出てしまっていたらしい。たった一歩分しか離れていないのに少しの違いだけで私にはより重い罪が課された。さらに私は使用者に暴行を加えるという殺人未遂の罪も追加される。

私の処分が決まりようやく拷問はおわった。地獄の時間が終わり私は意識を落とした。



最初は痛みと怠さで動かせなかった身体も  
数日で元から手足がなかったかのように  
身体はほとんど万全な状態に回復してしまっ  
た。

予備調教中に見学させられた  
懲罰を受けている手足のない  
女の子を思い出す。  
私にもその日が刻一刻と  
迫っていた。

一日2回行われる散歩の時間は  
2月の極寒の中、朝と夜に  
裸のまま車イスに縛り付けられ  
外に出される。



そして数日後  
ついにその日が来てしまった。  
逃げたくても暴れたくても  
手足のない身体では  
意味をなさない。  
静かに寒い廊下を震えながら  
地下の地下、いくつもの  
重厚な扉を超えて  
以前見学した懲罰室に  
今度は自分が受ける側として  
戻ってきてしまった。

この台にセットされたら  
懲罰が始まってしまふ。  
アナルと尿道にプラグが埋め込まれ  
身体を持ち上げられ  
台座に生えるデイルドは  
私の膣に合わせられる。

あんまり  
動くなよ

いざネッ

ズメン、ズメン、  
こめん、こめん、  
たまけて……

もう  
決まったことだ  
諦めろ

このデイルドも  
一番小さいサイズだから  
これからどんどん  
大きくしていくからな

あとしっかり反省したら  
子宮の拡張も始めるからな







残された足で台座を  
挟んでなんとかこれ以上  
入らないように耐える。

おびん

かは

あーちがう  
足はこう

ズ  
ブ

ふむ  
ちゃん  
と  
入  
っ  
て  
い  
る  
な

必死にこらえていた  
足も後ろに回され  
残りのデイルドも深くまで刺さり  
完全に私の中に埋まってしまった。



や...やだ。

おんおん  
じゅん

びゅ  
びゅ  
びゅ

がっ

がっ

い  
い、

乳首には  
ワイヤーを通す



はよ  
はち

つる  
つる

スキ

スキ

つる  
つる

今回は試運転用で  
セットするが  
身体が耐えられ  
と判断すれば  
乳輪には別なピアスを  
追加するからな

小さな乳首に  
三つの穴が  
開くことになる

ワイヤーが乳首に通され貫通された乳首は  
少し動くだけでスキスキとした痛みが走る。  
両乳首に開けられたワイヤーは  
へその下まで通され、ひとまとめにされ  
別なワイヤーが繋がられた。  
ワイヤーはさらに下に伸びる。  
そのままいけばクリに……。  
まさかそんなわけ……ないよね……？



その後もいくつも拘束具や  
重りがつけられ、  
肺にチューブが入れられ  
声を出すことが出来なくなった。  
まだ始まってもないのに  
もう折れそうになっていた。

口開けろ  
もっと大きく



胃まで届くデイルドだ  
しっかり味わうんだぞ

このデイルドが苦しいからやだ...  
いつまでこのままなの...  
もう無理なことでは...  
ゆるして...

30分ほどかけて私は台にセットされ  
すべての機械が動き出し懲罰が  
開始された。

ブル

ガチャ

ガチャ

しゃー

ブル

ガチャ

ブルブル

ウーン  
ウーン  
ウーン

叩き込まれたと思うが  
休憩時間まで睡眠は禁止  
寝た場合は次の休憩時間まで  
連続電撃懲罰  
暴れた場合も  
電撃があるからな  
最低3か月は  
そのままだからな  
せいぜいがんばって  
反省の態度を  
示し続けるんだな

ブーン  
ブーン  
ブーン

さ...さんかげつ  
すっこのまま...  
やだ...  
やだやだ...  
やだやだやだやだ  
やだやだやだ

グググ  
グググ  
グググ

私の長い長い懲罰生活が始まった。

ちゃんと反省  
していただけますか？

常に意識して舌を出していなければならぬが、  
面談を行う場合はきちんと答えなければならぬため、  
舌の動きによる激痛に耐えながら必死で  
コミュニケーションを取っている。

尋問官の取り調べや面談、医療スタッフによる意識のある状態での  
問診など必要がある場合は口枷が外される。  
外される間は舌に開けられているピアスにワイヤーが繋がられる。  
限界まで舌を出させてからワイヤーと繋げることで  
少し舌を動かすだけで乳首とクリトリスには激痛が走る。

なんて言ってるのか  
わからないな…

反省の色  
無しと



まっ...  
まっ...  
せだせだ

膣圧での意思表示は快樂に耐えなければならず、  
声での意思表示は痛みに耐えなければならず、  
人が当たり前に持つ意思表示を  
常に制限された状態で行わなければならない。



期間延長  
しますからね

また来るので  
もっと反省して  
くださいね

すべての行動が罰となるように設計されているため  
懲罰生活が長い公有物は、  
息をすることに、ロで会話し食べることができるとに、  
眠れることに奉仕をさせてもらえることに、  
完全に感謝し身を捧げることが  
できるようになると言われている。



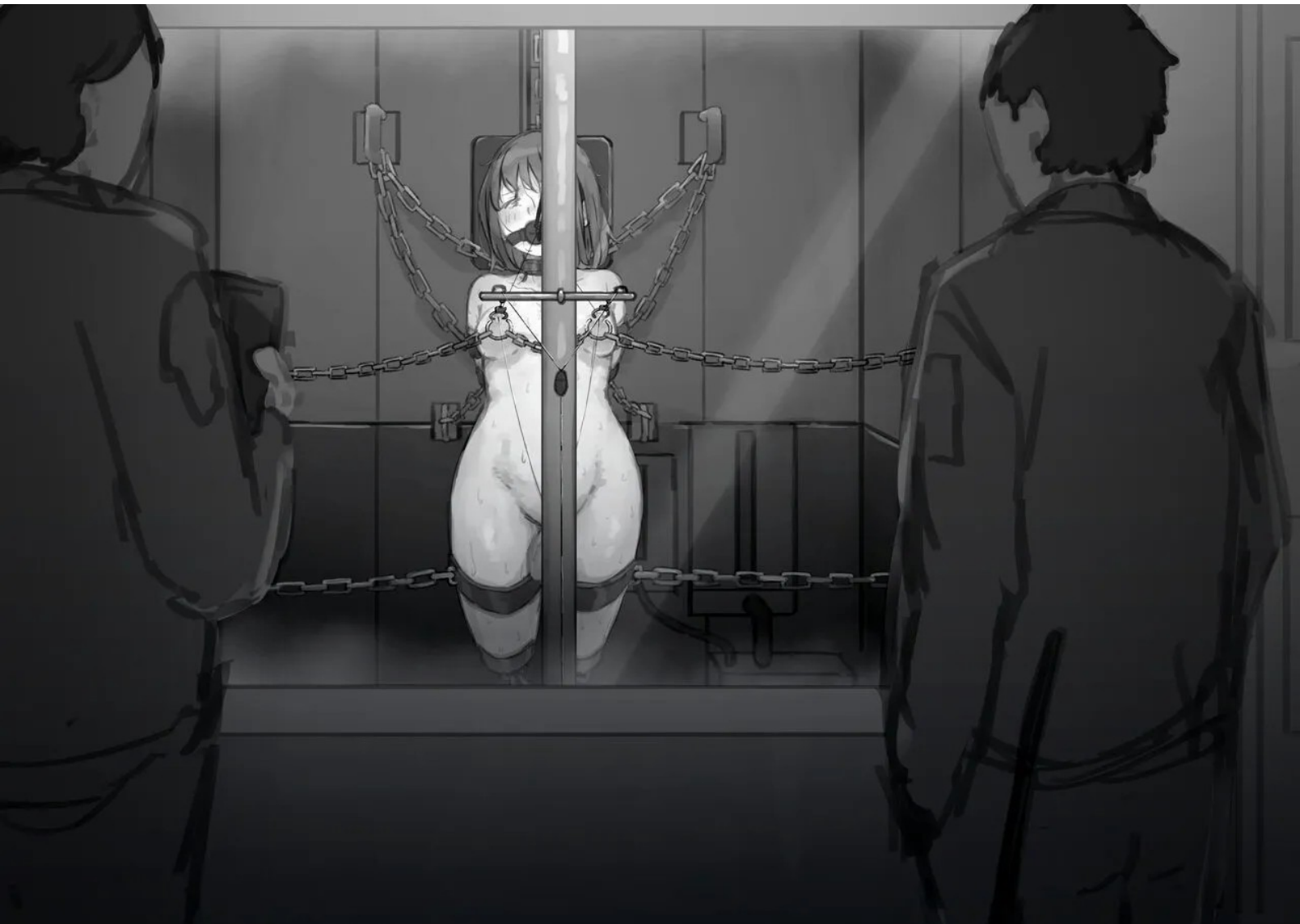


















## あとがき

なかったことがあることにされ、あることがなかったことになる昨今。  
それが小学生の女の子でも例外なく、やっていないことを自白させられる。  
こちらの世界でもそんななので、あちらの世界でもそんなことはあるんだろうな  
と思います。

かえてが辿る物語が正史だとすれば、花乃の物語はかえてが通ってもおかしくは  
なかったIFとして描いています。

運が悪いとこうなってしまう。

あるいはちょっとした判断ミスやボタンの掛け違い。

一つでも変わってれば花乃の運命は変わっていたかもしれません。

かわいそうですね。

ちなみに花乃は懲罰が終わった後はヒトイヌとして運用されることになります。

姉と友達もヒトイヌ(もしくはポニーガール)になります。

姉と友達は花乃の懲罰中にヒトイヌとして仕込まれるので、ヒトイヌとしては先輩  
になります。

クズ男は財閥の三男でしたが、諸々が明るみになり結局家からは勤当されて無職に  
なるそうです。

ちょっとハード目な内容でしたね…。

字が多いわりに絵が少ないのは申し訳ないです。

全部読んでくれた方はありがとうございます。

50ページくらいに凝縮できればよかったのですが

力量足りずこうなってしまいました。

見返すと未熟なところが多いので  
次描く機会があればもっとわかりやすく  
できるように頑張ります。

公有物少女3.5

発行日：2025年6月13日

著者：ゆきむら丸

発行：ゆきまる屋

X(Twitter)：@yukimuranomaru

pixivID：62727011

※この作品はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

※この作品は18歳未満の閲覧・購入は禁止です。

※この作品を無断で模写、転載、転売、webへのアップロードすることは禁止です。  
他言語に翻訳して無断転載(違法アップロード)する場合はアップロードを  
した時点で、その翻訳データをゆきまる屋が商用利用し利益の100%を得る  
ことに同意するものとします。

